

第19期 第10回町田市立図書館協議会次第

■日時：2023年5月12日（金） 14:00～16:00

■場所：町田市立中央図書館 6階中集会室

■次第：

- 1 委員の委嘱について【資料1】
- 2 第19期 第9回町田市立図書館議事録の決定について【資料2】
3. 移動図書館について【資料3】
 - ①移動図書館巡回場所見直し基本方針について
 - ②審議のまとめについて
4. 外部評価に基づく図書館の取組について【資料4】
5. 図書館からの報告事項【資料5】
6. その他

第 19 期町田市立図書館協議会委員名簿

選出区分	氏 名	所 属 (役職名等)	任期等
1号 学識経験を有する者	まつもと なおき 松本 直樹	慶應義塾大学 (文学部准教授)	2021年8月1日～ 2023年7月31日
〃	なかむら たくま 仲村 拓真	山口県立大学 (国際文化学部文化創造学科講師)	2021年8月1日～ 2023年7月31日
2号 学校教育の関係者	やまなか ろう 山中 朗	町田市公立小学校 長会 (つくし野小学校長)	2023年5月12日～ 2023年7月31日
〃	かじの あきのぶ 梶野 明信	町田市公立中学校 長会 (木曽中学校長)	2021年8月1日～ 2023年7月31日
3号 社会教育の関係者	すずき まさよ 鈴木 真佐世	町田の図書館活動をすすめる会	2021年8月1日～ 2023年7月31日
〃	ふくだ ゆみこ 福田 有美子	つるかわ無料塾 結い	2021年8月1日～ 2023年7月31日
〃	さかまき みわこ 坂巻 美和子	NPO法人 まち だ語り手の会	2021年8月1日～ 2023年7月31日
〃	よしだ かずお 吉田 和夫	社会教育委員	2021年8月1日～ 2023年7月31日
〃	ひらた ふくこ 平田 富久子	点訳・宅配ボランティア	2021年8月1日～ 2023年7月31日
4号 家庭教育の向上に資する活動を行う者	わかいろ なおみ 若色 直美	NPO法人 子ども広場あそべこどもたち	2021年8月1日～ 2023年7月31日

移動図書館巡回場の見直し基本方針について

第19期第9回協議会では、移動図書館巡回場の見直し基本方針について、ご意見をいただき、その結果、下記の通り修正をいたしました。

【移動図書館巡回場の見直し基本方針】

①新たな利用者の増加につながる見直しの検討

移動図書館車の老朽化に伴い、小型化への買い替えを検討していきます。小型化により今まで行けなかった場所への訪問が可能となり、新たな利用者の獲得につなげていきます。

②子どもの読書活動の充実につながる見直しの検討

子どもの読書活動の充実の点から保育園や幼稚園、子どもセンターなど子どもが集まる場所に出向くことで、子どもが本に触れる機会を増やしていきます。

③定期巡回場の見直しの検討

新たな出張運行を増やすために、現在の定期巡回場の見直しを検討していきます。

その際、現状の調査を行い、単に貸出数だけを判断基準とするのではなく、地域の特性などに配慮するとともに、建物図書館、他の巡回場所、予約受渡場所などサービス拠点の配置を考慮しながら、総合的に検討します。

また、見直しにあたっては、滞在時間の短縮による巡回場所数の確保や、複数の巡回場所を利便性の高い場所に統合し滞在時間を長くするなどの工夫を行います。

④利用者など市民への説明

巡回場の見直しを行う場合は、市民と対話などの機会をもち、説明を行ったうえで検討を行います。

第18期・19期町田市図書館協議会

これからの町田市立図書館の移動図書館とサービス拠点
(審議のまとめ)

1 審議の経緯

第18期および第19期の図書館協議会では「『効率的・効果的な図書館サービス』アクションプラン」(以下「アクションプラン」)で示された移動図書館に関する施策を中心に審議を行った。この「審議のまとめ」は第19期協議会が第18期協議会の議論を確認した上で、まとめたものである。

図書館協議会での審議について、以下、「2 魅力を高めるための方策」「3 出張運行と体験学習」「4 サービス拠点のあり方」「5 移動図書館のサイズ」「6 将来的なサービス拠点」の順に整理する。

2 魅力を高めるための方策

アクションプランでは移動図書館について、**貸出冊数の減少傾向などから、定期巡回運行のあり方、巡回拠点、運行台数の見直しを提起した。**このことに対して、図書館協議会として魅力を高めるための方策を審議した。

魅力を高めるための方策については、(1)コレクションの充実、(2)新しいサービス、(3)長時間の滞在と巡回曜日、(4)巡回場所の工夫、(5)広報、(6)新しい利用者の開拓、が挙げられる。

(1) コレクションの充実

コレクションは図書館の魅力を高める重要な要因である。近年、町田市の図書館の資料購入費は大きく減少し、東京都内の自治体の中で一人あたりの図書費は最も少ない。こうしたことは貸出点数減少につながる。このことは、移動図書館のコレクション及び利用傾向にも影響する。**移動図書館の魅力を高めるには、まずは図書館としてしっかりと予算を確保して、魅力的なコレクションを揃えることを提言したい。**

また、移動図書館のコレクションは、入替えにより魅力が高まる。近年、図書館の貸出では事前に予約した資料を借用する比率が高まっている。しかし、移動図書館では事前に予約した資料の貸出は全体の22%から23%であり(『町田の図書館 2021年度』)、それほど高いわけではない。このことは、利用者は書架を閲覧する中から、自分にあった資料を選択していることを示している。このことから、移動図書館のコレクションの入替えが重要であることを指摘できる。

(2) 新しいサービス

移動図書館での新しいサービスを提言したい。そうしたものとして、デジタル技術の活用、イベントの実施、読書空間の創造などが考えられる。まず、デジタル技術の活用事例として、利用者のデジタル体験が挙げられる。例えば、タブレット PC を一時的に貸し出して、電子書籍を利用してもらうことが考えられる。また、海外では、Wi-Fi のアクセスポイントの提供も普及している。ウェブは近年、情報入手のための社会的インフラになっている。移動図書館がウェブのアクセスポイントとなることは、市民の情報入手を支えることにつながる。

イベントとしては、紙芝居を実施するなどして、新たな魅力を付加することが考えられる。また、地域の自治会などと連携し、時間限定のオープンカフェを提供することも可能であろう。こうしたことは地域のつながりを強めることに貢献する。

最後に上記の取組とも関係するが、ゆっくりと図書を選び、公園でのんびり読書できる場づくりも考えられる。季節によっては、公園での緑陰読書やおはなし会も可能であろう。図書館として移動図書館の可能性を広げる新たな取組を検討してもらいたい。

(3) 長時間の滞在と巡回曜日

移動図書館の滞在時間は必ずしも長くない。限られた運行体制ではやむを得ないが、長時間、滞在することで子どもを連れた利用者もじっくりと図書を選ぶことができる。ポイントをしばって、ということになるかもしれないが、長時間の滞在も魅力を高めることにつながるであろう。また、利用者によっては、土日、祝日などに巡回することが有効である場合もある。そうした巡回も検討してもらいたい。

(4) 巡回場所の工夫

通常の図書館利用が難しい地域、あるいは利用が難しい利用者グループのもとに積極的に出向くことを検討してもらいたい。例えば、幼稚園のお迎え場所や商店街などが挙げられる。幼い子どもを抱えた保護者は公共交通機関の利用に困難がともなうことが多い。移動図書館は、そうした保護者にとって非常に便利である。図書を介して保護者同士の会話も生まれやすい。あるいは、学校図書館の学校司書は放課後に不在となることが多いため、そうした時間に学校に出向くことも有効であろう。こうしたことに取り組むには、巡回拠点の拡大が必要であり、その縮小には反対である。

(5) 広報

市民の移動図書館への認知度を高めるためにさまざまな方法による広報を提言する。例えば、移動図書館で、予約資料の受け取りができることをさらにアピールすることは、新たな利用者の獲得につながるかもしれない。また、学校から提供された端末に移動図書館など図書館に関する情報を掲載することで、児童・生徒、さらには保護者に図書館

の活動を知らせることができる。利用者へのアピールには、利用者に合わせて情報発信が効果的である。例えば若者へは SNS などが有効であろう。その意味では、PR 動画「移動図書館、結構イイかも。」などの取組は有効であろう。最後に、これまで移動図書館を利用してこなかった利用者に応じるために、映像などを活用することも効果的だ。

(6) 新しい利用者の開拓

これまで図書館を利用してこなかった人たちへのアウトリーチが重要である。高齢者、乳幼児、その保護者、不登校の子どもたちなど、通常の図書館利用が困難な利用者がある。さらに、日常的には図書館を利用しない市民もイベントなどには来ている。移動図書館はそうした市民にアプローチする重要な機会となる。こうした移動図書館の有効活用について、これまで以上に積極的かつ戦略的な取り組みを期待したい。

3 出張運行と体験学習

(1) 移動図書館の出張運行

アクションプランでは、2021 年度の実施事業に「移動図書館の出張運行」として以下を挙げている。

・子どもセンターや高齢者施設、冒険遊び場やイベント会場など人が集う場に出向くなど、新たな運行を実施することによって、交流や憩いの場を創出します。
このことに対して、図書館協議会として望ましいあり方を審議した。

「人が集う場に出向く」などの攻めの姿勢、アウトリーチには賛成であり、積極的にアクションプランにあるような取組を進めてほしい。その際には、変化する社会の中で生まれる新しいニーズを捉えてサービスを開発したり、コミュニティを活性化したりすることなどが期待される。また、人々のつながりをつくることへ貢献も可能である。

例えば、高齢化社会を迎える中、高齢者施設への訪問は意味がある。高齢者を対象とした図書をつかったプログラムを実施したり、回想法などの取組を実施したりすることも可能である。また、図書館空白地域の保育園に訪問することにも意義がある。そこでは、園児だけではなく、地域の人も利用できるようにすることを期待したい。

すでに取組が進んでいることであるが、市内のイベントに出張することも継続してもらいたい。その際は、イベントに即した本を取り揃えて行くことが重要である。イベントでは、青空本屋さん（露天の本屋）のような祝祭的な空間づくりをしたり、読書ピクニック（自然の中で読書をする）や、電子書籍用タブレットの貸出しをしたりすることも可能である。

こうした取組に際しては、民間事業者に委託して、コーヒーや食事をしながら読書する場を設けたり、図書の販売などをしたりすることもできるかもしれないという意見がある一方、時々々のニーズを把握し、アウトリーチプログラムを臨機応変に展開するには、そう

した権限を持ち安定的に実施できる市直営が必要であるという意見もあった。

(2) 移動図書館を活用した体験学習

アクションプランでは、2021年度の実施事業に「移動図書館を活用した体験学習」として以下を挙げている。

- ・子ども達が、体験しながら学習ができる機会や本に触れる機会の充実を図ります。
- ・移動図書館の運行見直しの一環として、小中学校、保育所、幼稚園等に出向き、ミニおはなし会や図書館講座などを実施します。

このことに対して、図書館協議会として望ましいあり方を審議した。

移動図書館は、建物としての図書館とは異なる特性をもつ。そうした特性を活かした体験学習の機会提供を期待したい。実際の体験学習の内容は、連携する機関と検討する必要があるが、アクションプランにあるように小中学校、保育園、幼稚園、冒険遊び場、「まちとも」（放課後子ども教室）などに訪問して体験学習の機会を提供することが期待される。また、若者の発想を活かしていろいろな体験学習の場にできるのではないか。

4 サービス拠点のあり方

アクションプランでは、2021年度の実施事業として移動図書館の見直しを挙げている。そこでは：

- ・近年の貸出冊数の減少傾向などを考慮し、3台による定期巡回運行について、巡回拠点や運行台数などを見直します。
- ・サービス拠点のあり方を見直します。

また、将来的なサービス拠点のあり方として、小中学校の建て替え時に学校図書館を地域開放し移動図書館を減らすことの可能性について、検討の依頼があった。このことについて、図書館協議会として望ましいあり方を審議した。

サービス拠点のあり方は、図書館の再編と関わってくる点で重要である。なお、サービス拠点とは、ここでは、建物としての図書館及びそれ以外で図書館サービスを提供する場所を指すこととする。具体的には、通常の図書館、移動図書館の巡回場所、予約資料の受渡場所などである。

(1) 巡回場所の見直しについての意見

原則として、図書館サービスを市内全域に均一なサービスを提供することが重要である。このことは、高齢化社会を迎え、移動距離が短い高齢者が増加する中では、さらに重要性を増している。そのためには、さまざまな手段を用いて図書館空白地域を解消することが

重要である。現状の移動図書館の巡回場所との関連では、全域サービスを担保している巡回場所の廃止や縮小には反対である。町田市として長い歴史を持ち、特徴ともなっているこのサービスを積極的に活用することが必要であり、サービスを充実させ、利用を活性化する方策の検討こそ必要である。なお、全域サービスを検討する際、図書館からの距離と同様、利用機会の有無なども考慮することを期待したい。病院や高齢者施設などの利用者が取り残されないようにすることが求められる。

したがって、巡回場所の廃止については、「利用者が少ないから」といった観点から行うのは望ましくない。仮に利用が減少しているのであれば、その要因の調査が必要である。廃止をする場合は、影響を受ける市民に丁寧な説明が必要である。あわせて、将来の図書館利用のために、どのような利用手段を希望するのか、意見を聞く必要がある。

次に、予約資料の受渡場所の拡大自体は望ましい。八王子市はすべての郵便局内で返却を受け付けている。その他、コンビニエンスストアや学校を活用しているところもある。しかし、そうした予約受け渡し場所を設置する代わりに、巡回場所を廃止するという方針には反対である。予約受け渡し場所では、資料選択の機会はなく、職員の支援を受けることもできない。さきほど述べたように、移動図書館の貸出の約8割は予約資料以外である。

他自治体との相互利用に関しては、確かに相互利用を進めることで、市民によってはそうした図書館でニーズを充足できるかもしれない。しかし、相互利用の拡大をサービス拠点の廃止、縮小には結びつけるべきではない。他自治体の図書館利用の際には、予約可能資料などで制限がつけられたり、将来、そうした制限がつけられたりすることも考えられる。町田市民が町田市の図書館を確実に利用できる体制を整えることが重要である。

資料配送サービスの代わりにサービス拠点を廃止、縮小することにも反対である。無料の資料配送サービスは、来館困難な利用者を対象としている。遠隔地の利用者に利用を広げる可能性も考えられるが、通常来館が可能な利用者に無料の資料配送サービスを提供することには議論が必要である。また、無料の利用者の範囲の特定は困難である。さらに、仮に資料配送サービスが有料となる場合は、やはり図書館空白地域の利用者に負担を押し付けることになり、望ましいとはいえない。

町田市では電子図書館サービスを開始した。このサービスにより、利用者は時間的な制約、距離的な制約を受けずに図書館利用が可能になる。しかし、電子図書館サービスを利用するには、家庭のインターネット接続環境、パソコン等の保有、コンピュータリテラシーなど課題が多い。また、電子図書館の充実には、経費が割高であり、コレクションの充実は容易ではない。以上のことから、電子図書館サービスは、短期的、中期的には移動図書館の代わりにはならない。

(2) 学校との連携についての意見

サービス拠点としての学校図書館の可能性については、2つの観点から議論した。一つは学校図書館を図書館の代わりとするもので、もう一つは、学校図書館を予約資料の受渡

場所とするものである。しかし、いずれにしても、現状、移動図書館との機能的違いから、**移動図書館の現状の台数は維持することが不可欠である。**

まず、**学校図書館を一般の図書館と共用することは、蔵書構成の違い、セキュリティの問題、児童生徒の活用時間との競合等の観点から困難である。**そもそも、学校図書館は本来的に児童、生徒のための施設であり、一般の図書館利用により学校図書館の機能発揮に支障がでるのは本末転倒である。また、児童生徒の個人情報の漏洩のリスク、児童生徒にとっての居場所が失われるリスクもある。以上のことから、学校図書館を図書館と共用することは困難である。

新たな学校に予約受渡し場所を新設することには意見が分かれた。学校が市内隈なく設置されていることからそこでの受渡しは市民の図書へのアクセスを改善することにつながる。しかし、現状のようにセキュリティが厳しい状況では、あえて学校に予約受渡し場所を設置することにはメリットがあまりない、という意見もあった。

また、学校を市立図書館と複合施設にすること、具体的には学校と図書館の施設、運営、サービス、蔵書を別々にすることについては、可能性がある。こうした学校を地域のコミュニティスペースとする発想は、今後、検討の余地がある。いずれの場合でも、施設の作り方には知恵を絞る必要がある。学校の新設計画の早い段階から学校側と意見を出し合う必要がある。しかし、この場合でも、学校の予約受渡し場所と移動図書館を二者択一の問題として捉えるのではなく、いずれもさらなる発展の方策をとることが重要である。

懸念事項として、複合施設が作られたとしても、学校から地域開放部分の担い手は出せない可能性がある。運営主体は地域協働になるかもしれないが、図書館部分は行政の支援が不可欠であろう。

5 移動図書館のサイズ

移動図書館の車両のあり方について、運行場所の拡大、運転手の確保、現車両の老朽化、新車購入予算等の観点から、事務局より、特にサイズについて検討の依頼があった。図書館協議会として望ましいあり方を審議した。

移動図書館の巡回場所には狭いところも多いことから、移動図書館の小型化は検討の余地がある。仮に小型化する場合でも、積載冊数はなるべく減少しないようにし、減少する場合は、資料の入替えを今以上に頻繁に行い、書架の魅力を高めることを期待したい。また、行くことのできなかつた場所、巡回場所にできなかつたところなどを新たに開拓することも期待したい。

6 将来的なサービス拠点

移動図書館を含めて、将来的な町田市立図書館のサービス拠点のあり方について、以下の①から③について、図書館協議会として望ましいあり方を審議した。

案① 学校図書館地域開放積極実施+移動図書館(1台)案

案② 学校開放と予約受渡場所+移動図書館(2台)案

案③ 移動図書館拡充案

移動図書館について、サービスの縮小ではなく、様々な可能性を検討することが必要である。確かにコストの問題はあるが、仮にいずれかの案を選択した場合であっても、別の方策を全く考慮しないのは望ましくない。その時々¹の状況を踏まえて体制を整備する必要がある。

その上で、上記の案のうち、**案③は現状のポイントへのサービスを継続できるため最も望ましい**。案①及び案②の学校図書館・学校の地域開放は、前述したように課題が多く望ましくない。

外部評価に基づく図書館の取組

取組番号	取組名	2020年度 評価・関連事項提言等	2021年度・2022年度 図書館の取組
2-3	子ども読書活動の推進	<p>①SDGsに関しては、17項目に対応した個別テーマのパッケージなどを作成し、大いに広報し、また貸出すと良いのではないかと考えます。</p> <p>②中学生向けの取り組みとして、Oxford Reading Tree (ORT) について、生徒たちへのアナウンスを行う等、PRを期待します。</p>	<p>①2021年度木曾山崎、2022年度堺・金森でSDGs 関連の特集コーナーを実施しました。</p> <p>②2022年度、学校図書館担当者研修会にて、英語多読やORTについて説明をしました。また、10代向けの英語多読講演会を開催しました。</p>
2-4	学校図書館との連携強化	<p>①取組の前提として、学校図書館の現状やニーズに関する情報収集が未だ不十分である可能性があります。改善を期待します。この点に関し、今後の取組の方向性で、学校図書館への調査を位置づけていることを高く評価します。</p> <p>②町田市小学校教育研究会図書館部との連携強化を期待します。現在の連携をさらに深めていくことにより、双方にメリットが生まれる可能性があります。</p>	<p>①2022年度、町田市内の公立小・中学校に対して学校図書館支援に関するアンケートを実施しました。</p> <p>②町田市小学校教育研究会図書館部の教員と学校図書館支援貸出について、意見交換を行いました。</p>
2-5	生涯学習施設の利用促進	<p>①3R推進課との連携や移動図書館の活用は、相互利用の促進といえますし、今後いろいろな可能性を含んでいるので継続・発展していくことを期待します。</p> <p>②YouTubeなどの活用も期待します。</p>	<p>①3R推進課と連携し、移動図書館そよかぜ号の巡回場所やせりがや冒険遊び場前へ、スケルトンごみ収集車“みえるくん”と一緒に訪問することで、お互いのPRによるサービス浸透の相乗効果を図りました。</p> <p>②さがまちコンソーシアム(さがまち学生Club)と協働して移動図書館のPR動画を作成し、町田市公式動画チャンネルへアップロードや宣伝を行いました。</p>
2-6	読書普及事業の充実	<p>①子どもが能動的に図書館を利用できるようになる工夫(イベント等)も必要と思われれます。</p> <p>②「まちクエ」は、本来中高生向けの講座で、2020年度は上限を外し40代の参加が多かったとのことですが、中学生と社会人では謎解きの解答率に差が生じることが想定されます。中高生が達成感を感じられるような工夫が必要と思われれます。</p> <p>③「ひとことPOPコンテスト」は、多くの人に本の良さを自ら発信できるよい取り組みだと感じます。自分の好きな本を誰かが手にすることを想像しながらPOPを作ることの楽しさをもっとアピールし、図書館利用促進につなげていくことを期待します。</p> <p>④「わいわいキャレル」は学校等に掲示してもらうなど情報発信に工夫が必要と感じます。</p>	<p>①金森・木曾山崎・中央の各館で参加型イベントを実施しました。</p> <p>②2021年度は1日の講座形式で対象を絞って実施しました。ただし、参加者が少なかったため、2022年度は冬休みを挟んだ約2か月間、中高生向け(ただし、どなたでも参加可)として実施しました。ゴールしてアンケートを回収できた人の約半数が対象年齢となりました。</p> <p>③「推し本を伝えよう!ひとことPOPコンテスト2022」を実施しました。ひとことPOPコンテスト2022の一層のPR及びPOP作成者以外への普及などのため、第二次審査のシール投票を市内の書店や地域文庫と連携して行いました。また、協力していただいた書店からは入選作品に対するコメントをいただきました。</p> <p>④YA通信(市内中学・高校に配布)に記事を載せる等PRに努めています。</p>
2-7	シニア世代向け事業の充実	<p>①情報格差の解消について事業実績の課題に記されていることは評価できます。今後の検討を期待します。</p> <p>②シニア世代向けの特集展示、特に移動図書館の特集コーナー「D-books」は今後も継続していくことを期待します。</p> <p>③「大人のためのおはなし会」等を今後、実施されることを期待します。</p>	<p>①デジタルデバйд解消事業(はじめてのスマホ体験、スマートフォン・タブレット個別相談会、東京都主催スマホ体験会等)を実施しました。</p> <p>②堺・移動図書館でD-books特集を実施、鶴川駅前ではD-booksコーナーを常設設置、木曾山崎・堺でシニア向け特集を実施しました。</p> <p>③金森で大人のためのおはなし会を実施しました。</p>
2-8	障がい者サービスの充実	<p>①ボランティア養成講座開催によりテキストDAISY製作が進むことも期待します。</p>	<p>①ボランティア養成講座については、2021年度に「テキストDAISY実習講座」を開催し製作を学ぶ機会を設けました。</p>
2-9	図書館資料による情報提供機会の充実	<p>①SDGsのテーマは、時宜を得ており、全市的に取り組むべき課題です。今後もぜひ取り上げてください。</p>	<p>①2021年度木曾山崎、2022年度堺・金森でSDGs 関連の特集コーナーを実施しました。(2-3再掲)</p>
3-8	レファレンスサービスの充実	<p>①「レファレンス通信」の発行が減っていることは残念です。紙面も利用者の関心を高める工夫などを検討してほしいです。</p> <p>②バスファインダーの改訂継続など、さらなる取り組みを期待します。</p>	<p>①各年度2回発行しました。第15号ではクイックレファレンスの事例を紹介し、若い世代にも関心を持ってもらえるように配布先に高等学校等を加えました。</p> <p>②2022年度バスファインダー・ビジネス編の改訂を行いました。</p>
4-3	地域で活動するボランティアの養成・支援	<p>①読み聞かせ活動に関わる人材のスキルアップに向けて、それぞれの講座でねらいを絞って取り組んだことは評価できます。</p>	<p>①絵本の読み聞かせ講座(基礎編・実践編)やボランティア研修など実施しました。</p>

資料 4

取組番号	取組名	2020年度 評価・関連事項提言等	2021年度・2022年度 図書館の取組
4-7	図書館運営の地域協働化の促進	①積極的に市民の声を聞き、市民とともに新しい活動分野を開拓していくことを期待します。	①2021年度、MSP(町田創造プロジェクト)や図書館実習生からボランティアの活動分野についてヒアリングを行いました。 中央図書館で子ども向けイベント「絵本づくりワークショップ」を行い、当日のボランティアとしてMSPから参加してもらいました。 2022年度、MSPと図書館のコラボイベント「図書館プランナーになってみちゃう!？」を実施。図書館でやってみたいイベントなどの提案を受けました。
5-2	本と出会う場所の創出	①読書マップにQRコードをつけて、SNSでも発信し、スマホで簡単に開くことができるようにすると利用が増すと考えます。	①QRコードをつけた読書マップを、2023年3月に発行しました。
5-5	図書館利用者の利便性の向上	①電子書籍導入の試験的導入を含め、計画の前倒しを期待します。 検討や実際の提供にあたっては、若年層や勤労層へのアピール、メリットのアピールを期待します。メリットとして、たとえば、検索や書き込みへの対応、音声の提供、アウトリーチなどが考えられます。	①電子書籍サービスを2022年10月18日より開始しました。 音声読み上げ機能等、電子書籍の特性を活かした選書を心掛けています。
5-6	地域資料の活用の推進	①3点の資料を先行公開したことは、高く評価します。 地域資料保管のためのデジタル化は、後世に伝えていくために必要な作業です。今後、計画に沿って進めていただくことを期待します。	①2021年度に公開資料を2点追加しました。 2021年度に町田市立図書館地域資料デジタル化の考え方の作成をしました。
5-7	市民のニーズに合った図書館事業の実施	①潜在的利用者を含めた継続的調査を期待します。 非利用者の調査実施および十分な分析が必要であると考えます。	①2022年度に「町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査」を実施しました。

図書館からの報告事項

1. 2023 年度の図書館の体制について

(1) 役職者の一覧

所属・役職	氏 名	備 考
図書館長	中嶋 真	
副館長	竹川 裕之	
担当課長	本郷 剛	
総務係長	柳下 明	
担当係長	佐藤 孝久	
企画・地域支援係長	中川 慎介	
担当係長	高田 欽哉	
資料管理係長	高松 昌司	
担当係長	野口 修子	
中央図書館サービス係長	海老澤 幸子	
担当係長	山田 明樹	
担当係長	佐倉 智博	生活援護課から転入
さるびあ図書館サービス係長	町田 永治	
担当係長	菱谷 圭一	
技能主査（自動車運転）	遠藤 昌男	
鶴川地域図書館サービス係長	芝崎 知子	
金森図書館サービス係長	保科 明雄	
忠生地域図書館サービス係長	中村 美栄子	
担当係長（木曾山崎図書館）	宮内 雄史	監査事務局から転入
堺図書館サービス係長	小林 直貴	

2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する図書館の対応について

- ・3月13日以降・・・マスク着用のお願いに関する案内を終了
- ・5月8日以降・・・

3. 町田市議会の動向

(1) 第1回定例会（2月21日～3月29日）

①図書館に関連する議案等

- ・第1号議案 令和4年度町田市一般会計補正予算 → 光熱水費の増額
- ・第7号議案 令和5年度町田市一般会計予算 → 当初予算

②文教社会常任委員会

2月21日 第1号議案（補正予算）

3月10日 第7号議案（当初予算）

行政報告「鶴川図書館の再編に関する説明会の開催について」

③一般質問

3月14日

- ・森本せいや議員「市が行う指定管理者に対する適正な労働条件の確認について」

(2) 昨年、図書館にて行われた労働条件モニタリングに関する研修会の評価について

3月16日

- ・おぜき重太郎議員「市立図書館の電子書籍サービスについて」

(1) 電子書籍サービスを導入した経緯と目的は。

(2) 現在の状況と課題は何か。

(3) 利用者の反応は。

(4) 電子書籍サービスをどこまで拡充していくのか。

(5) 電子書籍サービスの導入によって、図書館はどのような変化があったか。

(6) 町田市は図書館の将来像をどのように描いていくのか。

- ・田中美穂議員「鶴川図書館の図書館としての存続を求めて」

(1) 2月の説明会の内容について問う。また参加者からどのような意見が出されたか

(2) 図書館としての存続を求めるがどうか。

3月20日

- ・今村るか議員「文化・芸術・社会教育施設等をどう活かすのかを問う」

(1) 市民にとって文化や芸術、社会教育施設等は無くてはならない施設である。町田市はこれまでも公共施設の在り方を議論してきた。そこで美術館、図書館、文学館、資料館等は今後どのように活かされ創られるのか、これまでの経緯と今後の取り組みを伺います。

4. 町田市教育委員会の動向

(1) 第12回定例会（3月3日）

- ・議案第47号 町田市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について
→ 指定管理者に求める書類の変更（包括外部監査の結果を受け全庁で変更）

(2) 第1回定例会（4月14日）

- ・報告 鶴川図書館の再編に関する説明会の開催結果について
- ・報告「推し本を伝えよう！ひとことPOPコンテスト2022」の開催結果について
- ・報告 久美堂本町田店における予約資料受渡しサービス拠点の新設について

(3) 第2回定例会（5月12日）

5. 各種計画（町田市5ヵ年計画22-26、公共施設再編計画、アクションプランなど）
に基づく取組み

（1）（仮称）町田市教育プラン2024-2028の策定状況について【資料5-1】

（2）鶴川図書館の再編について

- ・本でつながるフェスタ in 鶴川団地～本と人とまち～
2023年3月4日（土）10：30～15：00
参加者：約790人（累計）

（3）鶴川駅前図書館の運営状況について【資料5-2】

①2022年度の運営状況について

②2023年度の年間事業計画について

③2023年度評価状況評価について

5月 指定管理者から事業報告書提出

7月 評価表作成

11月 評価委員会

（4）久美堂本町田店における予約資料受渡しサービス拠点の新設について【資料5-3】

**(仮称)町田市教育プラン 2024-2028 重点事業(案) 【図書館該当部分抜粋版】 について意見
および質問**

2023.4.7

全体のプランが見えないので断定的なことは言えませんが、子どものことを国も市も真ん中に置くという方針の割には、図書館該当部分については、施策の内容が現在の教育プランとあまり変わらず、目標とする数値をただ増やしているだけの部分もある内容で、残念です。以下は各施策についての意見及び質問です。

Iー施策 5 学びのきっかけとなる機会を提供する

名称 子ども・若者の読書活動推進

(意見) 読解力、思考力、想像力などを養うには読書は欠かせないことはいうまでもありませんが、町田市の子どもたちの学力レベルは、都内の平均よりも大体において低いとのデータが令和 4 年度の全国学力・学習状況調査結果で出ています。また、令和 3 年度と同調査では、普段、授業以外の 1 日当たりの読書時間について、「30 分以上、1 時間より少ない」と回答した児童と「全くしない」と回答した児童では、正答率が 9.5 ポイントもの差があり、読書習慣を身に付けることは、学力の向上につながる傾向があるとして、各家庭にも家庭での読書を勧めています。この辺りは、指導課の範疇かもしれませんが、この項目でも①の子ども読書活動推進計画は 2024 年度には策定されたあとの進展が大事で、計画の策定だけを目標とせず、その実施、成果について数値的目標値を設定したほうが良いと思います。

また、この名称には、新たに若者を対象に加えていますが、①の子ども読書活動推進計画には高校生以上の若者は入っておらず、また②の若者の参画による読書普及イベントを 1 つから 3 つに増やすくらいでは成果をあまり期待できません。市内の中学、高校にもつと積極的にアプローチするような施策がほしいです。

名称 学びにつなげる図書館体験

(意見) ①、②、③ともすでに今まで行ってきたことを挙げており、①図書館講座・図書館員体験の実施回数は数値目標も従来通りで工夫が見られません。②移動図書館の出張運行は、現在試行中で、今後の充実を期待します。③については、レファレンス数だけでなく、レファレンスリーフレットの発行件数も指標に加えたらよいと思います。

基本方針 II 一人ひとりの多様な学びを推進する

IIー施策 3 誰もが学べる機会を提供する

名称 障害者向けの多様な図書館サービスの推進

(意見) 現在の教育プランに入っていなかったのが問題であり、今回プランに入って良かつ

たが、②の障がい者サービスボランティア養成講座の受講生の目標人数を現在の 18 人から 10 人に減らすのか。減らすべきでないとする。

Ⅲ将来にわたり学ぶことができる環境を整備する

Ⅲの 2 学び続けることができる環境を整備する

名称 図書館再編と運営体制の構築

(意見) この項目の対象は市民であり、市民が学び続けることができる環境として挙げられているのが図書館の集約や指定管理者制度であるのはおかしいです。図書館の再編や指定管理者制度導入というテーマはどう見ても市の運営上のテーマではあっても、市民のための教育プランの内容ではないと考えます。指定管理者制度の導入は、図書館に限らず、多くの部署で、職員の空洞化が起これ、市の中に専門知識の蓄積がおこなわれなくなって、結局、学び続けることができる環境が壊れていくと考えます。

Ⅳ地域と共に学ぼう力を高める

Ⅳ一施策 2 地域での学びを推進する

名称 ワタシが主役の図書館づくりの推進

(質問) 地域と「共に創」「共に運営する」は誰がという主語がありません。主語は「市民」ですか？「図書館」ですか？

(意見) 名称で「図書館づくり」といいながら、図書館ではなく図書コミュニティづくりであり、具体的には図書提供機能として予約受け渡し場所のことしか書かれておらず、肝心の図書がどのように提供されるが書かれていません。市は「学び続けることができる環境」を維持するために鶴川地域の市民に図書をどのように提供し続けるかをきちんと書いてあるべきです。

Ⅳ地域で学ぼう力を高める

Ⅳ一施策 2 地域での学びを推進する

名称 地域で活動する図書館ボランティアの育成・支援

(質問) 前項目も本項目もⅣ一施策 2 と書いてありますが、施策 2 は「学校と地域が連携した学びを推進する」であり、「地域での学びを推進する」施策は、Ⅳ一 3 ではないですか。

(意見) 講座には読み聞かせ講座しか挙げられていませんが、おはなし会のボランティアの活動登録をするなら、そのための養成講座も必要です。

重点事業(案)の図書館該当部分抜粋版への意見

1. 全体について

・評価指標について

『町田市の図書館評価 2020 年度 事業の評価結果』の図書館協議会による「町田市立図書館の図書館外部評価に関する報告」では、インプット中心の評価指標を改めるよう提起しています。このことについて、「まえがき」にて図書館長は以下のように回答しています。

3 評価事項の指標

評価項目については、第 1 期、第 2 期、第 3 期とその時々々の計画を基に変化しています。第 3 期に関してはこの評価項目で取り組み、次期評価項目については、市民に図書館のサービスをわかりやすく表すことができる項目を検討したいと考えています。

しかし、依然としてインプットによる評価が多く示されています。繰り返しになりますが、アウトプット、アウトカム、インパクトによる評価が適当と考えます。例えば、「子ども・若者の読書活動推進」についていえば、目標値で「イベント数」が挙げられていますが、参加者数や参加したことによる読書意欲の変化、イベント参加の満足度などにすることが考えられます。

・計画化された事業

2023 年 2 月 14 日の第 9 回図書館協議会で、「教育プラン」における事業の施策のレベルを尋ねたところ、副館長から以下の回答を得ました。

レベル感という意味では、今の生涯学習推進計画とそんなに変わらないのかと。数的には教育委員会のものが全部という形になるので、例えば今回、図書館評価をやっていただいた項目が 14 項目あ

ったと思うが、それだけの数はないが、レベル感という意味ではそんなに大きく変わらないかと思
っている。

しかし、実際には今回示された計画は、前回と比較して事業数は半数以下であり、「大きな」事業中
心となっていることは明らかです。このことについて、図書館としての見解を求めたい。

2. 子ども・若者の読書活動推進

・計画策定について

「子どもの読書活動の推進に関する法律」の第9条2項において、努力義務とはいえ策定が求めら
れている計画策定が「教育プラン」の「重点事業」になる理由が分かりません。2022年の策定率は
全国の市で93.9%です。読書活動推進計画策定は当然のことであり、ここでは重点的な施策・事業
を掲載すべきだと考えます。

3. 図書館再編と運営体制の構築

・議論の進め方について

図書館にとって極めて重要な指定管理, 集約, 廃止等の計画を図書館協議会では議論の対象とせず,
生涯学習審議会で審議する理由が分かりません。図書館法第14条は以下のように述べています。図
書館の運営に関わる重要な事案は当然に図書館協議会に諮問, あるいは意見を求めるのが適当と考
えます。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕
につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

■利用状況_月別貸出冊数及び来館者数の2022年度／2019年度各館比較

来館者数	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比
鶴川駅前図書館	24,307	25,924	93.8%	24,609	27,616	89.1%	26,913	26,722	100.7%	30,933	31,143	99.3%	34,648	33,559	103.2%	30,273	27,964	108.3%
中央図書館	41,612	48,840	85.2%	43,902	53,486	82.1%	43,636	51,151	85.3%	47,121	55,138	85.5%	45,804	56,686	80.8%	45,486	50,631	89.8%
さるびあ図書館	11,307	16,518	68.5%	11,635	14,864	78.3%	9,895	15,652	63.2%	10,860	18,542	58.6%	11,178	21,151	52.8%	10,004	18,863	53.0%
鶴川図書館	4,733	12,560	37.7%	5,207	15,248	34.1%	3,471	13,897	25.0%	5,480	13,392	40.9%	4,714	14,052	33.5%	5,098	14,525	35.1%
金森図書館	13,408	20,823	64.4%	11,424	20,888	54.7%	10,566	20,867	50.6%	18,650	22,326	83.5%	20,525	24,718	83.0%	19,392	21,488	90.2%
木曾山崎図書館	11,919	20,936	56.9%	17,573	21,733	80.9%	14,555	19,161	76.0%	13,850	20,073	69.0%	13,093	19,467	67.3%	13,124	18,520	70.9%
堺図書館	4,865	6,272	77.6%	5,489	6,814	80.6%	6,125	5,905	103.7%	7,077	8,147	86.9%	5,788	7,240	79.9%	4,665	5,977	78.0%
忠生図書館	13,398	15,843	84.6%	13,815	16,715	82.7%	13,568	17,823	76.1%	15,832	20,475	77.3%	14,294	23,197	61.6%	11,999	17,604	68.2%
直営地域館全体	59,630	92,952	64.2%	65,143	96,262	67.7%	58,180	93,305	62.4%	71,749	102,955	69.7%	69,592	109,825	63.4%	64,282	96,977	66.3%
直営館全体	101,242	141,792	71.4%	109,045	149,748	72.8%	101,816	144,456	70.5%	118,870	158,093	75.2%	115,396	166,511	69.3%	109,768	147,608	74.4%
市立図書館全体	125,549	167,716	74.9%	133,654	177,364	75.4%	128,729	171,178	75.2%	149,803	189,236	79.2%	150,044	200,070	75.0%	140,041	175,572	79.8%

貸出点数	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比
鶴川駅前図書館	31,818	36,932	86.2%	32,556	35,663	91.3%	30,669	36,121	84.9%	34,463	40,476	85.1%	35,209	40,949	86.0%	30,673	34,772	88.2%
中央図書館	60,891	75,392	80.8%	62,535	76,371	81.9%	59,165	77,657	76.2%	65,420	79,028	82.8%	62,632	80,421	77.9%	58,838	71,612	82.2%
さるびあ図書館	17,531	20,360	86.1%	17,674	19,963	88.5%	17,508	21,448	81.6%	19,267	22,551	85.4%	19,907	23,574	84.4%	18,171	21,228	85.6%
鶴川図書館	11,397	12,700	89.7%	11,139	12,105	92.0%	10,340	12,858	80.4%	12,070	13,644	88.5%	12,257	14,451	84.8%	10,917	12,398	88.1%
金森図書館	40,953	45,175	90.7%	41,649	45,239	92.1%	40,018	48,070	83.2%	46,079	48,923	94.2%	45,956	53,569	85.8%	40,836	44,013	92.8%
木曾山崎図書館	14,380	15,757	91.3%	14,595	15,656	93.2%	13,549	15,851	85.5%	14,058	16,973	82.8%	14,896	17,679	84.3%	13,728	15,683	87.5%
堺図書館	10,308	9,471	108.8%	9,963	10,120	98.4%	9,362	10,588	88.4%	11,185	10,898	102.6%	10,238	11,125	92.0%	9,830	9,896	99.3%
忠生図書館	30,361	33,649	90.2%	30,399	33,352	91.1%	28,552	36,878	77.4%	36,644	40,767	89.9%	37,044	43,236	85.7%	31,902	34,326	92.9%
直営地域館全体	124,930	137,112	91.1%	125,419	136,435	91.9%	119,329	145,693	81.9%	139,303	153,756	90.6%	140,298	163,634	85.7%	125,384	137,544	91.2%
直営館全体	185,821	212,504	87.4%	187,954	212,806	88.3%	178,494	223,350	79.9%	204,723	232,784	87.9%	202,930	244,055	83.1%	184,222	209,156	88.1%
市立図書館全体	217,639	249,436	87.3%	220,510	248,469	88.7%	209,163	259,471	80.6%	239,186	273,260	87.5%	238,139	285,004	83.6%	214,895	243,928	88.1%

■利用状況_月別貸出冊数及び来館者数の2022年度／2019年度各館比較

来館者数	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月～3月累計		
	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比
鶴川駅前図書館	32,088	26,051	123.2%	31,243	28,074	111.3%	27,698	20,826	133.0%	28,448	24,849	114.5%	29,853	29,343	101.7%	29,181	5,388	541.6%	350,194	307,459	113.9%
中央図書館	45,535	49,128	92.7%	40,024	49,475	80.9%	40,703	38,994	104.4%	42,341	43,346	97.7%	44,321	48,403	91.6%	45,578	8,012	568.9%	526,063	553,290	95.1%
さるびあ図書館	10,258	16,025	64.0%	9,864	15,336	64.3%	9,219	12,145	75.9%	10,289	14,254	72.2%	11,232	17,234	65.2%	11,119	2,560	434.3%	126,860	183,144	69.3%
鶴川図書館	6,411	12,415	51.6%	5,937	12,241	48.5%	7,649	9,156	83.5%	7,984	10,953	72.9%	7,597	12,528	60.6%	5,513	2,406	229.1%	69,794	143,373	48.7%
金森図書館	20,597	20,417	100.9%	21,969	20,434	107.5%	22,779	15,959	142.7%	25,855	19,323	133.8%	25,967	22,797	113.9%	18,527	6,406	289.2%	229,659	236,446	97.1%
木曾山崎図書館	14,272	18,234	78.3%	14,394	17,618	81.7%	12,462	12,255	101.7%	12,434	13,475	92.3%	11,980	16,856	71.1%	13,650	1,542	885.2%	163,306	199,870	81.7%
堺図書館	5,057	5,755	87.9%	4,925	5,538	88.9%	4,570	4,166	109.7%	4,285	4,911	87.3%	4,305	5,643	76.3%	4,418	1,423	310.5%	61,569	67,791	90.8%
忠生図書館	12,624	17,333	72.8%	13,961	16,716	83.5%	12,516	12,206	102.5%	12,613	22,545	55.9%	13,241	17,647	75.0%	13,699	2,748	498.5%	161,560	200,852	80.4%
直営地域館全体	69,219	90,179	76.8%	71,050	87,883	80.8%	69,195	65,887	105.0%	73,460	85,461	86.0%	74,322	92,705	80.2%	66,926	17,085	391.7%	812,748	1,031,476	78.8%
直営館全体	114,754	139,307	82.4%	111,074	137,358	80.9%	109,898	104,881	104.8%	115,801	128,807	89.9%	118,643	141,108	84.1%	112,504	25,097	448.3%	1,338,811	1,584,766	84.5%
市立図書館全体	146,842	165,358	88.8%	142,317	165,432	86.0%	137,596	125,707	109.5%	144,249	153,656	93.9%	148,496	170,451	87.1%	141,685	30,485	464.8%	1,689,005	1,892,225	89.3%

貸出点数	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月～3月累計		
	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比	2022年度	2019年度	2019年度比
鶴川駅前図書館	31,862	34,977	91.1%	30,151	34,545	87.3%	29,304	28,138	104.1%	29,758	32,702	91.0%	30,301	38,300	79.1%	30,440	10,700	284.5%	377,204	404,275	93.3%
中央図書館	59,776	71,053	84.1%	54,226	70,649	76.8%	57,428	61,620	93.2%	57,781	64,664	89.4%	58,498	74,565	78.5%	59,487	14,335	415.0%	716,677	817,367	87.7%
さるびあ図書館	17,841	21,357	83.5%	16,863	20,263	83.2%	16,140	16,165	99.8%	16,059	18,064	88.9%	16,944	21,620	78.4%	17,916	5,750	311.6%	211,821	232,343	91.2%
鶴川図書館	10,878	12,867	84.5%	10,615	12,447	85.3%	10,349	10,012	103.4%	9,671	11,098	87.1%	10,090	12,926	78.1%	10,533	4,381	240.4%	130,256	141,887	91.8%
金森図書館	40,958	43,082	95.1%	39,678	41,002	96.8%	38,043	34,260	111.0%	37,996	38,635	98.3%	38,525	46,282	83.2%	40,938	11,290	362.6%	491,629	499,540	98.4%
木曾山崎図書館	14,475	16,199	89.4%	13,796	15,561	88.7%	12,911	12,634	102.2%	13,012	14,079	92.4%	12,814	16,132	79.4%	13,666	3,771	362.4%	165,880	175,975	94.3%
堺図書館	9,584	9,997	95.9%	9,671	9,880	97.9%	8,736	7,944	110.0%	8,930	9,204	97.0%	8,828	11,214	78.7%	9,395	2,482	378.5%	116,030	112,819	102.8%
忠生図書館	31,426	35,401	88.8%	29,778	33,097	90.0%	28,522	27,537	103.6%	28,546	30,268	94.3%	28,950	36,747	78.8%	30,323	8,089	374.9%	372,447	393,347	94.7%
直営地域館全体	125,162	138,903	90.1%	120,401	132,250	91.0%	114,701	108,552	105.7%	114,214	121,348	94.1%	116,151	144,921	80.1%	122,771	35,763	343.3%	1,488,063	1,555,911	95.6%
直営館全体	184,938	209,956	88.1%	174,627	202,899	86.1%	172,129	170,172	101.2%	171,995	186,012	92.5%	174,649	219,486	79.6%	182,258	50,098	363.8%	2,204,740	2,373,278	92.9%
市立図書館全体	216,800	244,933	88.5%	204,778	237,444	86.2%	201,433	198,310	101.6%	201,753	218,714	92.2%	204,950	257,786	79.5%	212,698	60,798	349.8%	2,581,944	2,777,553	93.0%

町田市立鶴川駅前図書館 実施事業一覧表（2022年度）

※事業の開始・終了が月をまたいでいるものもあります。

町田市立図書館全体で実施した事業等	鶴川駅前図書館で実施した事業					
	おはなし会	特集展示 ※詳細（展示のタイトル）は別紙参照	展示会 ※カフェ側ブックシェルフにて※（ ）は主催者	イベント事業 （自主事業含む）		
				一般（開館10周年記念事業）	児童YA	自主事業
4月	・としょかん1ねんせい ・どくしよてちょう ・対面朗読サービス	・おはなし会 ・乳幼児向けおはなし会	一般、暮らし、児童（大）		・子ども読書週間関連イベント「おすすめこいのほりをかざろう」	・開館時間延長の開始 ・本の除菌機を設置 ・館内フリーwifiの導入 ・スタッフによる館内の巡回を開始
5月	・としょかん1ねんせい ・どくしよてちょう ・対面朗読サービス	・おはなし会 ・乳幼児向けおはなし会	一般、暮らし、クラシック音楽を身近なものに、文学、児童（大）、児童（小）、地域資料コーナー			・さるびあ亭かーこの紙芝居「交通安全・公園マナー」
6月	・としょかん1ねんせい ・どくしよてちょう ・対面朗読サービス	・おはなし会 ・乳幼児向けおはなし会	一般、暮らし、クラシック音楽を身近なものに、文学、YA、児童（大）、児童（小）、特設コーナーA「地域連携特集」、特設コーナーB「映画の本棚」、地域資料コーナー	・ワイルドライフファインアート展（NPO法人ジャパンワイルドライフセンター）		・「鶴川駅前図書館だより」（第1号） ・カウンターに読書補助具（リーディングトラック）を設置。
7月	・としょかん1ねんせい ・どくしよてちょう ・対面朗読サービス ・まちたんけん受入（鶴川第三小学校2年生）	・おはなし会 ・えいごのおはなし会 ・乳幼児向けおはなし会	一般、暮らし、クラシック音楽を身近なものに、文学、YA、児童（大）、児童（小）、特設コーナーA「地域連携特集」、特設コーナーB「映画の本棚」、地域資料コーナー		・夏休み子どもフェア「としょかん祭！クイズ縁日」「あいうえおどくしよ！」	・flierサービスの開始 ・さるびあ亭かーこの紙芝居「熱中症・SDGs」
8月	・としょかん1ねんせい ・どくしよてちょう ・対面朗読サービス	・おはなし会 ・えいごのおはなし会 ・乳幼児向けおはなし会	一般、暮らし、クラシック音楽を身近なものに、文学、YA、児童（大）、児童（小）、特設コーナーA「地域連携特集」、特設コーナーB「映画の本棚」、地域資料コーナー	・ワイルドライフファインアート展（NPO法人ジャパンワイルドライフセンター）	・鶴川駅前図書館オリジナルキャラクター①総選挙	・オンライン講座「英語絵本読み聞かせ入門」 ・小田急線鶴川駅構内に当館のPRポスターを掲示
9月	・としょかん1ねんせい ・どくしよてちょう ・対面朗読サービス ・図書館見学の受入（鶴川中学校1年生） ・和光大学ポブリホール鶴川 全館合同防災訓練	・おはなし会 ・えいごのおはなし会 ・乳幼児向けおはなし会 ・出張おはなし会（都立町田の丘学園）	一般、暮らし、クラシック音楽を身近なものに、文学、YA、児童（大）、児童（小）、特設コーナーA「地域連携特集」、特設コーナーB「映画の本棚」、地域資料コーナー		・鶴川駅前図書館オリジナルキャラクター②名前募集 ・10周年記念事業 総合特別展示（原ゆたか氏（かいけつゾロリ）+きむらゆういち氏+中垣ゆたか氏+さるびあ亭かーこ氏）	・さるびあ亭かーこの紙芝居「成年後見制度・オレオレ詐欺防止」 ・「鶴川駅前図書館だより」（第2号）
10月	・としょかん1ねんせい ・どくしよてちょう ・対面朗読サービス ・まちたんけん受入（大蔵小学校2年生、金井小学校2年生）	・おはなし会 ・えいごのおはなし会 ・乳幼児向けおはなし会	一般、暮らし、クラシック音楽を身近なものに、文学、YA、児童（大）、児童（小）、特設コーナーA「地域連携特集」、特設コーナーB「映画の本棚」、地域資料コーナー		・鶴川駅前図書館オリジナルキャラクター③名前決定投票 ・『かいけつゾロリ』と写真を撮ろう！『缶バッジ』を作ろう！ ・きむらゆういち氏の『原画』等特別展示 ・原作者きむらゆういち氏講演会『あらしのよるに』シリーズ誕生秘話&ワークショップ ・中垣ゆたか氏の『原画』等特別展示 ・オリジナルキャラクター発表会&中垣ゆたか氏ワークショップ ・さるびあ亭かーこの紙芝居 特別編 ・開館10周年記念紙芝居『としょかんはじめて物語』の展示	
11月	・としょかん1ねんせい ・どくしよてちょう ・対面朗読サービス ・利用者アンケート実施	・おはなし会 ・えいごのおはなし会 ・乳幼児向けおはなし会	一般、暮らし、クラシック音楽を身近なものに、文学、YA、児童（大）、児童（小）、特設コーナーA「地域連携特集」、特設コーナーB「映画の本棚」、地域資料コーナー	・都市景観（地区街づくり課）		・さるびあ亭かーこの紙芝居「家庭教育・環境問題」 ・車椅子優先席の設置
12月	・としょかん1ねんせい ・どくしよてちょう ・対面朗読サービス	・おはなし会 ・えいごのおはなし会 ・乳幼児向けおはなし会	一般、暮らし、クラシック音楽を身近なものに、文学、YA、児童（大）、児童（小）、特設コーナーA「地域連携特集」、特設コーナーB「映画の本棚」、地域資料コーナー	・2022まちかど子どもギャラリー（町田市第五地区）	・クリスマス・アドベントスタンプカード ・クリスマスおはなし会&工作会	・当館職員が「認知症サポーター養成講座」を受講（高齢者福祉課と連携）
1月	・としょかん1ねんせい ・どくしよてちょう ・対面朗読サービス ・POPコンテスト ・二十祭まちだ応援事業 ・職場訪問の受入（鶴川第二中学校）	・おはなし会 ・えいごのおはなし会 ・乳幼児向けおはなし会	一般、暮らし、クラシック音楽を身近なものに、文学、YA、児童（大）、児童（小）、特設コーナーA「地域連携特集」、特設コーナーB「映画の本棚」、地域資料コーナー	・子どもたちの明るいミライへ（和光大学菅野ゼミ）	・お正月 本の福袋	・さるびあ亭かーこの紙芝居「元祖街頭紙芝居」 ・上記事業連携展示「紙芝居」 ・当館責任者が「地域の“あったらいいな”を考えるワークショップ」（高齢者福祉課主催）に参加。
2月	・としょかん1ねんせい ・どくしよてちょう ・対面朗読サービス	・おはなし会 ・えいごのおはなし会 ・乳幼児向けおはなし会	一般、暮らし、クラシック音楽を身近なものに、文学、YA、児童（大）、児童（小）、特設コーナーA「地域連携特集」、特設コーナーB「映画の本棚」、地域資料コーナー	・鶴川駅前図書館 特集展示ポスター展（当館事業）		・「魂のPOP」（桜美林中学校と連携） ・「鶴川駅前図書館だより」（第3号）
3月	・としょかん1ねんせい ・どくしよてちょう ・対面朗読サービス ・さがまちコンソーシアム大学生インターンシップの受入 ・和光大学ポブリホール鶴川 全館合同防災訓練	・おはなし会 ・えいごのおはなし会 ・乳幼児向けおはなし会	一般、暮らし、クラシック音楽を身近なものに、文学、YA、児童（大）、児童（小）、特設コーナーA「地域連携特集」、特設コーナーB「映画の本棚」、地域資料コーナー	・ワイルドライフファインアート展（NPO法人ジャパンワイルドライフセンター）		・オンライン講座「自分に合ったビジネス書の選び方」 ・さるびあ亭かーこの紙芝居「防災・春」

町田市立鶴川駅前図書館 実施事業一覧表（2022年度） 別表：特集展示 詳細（展示のタイトル）

	展示のタイトル									
	一般	暮らし	クラシック音楽を身近なものに	文学	YA	児童（大）	児童（小）	特設コーナーA 「地域連携特集」 ※（ ）は連携先	特設コーナーB 「映画の本棚」 ※和光大学ポプリホール鶴川と連携	地域資料コーナー ※鶴川地区協議会と連携
4月	・図書館からはじめよう	・D-Books（高齢者福祉課と連携）				・はじめのいっぽ！～新しいこと、やってみよう				
5月	・新緑を楽しもう！ ・ひとあし先に梅雨の準備を	・D-Books（高齢者福祉課と連携）	・モーツァルト「フルートとハープのための協奏曲」	・木曜会		・おかあさん	・とり			・町田市の3市境界点を辿る…！
6月	・和菓子 ・食 ～夏バテ予防に～	・D-Books（高齢者福祉課と連携）	・メンデルスゾーン「真夏の夜の夢（序曲）」	・安楽椅子探偵	・雨	・歯を守ろう	・あめのひがたのしくなる	・まちだと作家たち「森村誠一」（町田市民文学館）	・映画「いまはむかし」にちなんでインドネシア特集	・歴史まもり・伝える～自由民権資料館のこれまでとこれから～
7月	・もしもに備えて ・冷たい食べ物 冷たい飲み物	・夏というタレコミがありました。 ・D-Books（高齢者福祉課と連携）	・オスカー・ピーターソン「ブリーズ・リクエスト」	・歴代芥川賞・直木賞受賞作	・7	・夏が来た！	・星に願いを ・SDGsな夏休み（環境課との連携） ・追悼 あいはらひろゆきさん	・まちだと作家たち「三浦しをん」（和光大学ポプリホール鶴川）	・映画化された小説〔邦画編〕	・気分は何時も冒険少年…自然の宝庫・三輪の里山を知ろう！
8月	・水週間 ・暦生活	・暑い夏 太陽が強すぎだ ・D-Books（高齢者福祉課と連携）	・シューベルト「ピアノ五重奏《ます》」	・ホラー	・夏はあつという間 ショートショート	・なつだ～「ぼうけん」にでかけよう	・さいごまで なつをたのしむぞ		・映画化された小説〔洋画編〕	・色んな生きものに会いに行こう
9月	・ほっと一息入れませんか ・認知症について（アルツハイマーデー）	・夏の疲れをいやそう ・D-Books（高齢者福祉課と連携）	・エンニオ・モリコーネ「ニュー・シネマ・パラダイス」	・全集への招待状	・文化祭！	・おつきさまといっしょ	・としょかんレストラン	・10周年記念事業 総合特別展示 （原ゆたか氏（ゾロリ）＋きむらゆういち氏＋中垣ゆたか氏＋さるびあ亭かーこ氏）	・映画「ニュー・シネマ・パラダイス」にちなんでイタリヤ・フランス特集	・スマホ「みんなの情報モラル」講座
10月	・新米 ・3R（リデュース・リユース・リサイクル）	・食欲の秋 満腹レシピ大集合 ・D-Books（高齢者福祉課と連携）	・ガーシュイン「ラブソング・イン・ブルー」	・本の本	・Halloween	・ハッピーハロウィン！	・スポーツを楽しもう！ ・追悼 やまわきゆりこさん		・映画「ストーリー・オブ・マイ・ライフ」にちなんで家族・兄弟姉妹特集	・知られざる鶴川地区の縄文文化 ・ベイビーシアターin鶴川「音楽であそぼう！」
11月	・都市景観（地区街づくり課との連携）	・寒さ到来 体から暖かくなる ・D-Books（高齢者福祉課と連携）	・ウェス・モンゴメリー「ア・デイ・イン・ザ・ライフ」	・パディ小説	・お仕事小説	・わんちゃんだいしゅうごう	・あきをみつけよう	・児童虐待防止・オレンジリボン運動「こどもたちの明るいミライへ」（和光大学菅野ゼミ）	・映画「ホームカミング」にちなんで飯島敏宏監督とウルトラマン特集 ・映画「マイ・ブック・ショップ」にちなんで本と書店特集	・鶴川村/三輪・岡上の郷土をひもとく ・ベイビーシアターin鶴川「はじめてのコンサート」
12月	・今年もあとわずか 寒さに負けるな ・数字で12ヶ月	・年末大掃除祭り ・D-Books（高齢者福祉課と連携）	・チャイコフスキー「くるみ割り人形」「悲愴」	・詩人の散文	・クリスマス	・ゆき	・あったか絵本	・「インドネシア」（和光大学ポプリホール鶴川）	・チャップリン&映画の日	・鶴川にある「小さなミュージアム」～かわいいドイツの木工人形の紹介～
1月	・開運 縁起物 ・戦の国の武将たち	・お正月過ぎて食べたいあの一品 ・D-Books（高齢者福祉課と連携）	・シュトラウス家 魅惑の名曲	・デビュー作	・コメディ読んで初笑い	・今年が卯年！	・おおみそかからお正月へ	・「新春文化の祭典in鶴川2023」（町田市文化協会）	・映画「Ryuichi Sakamoto:CODA」にちなんで音楽特集	・井出の澤碑と北条氏 鎌倉再興の夢と行方
2月	・Jリーグ開幕30周年 ・ビジネス本（flierサービス連携展示）	・コレステロール値が気になりはじめたら ・D-Books（高齢者福祉課と連携）	・ベートーヴェン「ピアノ三重奏作品97」	・余計者（よけいもの）	・甘いのはお好き（パレンタインデー）	・あまーい デザート	・おに！	・「魂のPOP」（桜美林中学校と連携）※自主事業	・映画「漁港の肉子ちゃん」にちなんでアニメ特集	・自由民権資料館が変わりました！
3月	・春はもうそこまで ・美しいもの	・祝入学式 新しい場所での第一歩 ・D-Books（高齢者福祉課と連携）	・マイルス・デイビス「ユア・アンダー・アレスト」	・紀行文学の世界 ・追悼 大江健三郎さん	・ポケットに“うた”を	・えほんからよみものへのかけはし 幼年どうわ	・ドキドキわくわく ようちえん・がっこうってどんなところ？	・まちだと作家たち「遠藤周作」（町田市民文学館）	・映画「たゆたえども沈まず」にちなんで防災特集	・地域活動に参加しませんか？／ふれあいサロン説明会

2. 事業計画

2023年度 事業等実施計画一覧						
	町田市立図書館 全体で実施する 事業等	鶴川駅前図書館で実施する事業				
		おはなし会	定例的展示	イベント事業・展示 (自主事業含む)		
				一般	児童YA	自主事業
4月		おはなし会 (第1水曜) 英語のおはなし会 (第2火曜) 乳幼児向けおはなし 会(第4金曜)	カフェ側扉前特設コー ナー、ポプリホール連 携展示、一般、クラ シック音楽、暮らし、 児童(大・小)、3水連 携、文学、YA		子ども読書の日 関連イベント	
5月		おはなし会 (第1水曜) 英語のおはなし会 (第2火曜) 乳幼児向けおはなし 会(第4金曜)	カフェ側扉前特設コー ナー、ポプリホール連 携展示、一般、クラ シック音楽、暮らし、 児童(大・小)、3水連 携、文学、YA			予約資料受渡し サービス開始 (5月23日～)
6月		おはなし会 (第1水曜) 英語のおはなし会 (第2火曜) 乳幼児向けおはなし 会(第4金曜)	カフェ側扉前特設コー ナー、ポプリホール連 携展示、一般、クラ シック音楽、暮らし、 児童(大・小)、3水連 携、文学、YA	Dフレンズ町田との連 携「認知症サポートの パネル展示」 本のリサイクル市(3 水の日)		かーこの紙芝居 (夏)
7月	ショートショート コンクール (2022年度と同時期 開催予定。 担当・文学館)	おはなし会 (第1水曜) 英語のおはなし会 (第2火曜) 乳幼児向けおはなし 会(第4金曜)	カフェ側扉前特設コー ナー、ポプリホール連 携展示、一般、クラ シック音楽、暮らし、 児童(大・小)、3水連 携、文学、YA	講座「町田のホストタ ウンを知ろう」(南ア フリカ篇・インドネシ ア篇) 鶴川駅前 図書館だより(4号)		
8月	夏休み子ども フェア	おはなし会 (第1水曜) 英語のおはなし会 (第2火曜) 乳幼児向けおはなし 会(第4金曜)	カフェ側扉前特設コー ナー、ポプリホール連 携展示、一般、クラ シック音楽、暮らし、 児童(大・小)、3水連 携、文学、YA	講座「クラシック音楽 を身近なものに」		
9月	消防訓練 町田市中学2年生・ 職場体験受入	おはなし会 (第1水曜) 英語のおはなし会 (第2火曜) 乳幼児向けおはなし 会(第4金曜)	カフェ側扉前特設コー ナー、ポプリホール連 携展示、一般、クラ シック音楽、暮らし、 児童(大・小)、3水連 携、文学、YA	Dフレンズ町田との連 携「認知症サポートの パネル展示」		
10月		おはなし会 (第1水曜) 英語のおはなし会 (第2火曜) 乳幼児向けおはなし 会(第4金曜)	カフェ側扉前特設コー ナー、ポプリホール連 携展示、一般、クラ シック音楽、暮らし、 児童(大・小)、3水連 携、文学、YA	鶴川駅前図書館 まつり 連携展示「町田市・地 区街づくり課『都市景 観』」	読書週間関連 「つるまっちー、 こつるまっちー 1歳記念 イベント」	かーこの紙芝居 (秋)
11月	利用者アンケート POPコンテスト 町田市中学2年生・ 職場体験受入 蔵書点検	おはなし会 (第1水曜) 英語のおはなし会 (第2火曜) 乳幼児向けおはなし 会(第4金曜)	カフェ側扉前特設コー ナー、ポプリホール連 携展示、一般、クラ シック音楽、暮らし、 児童(大・小)、3水連 携、文学、YA	鶴川駅前 図書館だより(5号) 連携展示「和光大学菅 野ゼミ『児童虐待防 止』」		

2023年度 事業等実施計画一覧						
	町田市立図書館 全体で実施する 事業等	鶴川駅前図書館で実施する事業				
		おはなし会	定例的展示	イベント事業・展示 (自主事業含む)		
				一般	児童YA	自主事業
12月		おはなし会 (第1水曜) 英語のおはなし会 (第2火曜) 乳幼児向けおはなし 会(第4金曜)	カフェ側扉前特設コー ナー、ポプリホール連 携展示、一般、クラ シック音楽、暮らし、 児童(大・小)、3水連 携、文学、YA		クリスマス イベント	かーこの紙芝居 (冬)
1月	町田市中学2年生・ 職場体験受入 二十祭まちだ 応援事業	おはなし会 (第1水曜) 英語のおはなし会 (第2火曜) 乳幼児向けおはなし 会(第4金曜)	カフェ側扉前特設コー ナー、ポプリホール連 携展示、一般、クラ シック音楽、暮らし、 児童(大・小)、3水連 携、文学、YA	新年福袋 FC町田ゼルビア連携イ ベント 連携展示「新春文化の 祭典」	新年福袋 お正月イベント	
2月		おはなし会 (第1水曜) 英語のおはなし会 (第2火曜) 乳幼児向けおはなし 会(第4金曜)	カフェ側扉前特設コー ナー、ポプリホール連 携展示、一般、クラ シック音楽、暮らし、 児童(大・小)、3水連 携、文学、YA	講座「落語入門(落語 家になるには)」		魂のPOP
3月	消防訓練	おはなし会 (第1水曜) 英語のおはなし会 (第2火曜) 乳幼児向けおはなし 会(第4金曜)	カフェ側扉前特設コー ナー、ポプリホール連 携展示、一般、クラ シック音楽、暮らし、 児童(大・小)、3水連 携、文学、YA	鶴川駅前 図書館だより(6号)		かーこの紙芝居 (春)
通年	としょかん1ねんせい どくしょてちょう 対面朗読サービス			本の除菌機 館内フリーwifi flier		
適宜 実施	図書館見学(小学 生) 出張おはなし会					

1) 町田市役所内の各部署・市内公共施設(ポプリホール含む)・市内団体等から提案を受けた連携事業・展示等については、適宜に各関係部署等調整の上で実施する。

(目標: 年度内10回程度実施)

2) 上記の事業以外に、計画にない全館事業を行う場合は、その都度教育委員会と協議し、許可を得てから実施するものとする。

3) 新型コロナウイルスの感染拡大、及びその他の災害や緊急事態が発生した場合は、計画された事業の実施の是非・開催方法の変更などを、教育委員会・指定管理者間で適宜協議する。

久美堂本町田店で図書館の本の受渡しサービス開始

市立図書館は、図書館が近くにない地域において、インターネット等で予約した本を受け取ることができる「予約資料受渡しサービス」を市内5カ所の公共施設等で提供しています。

この度、鶴川駅前図書館の指定管理者である久美堂・ヴィアックス共同事業体からの提案を受け、2023年5月23日から久美堂本町田店において新たに予約資料受渡しサービスを開始します。

■開始日時

2023年5月23日（火）午前10：00

■会場

久美堂本町田店（住所：町田市本町田996）

■詳細

（1）利用できるサービス

町田市立図書館の本の受取、返却、リクエスト用紙による予約

（2）サービス提供時間など

10：00～20：00 まで

休業日：年末年始

※久美堂本町田店の営業日時に準じる

（3）参考

現在の予約資料受渡しサービス拠点（5カ所）

- ① 小山市民センター、② 子どもセンターぱお分館W A A O、
- ③ 玉川学園駅前連絡所、④ 成瀬コミュニティセンター、
- ⑤ まちライブラリー@南町田グランベリーパーク

<2023年5月12日 図書館協議会 当日配布資料>

※2023年5月9日開催 第4回生涯学習審議会資料から図書館関連の施策・重点事業を抜粋

第4回生涯学習審議会
資料1

(仮称)町田市教育プラン 24-28(案)

2023 年 月

(3) 施策の体系

基本方針Ⅰ 未来を切り拓くために生きる力を育む

		重点事業
施策 1	確かな学力を身に付ける	1 児童生徒の「学び続ける力」を高めるための授業の改革 2 放課後学習の充実
施策 2	未来を見据えた特色ある学びを推進する	3 えいごのまちだ事業（コミュニケーション力育成カリキュラム） 4 STEAM教育の視点を取り入れた小・中学校科学教育センターの充実 5 ICTを活用した学びの充実 6 キャリア教育の推進 7 町田市の未来の学びLab
施策 3	生涯を通じて健やかに過ごせる体を育成する	8 「わかる・できる・楽しい」体育授業の実践 9 楽しく運動する機会の充実 10 学校給食を生きた教材として活用した食育の推進 11 健康教育の推進
施策 4	他人への理解、豊かな心、思いやりを育む	12 「いじめを防ぐ・いじめに気付く・いじめから守る」取組の推進 13 児童生徒が主体的に考え、伝え合う機会の充実
施策 5	学びのきっかけとなる機会を提供する	14 <u>まちだの歴史・文化を学ぶ機会の充実【P34】</u> 15 <u>“ことばの扉”事業の推進【P36】</u> 16 <u>子ども・若者の読書活動の推進【P37】</u> 17 <u>学びの入口の充実【P38】</u> 18 <u>学びにつなげる図書館体験【P39】</u>

基本方針Ⅱ 一人ひとりの多様な学びを推進する

施策 1	不登校児童生徒への支援を推進する	19 不登校児童生徒への支援の充実
施策 2	一人ひとりの特性に応じた特別支援教育を推進する	20 特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実
施策 3	誰もが学べる機会を提供する	21 帰国・外国籍児童生徒等への日本語指導の充実【P88】 22 <u>学びのセーフティネットの充実【P42】</u> 23 <u>障がい者向けの多様な図書館サービスの提供【P44】</u>

基本方針Ⅲ 将来にわたり学ぶことができる環境を整備する

重点事業

施策
1

将来を見据えた多様な学びの環境を整備する

- 24 学校における ICT 環境の整備
- 25 特別支援学級等の整備
- 26 不登校児童生徒の学習環境の整備
- 27 新たな学校づくりの推進
- 28 安心できる通学環境の整備について
- 29 学校プールの教育環境向上及び集約化の推進
- 30 学校図書館の機能強化【P48】

施策
2

学び続けることができる環境を整備する

- 31 生涯学習情報のデジタル化の推進及び学習相談体制の整備【P52】
- 32 まちだの歴史・文化資源の保存と活用環境の整備【P54】
- 33 図書館再編と運営体制の構築【P56】

基本方針Ⅳ 地域とともに学ぶ力を高める

施策
1

学校と地域が連携した学びを推進する

- 34 コミュニティ・スクールの推進
- 35 部活動の地域連携の推進及び部活動指導員の活用
- 36 学校施設活用の推進【P60】

施策
2

地域での学びを推進する

- 37 地域での学びの拡充【P64】
- 38 ワタシが主役の図書館づくりの推進【P66】
- 39 地域で活動する図書館ボランティアの育成・支援【P67】
- 40 学びのネットワークづくりの促進【P68】

施策
3

教員の働き方を改善する

- 41 学校や教員が担う業務の適正化及び負担軽減
- 42 ともに学びともに育つ学校体制の推進

第4章 施策及び今後の取組

基本方針Ⅰ 未来を切り拓くために生きる力を育む

施策5. 学びのきっかけとなる機会を提供する

めざす
姿

市民が身近な場所で学びに触れる機会が充実している状態を目指します。

成果指標

指標	町田市にある文化財の中で知っているものがある市民の割合 (町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		80.0%	89.0%
指標	本を読む市民の割合 (町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		59.1%	68.0%

該当する 重点事業	<ul style="list-style-type: none"> ・重点事業 14 まちだの歴史・文化を学ぶ機会の充実 ・重点事業 15 "ことばの扉"事業の推進 ・重点事業 16 子ども・若者の読書活動の推進 ・重点事業 17 学びの入口の充実 ・重点事業 18 学びにつなげる図書館体験
--------------	--

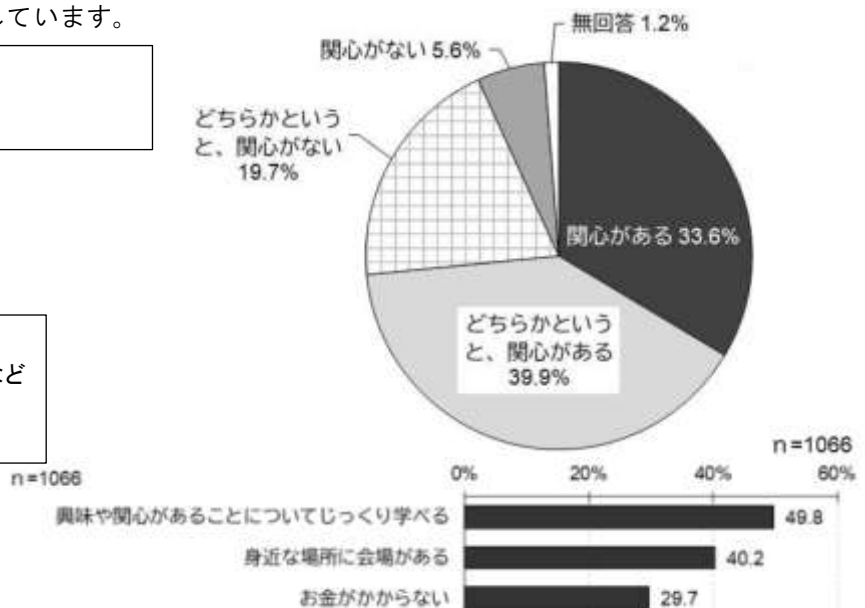
現状と課題

■現状

・生涯学習活動に「関心がある」又は「どちらかというに関心がある」と回答した市民は7割以上と高くなっています。また、学習講座等への参加の際は、約4割の市民が「身近な場所に会場がある」ことを重視しています。

▷市民用アンケート調査結果
「生涯学習活動への関心度」

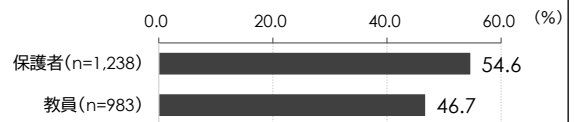
▷市民用アンケート調査結果
「学習講座やイベント、展覧会などに参加する際、重視する点」
(上位3位のみ抜粋)



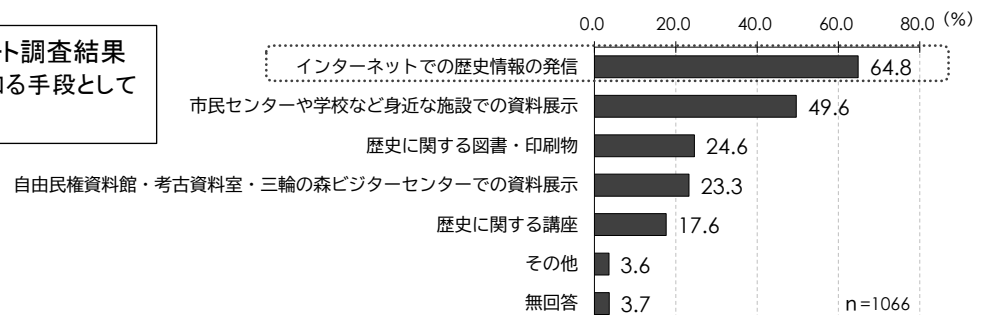
■現 状

- ・児童・生徒が、地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心が身につけていないと感じている保護者及び教員は5割前後と高くなっています。
- ・町田市の歴史を知る手段として必要だと思うこととして、インターネットでの歴史情報の発信が最も高くなっています。
- ・約4割の市民は本をほとんど読まないと回答しています。

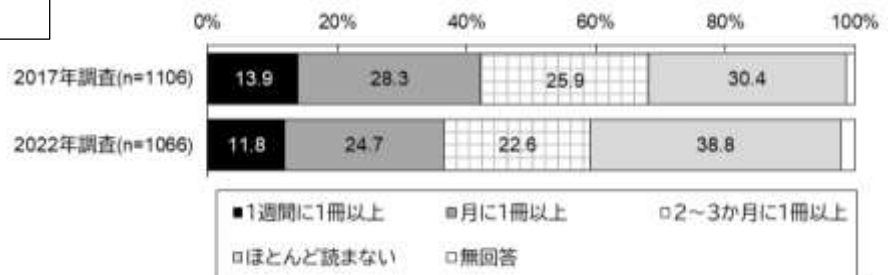
▷児童生徒の保護者用・教員用アンケート調査結果
「地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心」が“身につけていない”と回答した割合
(保護者回答と教員回答)



▷市民用アンケート調査結果
「町田市の歴史を知る手段として必要だと思うこと」



▷市民用アンケート調査結果
「本を読む頻度」



■課 題

- ・人生100年時代を迎え、ライフステージに応じて生涯を通じて学びにアクセスできるよう、市民に身近な場所で学びの入り口を提供することが必要です。
- ・地域の歴史・伝統や文化は、地域への誇りや愛着を生むきっかけとなるものです。町田デジタルミュージアムなどを活用し、子どもたちの興味・関心を高める工夫もしながら、地域の歴史・伝統や文化を学ぶ機会を充実する必要があります。
- ・本を読む市民の割合が低くなる中で、本と出会うことや文学に触れる体験を通じて、子どもや若者の創造力を高めて豊かな心をはぐくむことが重要です。

重点事業 16 子ども・若者の読書活動の推進

目的

子どもや若者が多種多様な情報から主体的に必要な情報を選び、自身の考えを形成する能力を身につけることができるように、子ども・若者の読書活動を推進します。

対象 市民

属性 継続/発展

所管課 図書館

概要

- 「第五次町田市子ども読書活動推進計画(2025年度～2029年度)」を策定・推進します。
- 読書や図書館に興味をわくようなイベントを実施し、子どもや若者が読書や図書館に興味を持つきっかけをつくります。
- 文学館では絵本や児童文学などを題材にした展覧会・イベントを開催し、絵本や物語の魅力を伝えます。

デマンド
サイドの視点

▶市民:イベント等へ参加することにより、読書に興味を持つ機会が増えます。

経営の視点

▶子どもの成長に合わせた取組を行い、読書習慣が身につくように読書活動を推進します。

独自性の視点

▶子どもや若者が読書に興味を持つように、子どもや若者自身が参画できる読書普及イベントを実施します。

学び続ける
力の要素

○子どもや若者が読書に興味を持つことにより、新たな学びや自ら学ぶきっかけをつくりだします。

活動指標と工程表

★が目標値

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①「第五次町田市子ども読書活動推進計画(2025年度～2029年度)」の策定と推進		検討・策定	事業の推進・進捗管理			
指標の達成状況 ▶	—	★策定	推進	推進	推進	★推進
②若者が参画する読書普及イベントの実施		企画・実施・検証				
指標の達成状況(数値) ▶	1件	2件	2件	3件	3件	★3件
③絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会の実施		企画・実施・検証				
指標の達成状況 ▶	実施	実施	実施	実施	実施	★実施

重点
事業

18

学びにつなげる図書館体験

目的

・市民の学びのきっかけとなるように、図書館サービスをより多くの人に体験してもらう取組を実施します。

対象 市民

●属性

継続／発展

●所管課

図書館

概要

- 自分にあった図書館の利用方法を知ってもらうための講座等を実施します。
- 本との出会いを作るため、移動図書館によるイベントへの出張運行や保育園・幼稚園への訪問活動を実施します。
- 暮らしの中で役に立つレファレンス事例を紹介するリーフレット等を作成するなど、レファレンスサービスを身近に感じる取組を実施します。

デマンド サイドの視点

▶市民：図書館が使いやすくなることや、自分のネット検索では手に入れない情報を得ることにより、生活の質の向上が図られます。また、移動図書館によるイベントへの出張運行や保育園・幼稚園への訪問活動により、本との新しい出会いが増えます。

経営の視点

▶子どもから大人まで、あらゆる世代を対象にした体験を提供できます。

独自性の視点

- ▶一日図書館員等の人気のコンテンツを活用できます。
- ▶移動図書館を3台持つ自治体は都内で町田だけで、機動性を活かした図書館体験を提供できます。
- ▶市民に寄り添いきめ細やかなレファレンスサービスを提供します。

学び続ける 力の要素

○必要な知識や情報を図書館で調べる方法を知ってもらうことにより、生涯にわたって学びを支えます。

活動指標と工程表

★が目標値

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①図書館講座・図書館員体験の実施		企画・実施・検証				
指標の達成状況(数値) ▶	8回	8回	8回	8回	8回	★8回
②移動図書館の出張運行		企画・実施・検証				
指標の達成状況(数値) ▶	8回	10回	10回	12回	12回	★12件
③レファレンスサービスの推進		レファレンスの実施				
指標の達成状況(数値) ▶	3,775件	4,000件	4,050件	4,100件	4,150件	★4,200件

施策3. 誰もが学べる機会を提供する



学ぶ意欲のある誰もが、必要とする知識や技能を習得する機会を持つことができる状態を目指します。

成果指標

指標	必要とする知識や技能を習得することができる市民の割合 (町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		30.3%	40.0%

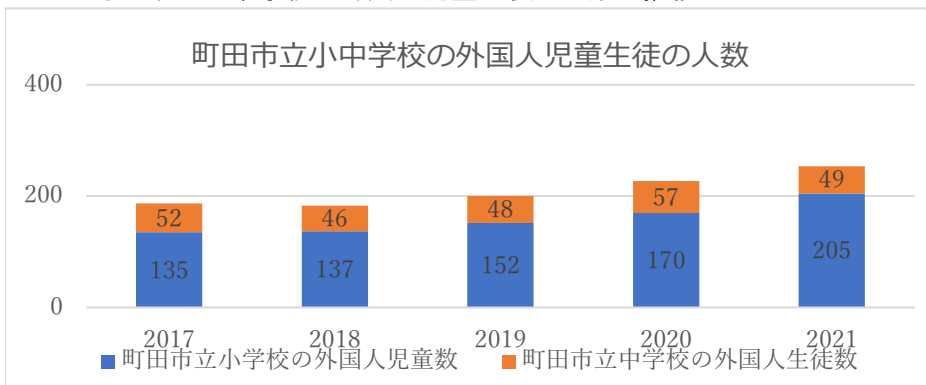
該当する重点事業	内容
該当する重点事業	・重点事業 21 帰国・外国籍児童生徒等への日本語指導の充実
	・重点事業 22 学びのセーフティネットの充実
	・重点事業 23 障がい者向けの多様な図書館サービスの提供

現状と課題

■現状

・町田市立中学校に通う外国人生徒の人数はほぼ横ばいですが、町田市立小学校に通う外国人児童の人数は、2017年度と2021年度で比較すると1.5倍となっており増加傾向にあります。

<町田市立小中学校の外国人児童生徒の人数の推移>



出典:町田市教育委員会調べ

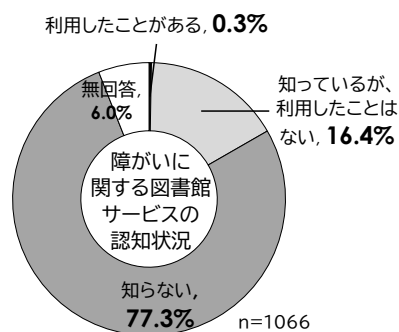
・外国にルーツのある子どもとその保護者は、言語の違い等から地域になじまず、相談ができる相手がいない、情報が得にくいなどの状況があります。

▷教育相談員ヒアリング調査結果

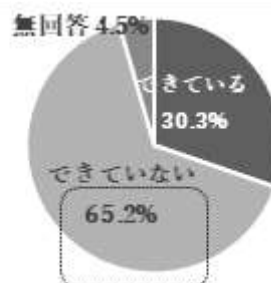
(意見)「外国にルーツがある子どもとその保護者には、言語の違いの問題もあり、地域コミュニティに入りづらいことが課題となっている場合や、子どもの発達に関する悩みも同様の課題から身近に相談できず、コミュニティ形成に関する情報提供等で支援している」

- ・図書館で行っている障がい者向けのサービス（宅配サービスや対面朗読など）は、7割以上の方が知らないと回答しており、知っているが利用したことがないと回答した方と合わせると9割を超える状況です。

▽市民用アンケート調査結果
図書館で行っているサービスの認知状況
(障がいに関係する項目のみ抜粋)



▷市民用アンケート調査結果
「必要とする知識や技能を十分に習得することができているか」



- ・65.2%の市民が必要とする知識や技能を十分に習得することができていないと回答しています。



■課題

- ・外国にルーツがある子どもたちにも十分な教育が提供され、必要な情報が得られる環境づくりを支援していく必要があります。
- ・障がいのある人が、より図書館を利用しやすくするための取組をさらに周知し、障がいの有無に関わらず学びの機会が提供される環境づくりを推進することが重要です。

重点事業 23

障がい者向けの多様な図書館サービスの提供

目的

・すべての人が自分の利用しやすい方法で読書ができるよう、読書バリアフリー法に基づいたサービスを提供します。

対象 市民

●属性 継続/発展

●所管課 図書館

概要

- 対面朗読、音訳資料や点訳資料の製作・貸出、資料の郵送貸出サービスなどを行い視覚障がい者等へサービスを提供します。また、図書館への来館が困難な市民に向けて宅配サービスを提供します。電子書籍の特性を生かし、来館が困難な市民の読書を支援します。
- 展示等によりディスレクシア(識字障がい)等を含めた障がい者サービスのPRを行い、利用を促進します。
- 対面朗読などを行っているボランティアの技術向上に向けた講座や、新たにボランティアに興味を持てるような講座を開催します。
- デージー(デジタル録音図書)再生機器の貸出や操作支援をすることで、障がい者のデジタル資料の活用を促進します。

デマンド
サイドの視点

▶市民:障がい等の事由があっても、読書ができる環境を持つことができます。

経営の視点

▶ボランティアとの協力体制を継続します。

独自性の視点

▶市内のボランティアと連携・協力することで、障がい者のニーズに的確に対応することができます。

学び続ける
力の要素

○的確なサービスを提供することにより、視覚障がいや識字障がいなどがある方、図書館への来館が困難な方なども学び続けることができます。

活動指標と工程表

★が目標値

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①障がい者サービスPR展示等の充実		企画・実施・検証				
指標の達成状況(数値) ▶	5 件	5 件	6 件	6 件	7 件	★7 件
②障がい者サービスボランティア養成講座の受講者数		養成講座の実施				
※2022 年度は特別な研修があったため、受講者数が通常よりも増加しました。						
指標の達成状況(数値) ▶	※ 18 人	10 人	10 人	10 人	10 人	★10 人
③デイジー再生機器貸出・操作支援		企画・実施・検証				
指標の達成状況(数値) ▶	—	実施	実施	実施	実施	★実施

デイジー【DAISY】

DAISY図書とは、目が見えない方や本を読むことが難しい方のための「音の本」です。見た目はCDと同じですが、章ごとに区切りがついていて好きなところから再生できたり、聞く速さを変えたりできるように作られています。専用再生機やパソコンなどで簡単な操作で聞くことができます。



施策 1. 将来を見据えた多様な学びの環境を整備する

めざす
姿

社会環境が変化する中でも、その状況に対応し、小中学校の教育環境が整備されている状態を目指します。

成果指標

指標	町田市立の小学校、中学校は教育環境が整っていると回答した市民の割合 (町田市市民意識調査)	現状値(2021年度)	目標値(2028年度)
		33.3%	51.9%
指標	1クラス当たりの、授業における児童生徒用タブレット端末の活用度合(週3回以上活用) (ICT活用状況調査) ※現状値は、2022年7月調査時点の数値	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		63.0%	100.0%
指標	市や警察が行う交通安全の取組のうち、「見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保」について、「以前より進んだと思う取組」と回答した市民の割合 (町田市交通安全に関する市民意識調査)	現状値(2021年度)	目標値(2026年度)
		29.5%	35.0%
指標	「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり30分以上読書をする」と答えた児童・生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)	現状値(2022年度)	目標値(2028年度)
		小6 40.1%	小6 50.0%
		中3 29.5%	中3 40.0%

該当する 重点事業	<ul style="list-style-type: none"> ・重点事業 24 学校における ICT 環境の整備 ・重点事業 25 特別支援学級等の整備 ・重点事業 26 不登校児童・生徒の学習環境の整備 ・重点事業 27 新たな学校づくりの推進 ・重点事業 28 安心できる通学環境の整備について ・重点事業 29 学校プールの教育環境向上及び集約化の推進 ・重点事業 30 学校図書館の機能強化
--------------	--

現状と課題

■現 状

- ・国が試算する町田市の人口推計では、2020～2025 年の間に人口のピークを迎え、減少傾向に転じる予測となっています。（参考「関連データ①今後の人口の動向」11 ページ）
- ・学校統合を行わなかった場合には、2044 年度までに、築 60 年が到来する学校が 55 校あります。（参考「関連データ②町田市立学校施設の老朽化の状況」11 ページ）
- ・小学校 6 年生、中学校 3 年生に対して、前年度までに、一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を授業でどの程度活用しましたかという問いについて、各小中学校での回答結果は、小学校における使用頻度は全国を上回っていますが、中学校における使用頻度は全国を下回っています。

<タブレット等 ICT 機器の授業での活用頻度>

(単位 %)

		ほぼ毎日	週 3 回以上	週 1 回以上	月 1 回以上	月 1 回未満
小学校	町田市	81.0	16.7	2.4	0.0	0.0
	東京都	73.5	19.8	6.1	0.3	0.1
	全国	58.2	26.9	12.6	2.1	0.1
中学校		ほぼ毎日	週 3 回以上	週 1 回以上	月 1 回以上	月 1 回未満
	町田市	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	東京都	62.8	22.5	11.6	2.7	0.3
	全国	55.5	25.7	14.4	3.8	0.5

(令和 4 年度全国学力・学習調査)

- ・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たり 30 分以上読書をする」と答えた児童・生徒の割合は、5 年前の調査と比較して、小学校では、ほとんど変わりなく、中学校では、1.1 ポイント下がっています。

2017 年度		2022 年度	
小 6	40.0%	小 6	40.1%
中 3	30.6%	中 3	29.5%

(令和 4 年度全国学力・学習調査)



■課 題

- ・本市が人口減少に転じる境目にあり、少子化も視野に入れた学校施設の新設・改修を計画的に進め、学校環境の改善・向上及び学校外で子どもたちが学べる環境の整備・充実を図っていく必要があります。
- ・国の GIGA スクール構想の推進により、学校での 1 人 1 台タブレット端末配布は実現しましたが、教職員や学校での利用に差がみられる状況があります。より活用しやすい環境の整備が必要とされています。
- ・児童生徒の読書時間は、減少傾向にあります。電子書籍の活用など社会変化にあわせた読書環境を整備していく必要があります。

重点事業 30

学校図書館の機能強化

目的

・児童生徒が本に触れ合う機会を増やし、豊かな知識や心を持つことができるよう、学校図書館の機能を強化していきます。

対象 児童生徒・教員・市民

●属性 継続／発展

●所管課 教育総務課・指導課・図書館

概要

- 引き続き全校で学校図書館図書標準の達成を維持していきます。
- 学校図書館の運営を担う人材確保の方法を検討します。
- 市立図書館による団体貸出と学校図書館支援貸出を実施します。
- 市立図書館による学校図書指導員への研修協力を行います。
- 計画的な図書の廃棄、更新を進めていきます。
- 市立図書館の電子書籍サービスを学校の授業へ活用します。

デマンド
サイドの視点

- ▶児童生徒：充実した学校図書館を整備することで、本への関心が高まり豊かな知識や心が養えます。
- ▶教員：授業支援に役立ちます。

経営の視点

- ▶学校図書館の機能充実を図るべく、電子書籍の活用や運営を担う学校司書等の人材を確保する方法を検討していきます。

独自性の視点

- ▶目標を定めた効果的な更新や電子書籍の活用などにより、町田市の学校図書館の特徴を拡張していきます。

学び続ける
力の要素

○学校図書館の機能強化により、児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学び続ける力を育むことができます。

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①学校図書館図書標準達成校数		全校				
指標の達成状況 ▶						★全校
②学校図書館図書廃棄基準の策定		策定	実施			
指標の達成状況 ▶	—	★策定				
③学校図書更新比率全国平均以上の達成校数（累計）						
指標の達成状況 ▶	23 校	23 校	33 校	43 校	53 校	★全校
④学校司書等の学校図書館の運営を担う人材確保		方法の検討	小学校モデル事業実施	小・中学校モデル事業実施拡充・改善		実施
指標の達成状況 ▶						★実施
⑤市立図書館の電子書籍サービスの学校での活用		モデル事業実施拡充・改善		実施		
指標の達成状況(数値) ▶						★実施

まちだ
教育コラム
17

「電子書籍サービス」

市立図書館は、2022年10月から電子書籍サービスを開始しました。電子書籍サービスとは、図書館が契約する事業者が提供する電子書籍をスマートフォン等の端末を介して読むことができるサービスです。これにより、いつでも・どこでも・来館せずに本を借りることができ、さらに音声読み上げ機能や拡大機能を使用することで、より多くの方が本に親しめる環境となりました。

このサービスを、学校授業でも活用できるよう準備を進め、朝読書、家読書などの、読書活動を推進していきます。

また、洋書では、音声付き電子書籍もありますので、英語に親しむ機会の充実につながることを期待しています。



電子書籍サービスキャラクター「ブックロー」

施策 2. 学び続けることができる環境を整備する

めざす
姿

市民が生涯にわたり学習しやすい環境が整備されている状態となることを目指します。

成果指標

指 標	生涯学習活動を行う機会を持たれた市民の割合 (町田市市民意識調査)	現状値(2021年度)	目標値(2028年度)
		30.8%	44.0%

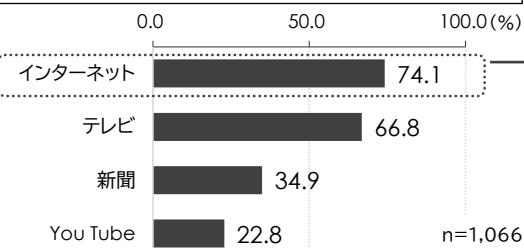
該当する 重点事業	重点事業
・重点事業 31	生涯学習情報のデジタル化の推進及び学習相談体制の整備
・重点事業 32	まちだの歴史・文化資源の保存と活用環境の整備
・重点事業 33	図書館再編と運営体制の構築

現状と課題

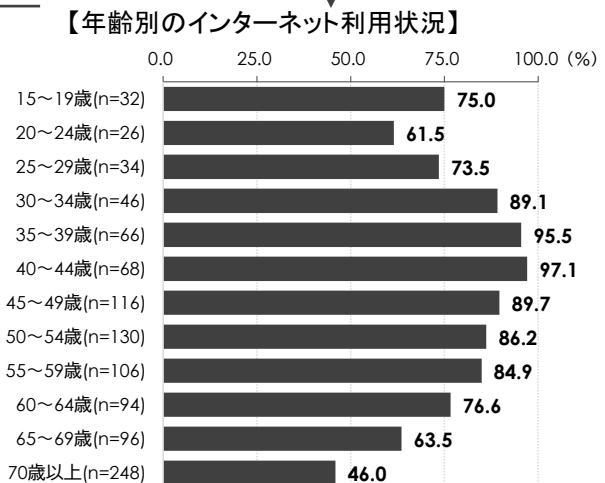
■現 状

- ・ 日常の情報源として、インターネットの利用が最も高く7割を超えています。また、年齢別にみても、70歳以上を除くその他の年齢で半数以上が利用しており、特に30～40代は9割前後がインターネットを利用している状況です。
- ・ 町田デジタルミュージアムは9割以上の市民が利用したことがない、または知らない状況です。

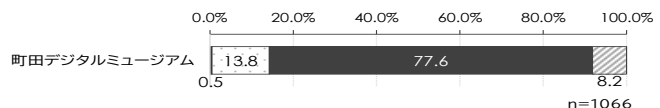
▽市民用アンケート調査結果
日常の情報源(上位4位のみ抜粋)



▽市民用アンケート調査結果
日常の情報源でインターネットを利用(年齢別)



▷市民用アンケート調査結果
生涯学習施設・サービスの認知状況
(町田デジタルミュージアムのみ抜粋)

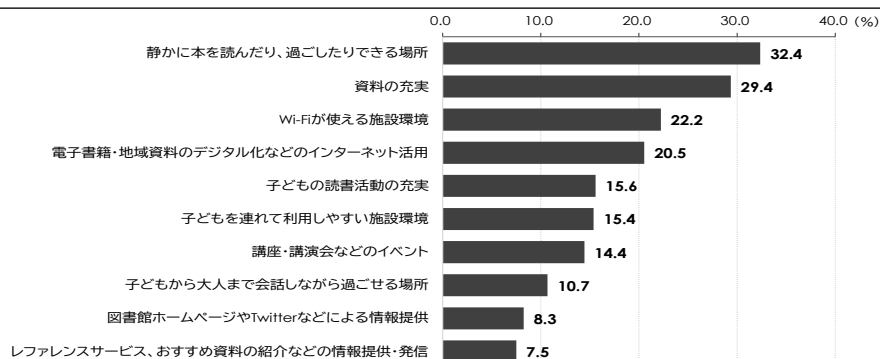


■利用したことがある □知っているが、利用したことはない ■知らない □無回答

■現 状

- ・ 図書館で取り入れてもらいたいこととして、図書館環境の整備から質の向上、デジタル化、企画・イベントなど、市民のニーズが多岐にわたっている状況です。

▽市民用アンケート調査結果 図書館で取り入れてもらいたいこと(上位 10 位のみ抜粋)



■課 題

- ・ 多くの市民が年齢に関わらずインターネットを利用していることから、生涯学習の情報提供や町田市の歴史・文化資源の活用方法についても、バーチャルとリアルを併用することが求められています。
- ・ 図書館の利用については市民のニーズが多岐にわたることから、図書館が市民にとってより利用しやすくなるよう多機能化・多目的化を図るなど、設備機能面・運用体制面の両面からの検討が重要です。

まちだ
教育コラム
18

町田の歴史をいつでもどこでも知る！見る！楽しむ！「町田デジタルミュージアム」

「町田デジタルミュージアム」は、インターネットを通じて町田の歴史をわかりやすく紹介するデジタルアーカイブです。町田市が所蔵している考古・歴史・民俗資料のうち、約 2,000 点をご覧いただくことができます。縄文土器や、まちだ縄文キャラクター「まっくう」のモデルとなった町田市指定有形文化財「中空土偶頭部」の空洞などを、実際に手に取って見ているかのような 3D 画像で 360 度回転させて見ることができます。また、通常は公開していない横穴墓(古墳時代のお墓)の内部も 3D パノラマビューで詳しく見ることができます。

学芸員が行う小中学校での出張歴史授業では、町田市所蔵の本物の歴史資料(縄文土器、昔の道具など)を使うだけでなく、タブレット端末を使って「町田デジタルミュージアム」の様々な資料を紹介しています。出張歴史授業で「町田デジタルミュージアム」に触れ、興味を持った児童生徒が、自分達の住む地域の歴史を自ら学ぶきっかけづくりを行っています。



町田デジタルミュージアム



ここから
アクセス！

まちだ縄文キャラクター
「まっくう」

重点事業 33

図書館再編と運営体制の構築

目的

- ・図書館サービスを安定的に果たし、新たな価値を創出するために、図書館の再編と運営体制の効率化について検討を行います。

対象 市民

●属性

新規

●所管課

図書館

概要

- さるびあ図書館と中央図書館の再編においては、地域住民との対話を通じて最適な集約方法を目指します。
- 再編後の鶴川図書館について、地域住民の参画をすすめ、地域と「共に創り」「共に運営する」図書コミュニティ施設へと転換します。
- 図書館全体の効率的・効果的な運営体制の検討・構築を目指します。

デマンド
サイドの視点

▶市民：市民がライフステージに応じ必要となる知識・情報等を「いつでも・どこでも・だれでも」自由に手に入れることができる環境を整備して、市民の知的で心豊かな生活の実現に寄与します。

経営の視点

▶効率的・効果的な運営体制が構築できます。

独自性の視点

▶利用者、地域の関係団体など幅広い市民が、図書館の再編について共に考えていくことで、将来にわたって長く愛着を持っていただける公共空間づくりが可能となります。

学び続ける
力の要素

○ライフステージに応じ必要となる知識・情報等を「いつでも・どこでも・だれでも」手に入れることができる環境を整備して、市民の知的で心豊かな生活の実現に寄与することで、市民は安定して学び続けることができます。

活動指標と工程表

★が目標値

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①さるびあ図書館と中央図書館の集約		地域との対話・検討		集約方法の決定		
指標の達成状況 ▶				★集約方法の決定		
②鶴川図書館の図書コミュニティ施設への転換		地域運営団体への一部委託		図書コミュニティ施設の民設・民営化	運営支援	
指標の達成状況 ▶		★図書コミュニティ施設への転換				
③図書館全体の運営体制の検討・構築		指定管理・協働運営の検証			検討結果による運営の実施	
指標の達成状況 ▶					★実施	

施策 2. 地域での学びを推進する

めざす
姿

市民が地域の様々な場所で、学校・団体・企業などと連携し学びに参画することで、地域が活性化している状態を目指します。

成果指標

指標	この1年間に生涯学習施設等を利用したことがある市民の割合 (町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査)	現状値(2021年度)	目標値(2028年度)
		63.8%	70.0%

該当する重点事業	内容
重点事業 37	地域での学びの拡充
重点事業 38	ワタシが主役の図書館づくりの推進
重点事業 39	地域で活動するボランティアの育成・支援
重点事業 40	学びのネットワークづくりの促進

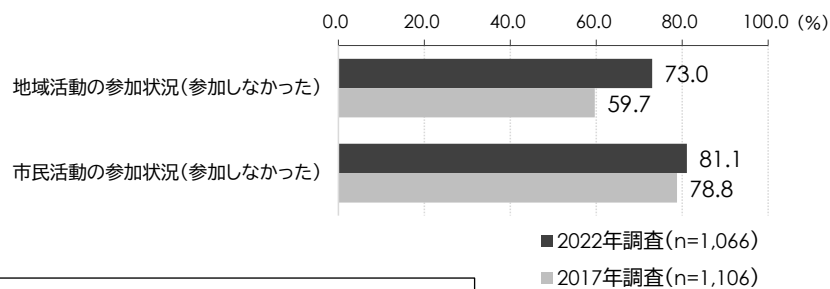
現状と課題

■現状

・地域活動や市民活動に参加しなかった市民の割合は、5年前から増加しています。また、参加したい地域活動・市民活動としては、子ども会や老人クラブなど町内会・自治会の行事・イベント、学習やスポーツ、文化活動の支援・指導、子どもの教育、子育て支援などのニーズが比較的高く、子どもを中心とした活動が、関わりやすい傾向がうかがえます。

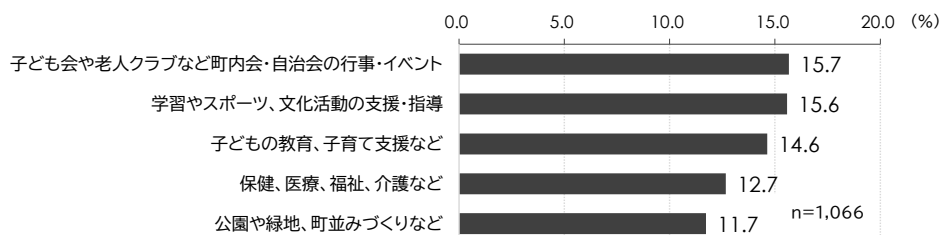
▽市民用アンケート調査結果

地域活動・市民活動に参加しなかったと回答した割合(2022年調査と2017年調査)



▽市民用アンケート調査結果

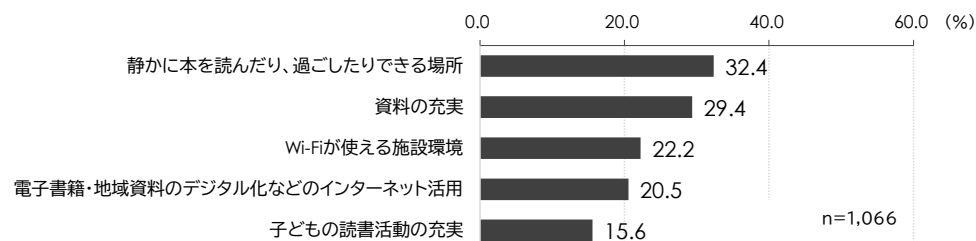
今後、参加したい地域活動・市民活動(上位5位まで抜粋)



■現 状

- ・図書館で取り入れてもらいたいこととして、図書館環境の整備や充実、デジタル化など、市民のニーズが多岐にわたっている状況です。

▽市民用アンケート調査結果(再掲)
図書館で取り入れてもらいたいこと(上位5位のみ抜粋)



■課 題

- ・地域活動や市民活動に参加しなかった市民の割合が多くなっている中で、地域の身近な場所で学びのきっかけづくりや支援の仕組みを構築することにより、地域の活性化につなげる必要があります。

重点事業 **38** ワタシが主役の図書館づくりの推進

目的

・誰もが安心して過ごせる地域の居場所や住民が活躍できる場をつくり、地域の活性化を図ります。

対象 市民

●属性

新規

●所管課

図書館

概要

- 再編後の鶴川図書館について、地域住民の参画をすすめ、地域と「共に創り」「共に運営する」図書コミュニティ施設へと転換します。(再掲)
- 地域住民が主体となって読書普及活動に参画し、多様なイベントや事業を実施することで、人を呼び込みます。
- 予約資料の受け渡しなどの図書提供機能と居心地の良い空間があり、多世代が交流できるきっかけを提供するコミュニティ機能を併せ持った地域施設を目指します。
- 本に触れ合う機会を継続できるようにするため、必要な支援を行います。

デマンド
サイドの視点

▶市民：イベントや事業を自ら企画し実施することで、やってみたいことを実現することができ、新たな利用者呼び込み、地域の活性化が期待できます。
また、地域住民を主体とした運営を実施することで、利用者と顔が見える関係を構築し、安心して過ごすことができます。

経営の視点

▶地域住民を主体とした運営により、地域の実情に合わせた柔軟な対応が可能です。

独自性の視点

▶公共施設再編を機能転換の好機と捉え、市民との共創・協働で本に触れ合う図書コミュニティ施設へと転換し、団地や商店街の活性化も目指していく意欲的で先進的な取り組みです。

学び続ける
力の要素

○誰もが安心して過ごせる地域の居場所を創ることで、学び続ける環境を整えます。

活動指標と工程表

★が目標値

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①鶴川図書館の図書コミュニティ施設への転換（再掲）		地域運営団体への一部委託		図書コミュニティ施設の民設・民営化		運営支援
指標の達成状況 ▶		★図書コミュニティ施設への転換				

重点事業 39

地域で活動する図書館ボランティアの育成・支援

目的

・魅力的な本と出会い読書に関心をもってもらうため、本と触れ合うことができる活動がより地域で活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを支援します。

対象 市民

属性

継続／発展

所管課

図書館

概要

- おはなし会など本に関する活動を行うボランティアを育成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。
- 点訳や音訳のボランティアの技術向上や、おはなし会を実施できる担い手の裾野を広げるための講座を開催します。

デマンド
サイドの視点

- ▶子ども:おはなし会を実施できる担い手の裾野が広がることで、幼少期から本に触れる機会が増え、楽しく言葉を学ぶことができます。
- ▶市民:様々な本に出会うことにより、興味関心の幅が広がります。また、自分が学んだ技能を活かす機会を得ることができます。

経営の視点

- ▶ボランティアとの協力体制のもと、幅広い内容のおはなし会を展開することで、子どもが自身の可能性を広げる様々な本に出会うことができます。
- ▶本にふれあう活動が活性化します。

独自性の視点

- ▶市内各地の身近な場所で質の高いおはなし会等を展開できます。

学び続ける
力の要素

本に触れ合う機会が増えて、興味関心の幅が広がり、より幅広い視野で学び続けることができます。

指標と工程表

★が目標値

活動指標	現 状 2022 年度	工程表				
		2024 年 度	2025 年 度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①市民向け絵本の読み聞かせ講座（基礎編、応用編、実践編）の実施回数		講座の実施				
指標の達成状況(数値) ▶	3回	3回	3回	3回	3回	★3回
②おはなし会ボランティアの新規登録者数		養成講座の実施				
指標の達成状況(数値) ▶	0人	5人	5人	5人	5人	★5人
③障がい者サービスボランティア養成講座の受講者数（再掲）		養成講座の実施				
指標の達成状況(数値) ▶	18人	10人	10人	10人	10人	★10人

町田市
生涯学習及び図書館に関する市民意識調査
結果報告書

2023（令和5）年

町田市生涯学習部

目 次

調査の概要.....	3
調査の目的.....	3
調査の方法.....	3
報告書の留意点.....	3
集計結果.....	4
あなた自身のことについておうかがいします.....	4
ここからは生涯学習のことについておうかがいします.....	7
知識や技能の習得についておうかがいします.....	10
市民活動及び地域活動についておうかがいします.....	18
生涯学習における市の取組についておうかがいします.....	21
地域の歴史についておうかがいします.....	24
ここからは図書館のことについておうかがいします.....	28
図書館の現状と今後についておうかがいします.....	37
図書館のデジタル化についておうかがいします.....	47
最後に生涯学習と図書館のことについておうかがいします.....	55
調査票.....	59

調査の概要

調査の目的

本調査は、今後の生涯学習に係る施策や図書館事業の検討の基礎資料とすることを目的に、市民の生涯学習に関する意識や行動、図書館、その他学習施設の利用状況等を把握するために行いました。

調査の方法

(1) 調査対象

市内在住の15歳以上80歳未満(2022年4月1日現在)から無作為に抽出した3,000名

(2) 調査時期

令和4年9月5日～9月21日

(3) 調査方法

郵送配付・回収

(4) 配付・回収状況

配付数	有効回収数	有効回収率
3,000 票	1,066 票	35.5%

報告書の留意点

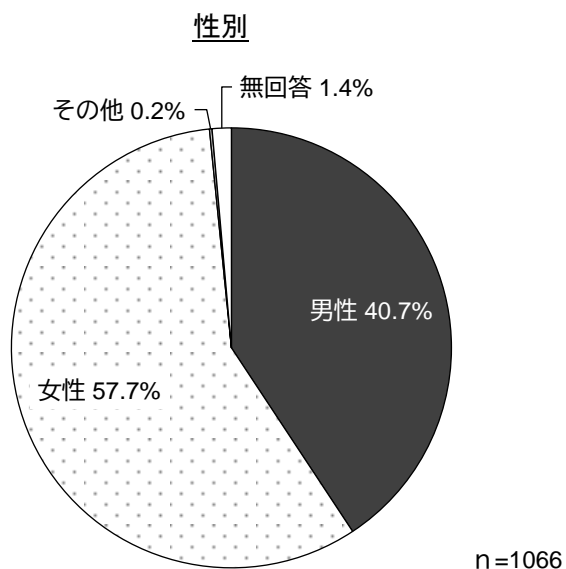
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数(該当設問においては該当者数)を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記します。
- 複数回答(3つ以上選ぶ問)の設問では、すべての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。また、割合の数値が小さいものについて、記載を省略している場合があります。
- 図表の記載にあたり調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。

集計結果

あなた自身のことについておうかがいします

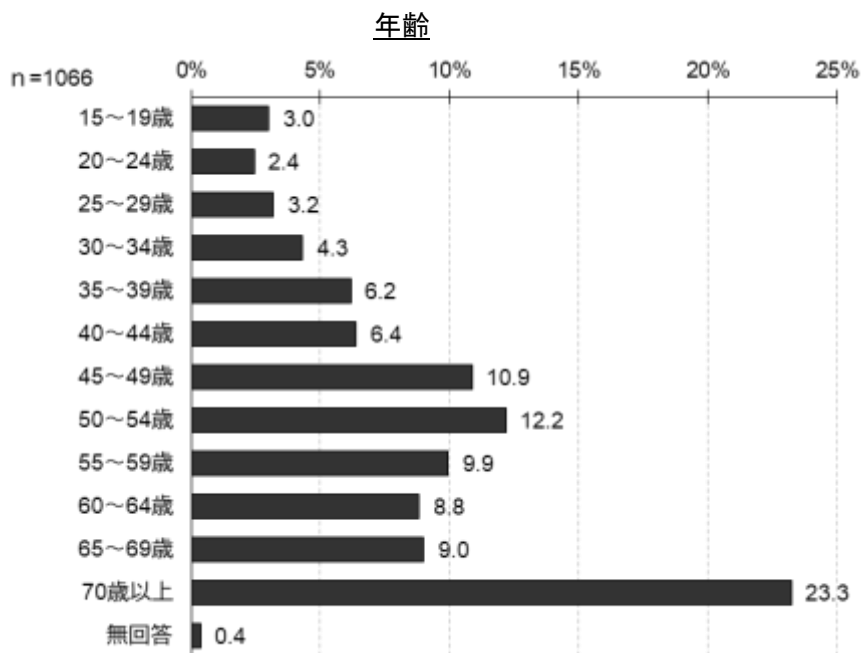
問1 あなたの性別を教えてください。

「男性」が40.7%、「女性」が57.7%、「その他」が0.2%となっています。



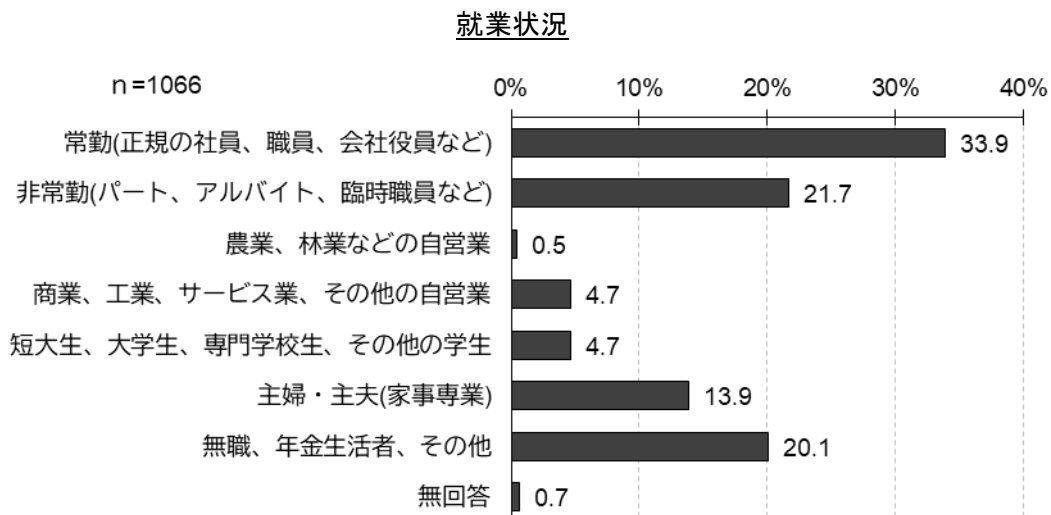
問2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。

「70歳以上」が23.3%と最も高く、次いで「50～54歳」が12.2%、「45～49歳」が10.9%、「55～59歳」が9.9%、「65～69歳」が9.0%となっています。



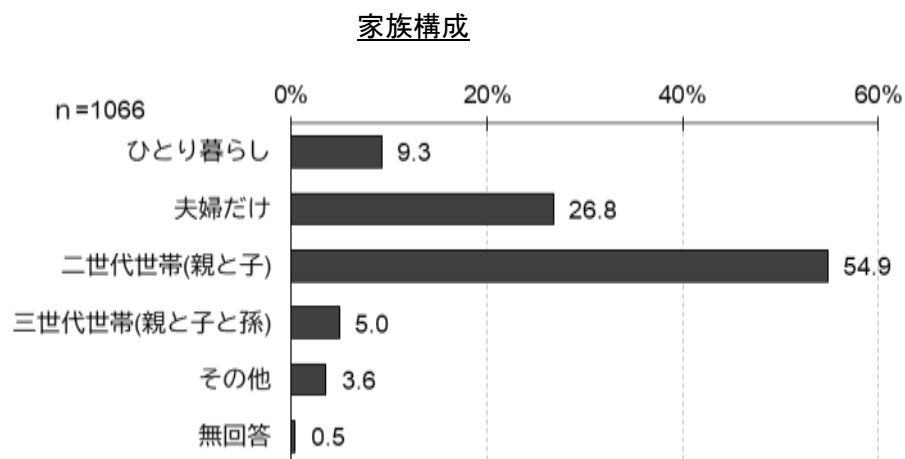
問3 あなたの就業状況は次のどれにあてはまりますか。

「常勤（正規の社員、職員、会社役員など）」が33.9%、「非常勤（パート、アルバイト、臨時職員など）」が21.7%、「主婦・主夫（家事専業）」が13.9%、「無職、年金生活者、その他」が20.1%と他の就業状況と比べ、高くなっています。



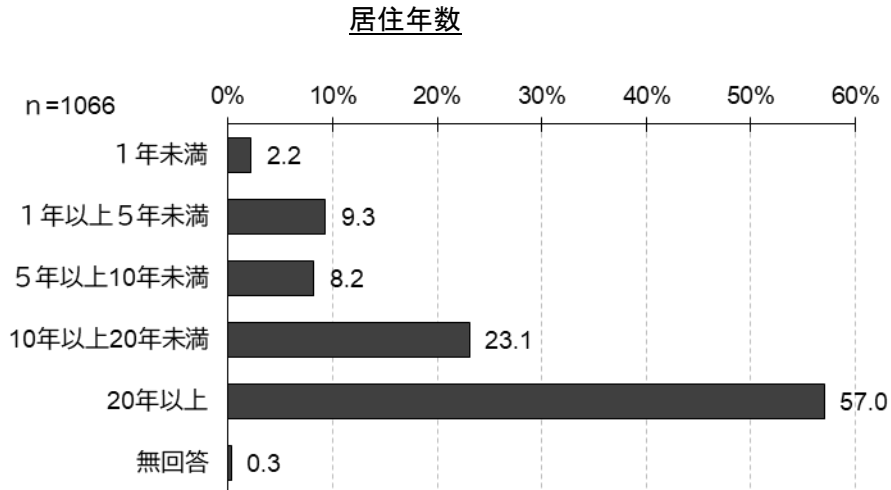
問4 あなたの家族構成は次のどれにあてはまりますか。

「ひとり暮らし」が9.3%、「夫婦だけ」が26.8%、「二世帯世帯（親と子）」が54.9%、「三世帯世帯（親と子と孫）」が5.0%となっています。



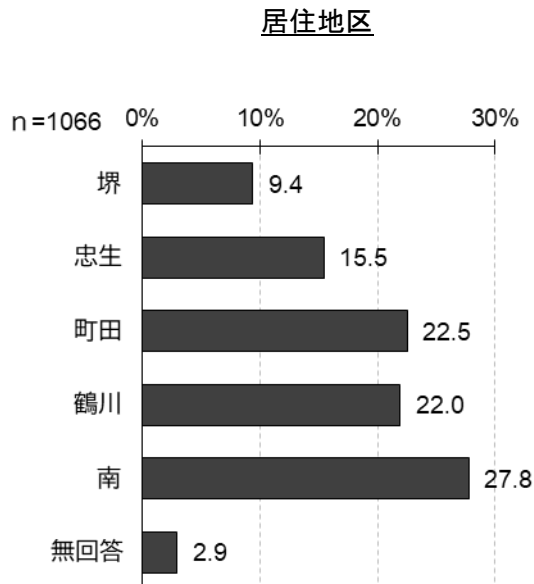
問5 あなたは、町田市に住んで何年になりますか。

「20年以上」が57.0%と最も高くなっています。そのほか「1年未満」が2.2%、「1年以上5年未満」が9.3%、「5年以上10年未満」が8.2%、「10年以上20年未満」が23.1%となっています。



問6 お住まいの地区

「堺」が9.4%、「忠生」が15.5%、「町田」が22.5%、「鶴川」が22.0%、「南」が27.8%となっています。



地区	町名		
堺	小山ヶ丘	小山町	相原町
	下小山田町	根岸	根岸町
忠生	山崎	山崎町	小山田桜台
	上小山田町	常盤町	図師町
	忠生	木曽西	木曽町
	木曽東	矢部町	
町田	旭町	玉川学園	原町田
	森野	中町	東玉川学園
	南大谷	本町田	藤の台1～2丁目
鶴川	金井	金井町	広袴
	広袴町	三輪町	三輪緑山
	小野路町	真光寺	真光寺町
	大蔵町	鶴川	能ヶ谷
	野津田町	薬師台	金井ヶ丘
	藤の台3丁目		
南	つくし野	金森	金森東
	高ヶ坂	小川	成瀬
	成瀬が丘	成瀬台	西成瀬
	鶴間	南つくし野	南成瀬
	南町田		

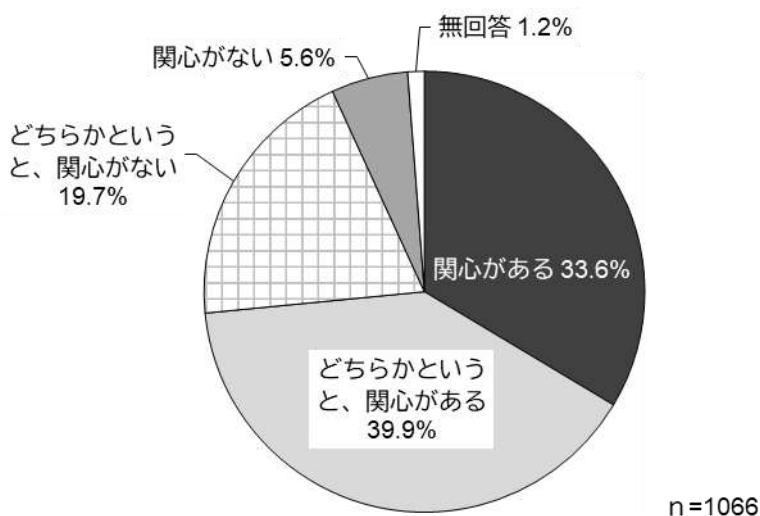
ここからは生涯学習のことについておうかがいします

問7 あなたは「生涯学習活動」について関心がありますか。

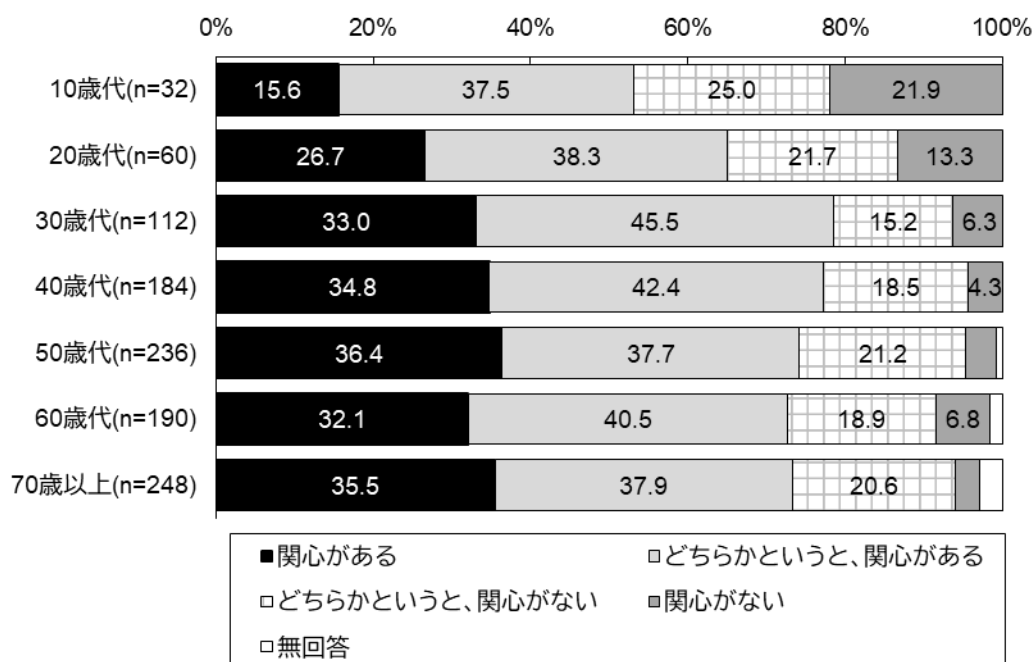
「関心がある」の33.6%と「どちらかという、関心がある」の39.9%を合わせると、73.5%が『関心がある』と回答しています。また、「関心がない」の5.6%と「どちらかという、関心がない」の19.7%を合わせると、25.3%が『関心がない』と回答しています。

年齢別にみると、「関心がある」は40歳代(34.8%)、50歳代(36.4%)、70歳以上(35.5%)で高くなっています。

生涯学習活動への関心度

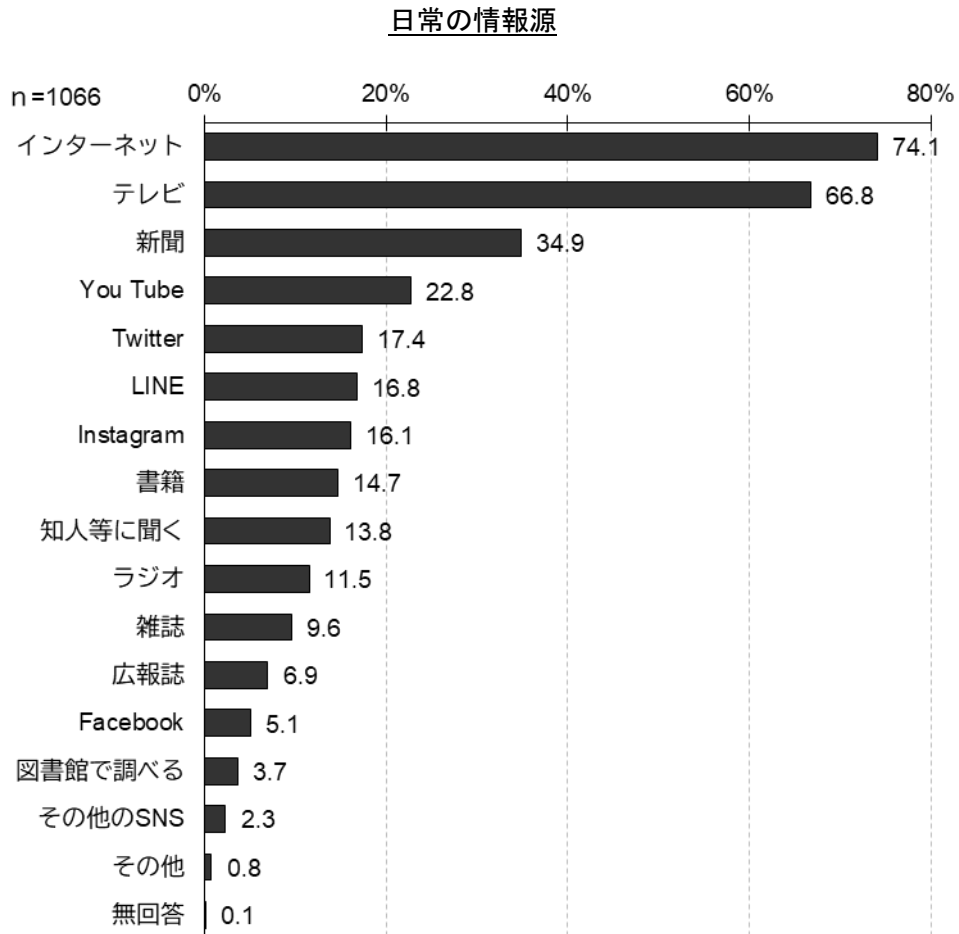


年齢別 生涯学習活動への関心度



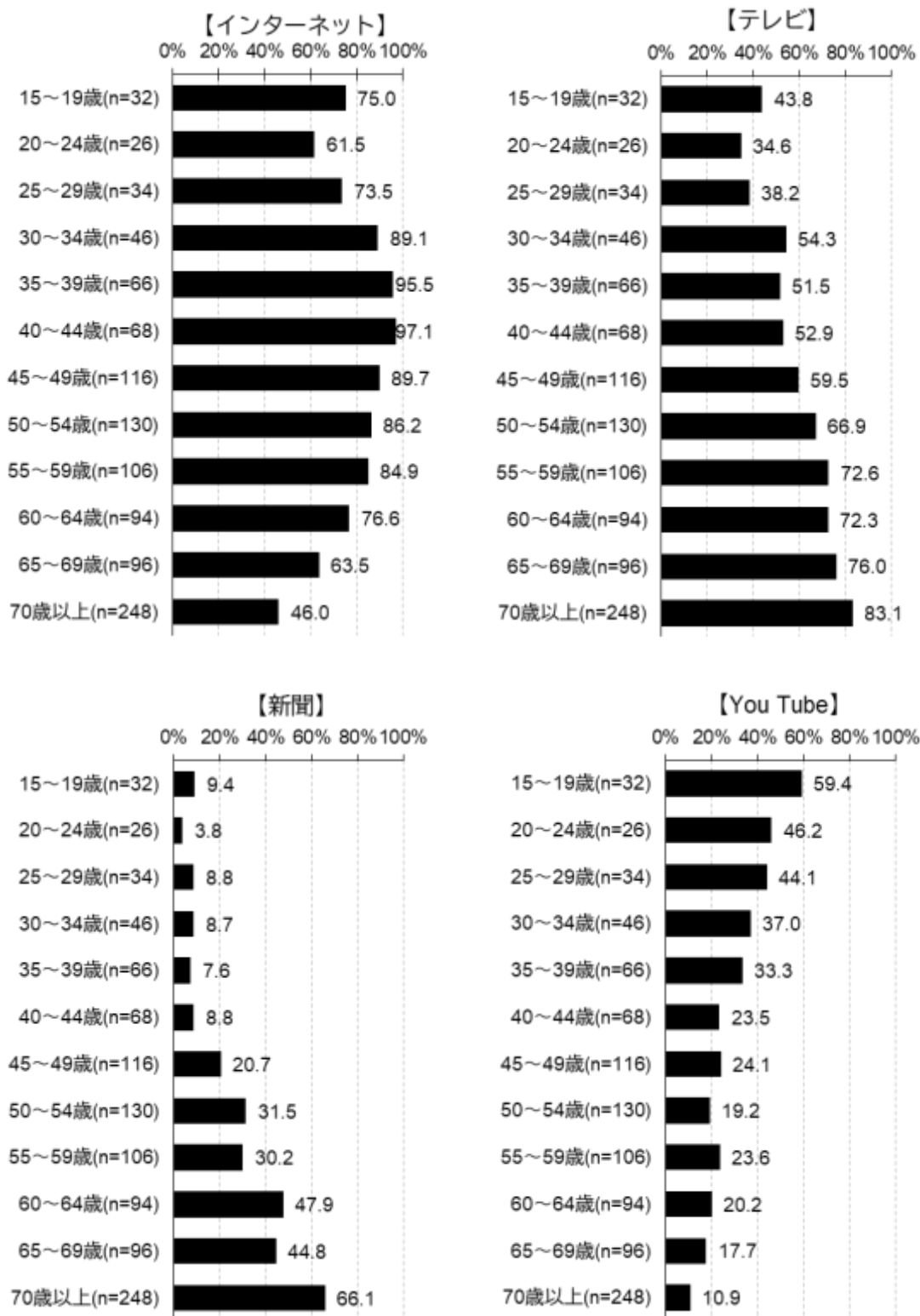
問8 あなたは、日常的に情報はどこから得ていますか。(複数回答)

「インターネット」が74.1%と最も高く、次いで「テレビ」が66.8%、「新聞」が34.9%、「You Tube」が22.8%、「Twitter」が17.4%となっています。



回答の上位4項目を年齢別にみると、「インターネット」は30歳代、40歳代、50歳代で高く、「テレビ」、「新聞」は年齢が上がるほど高くなっています。一方、「You Tube」は年齢が下がるほど高くなっています。

年齢別 日常の情報源（上位4項目）



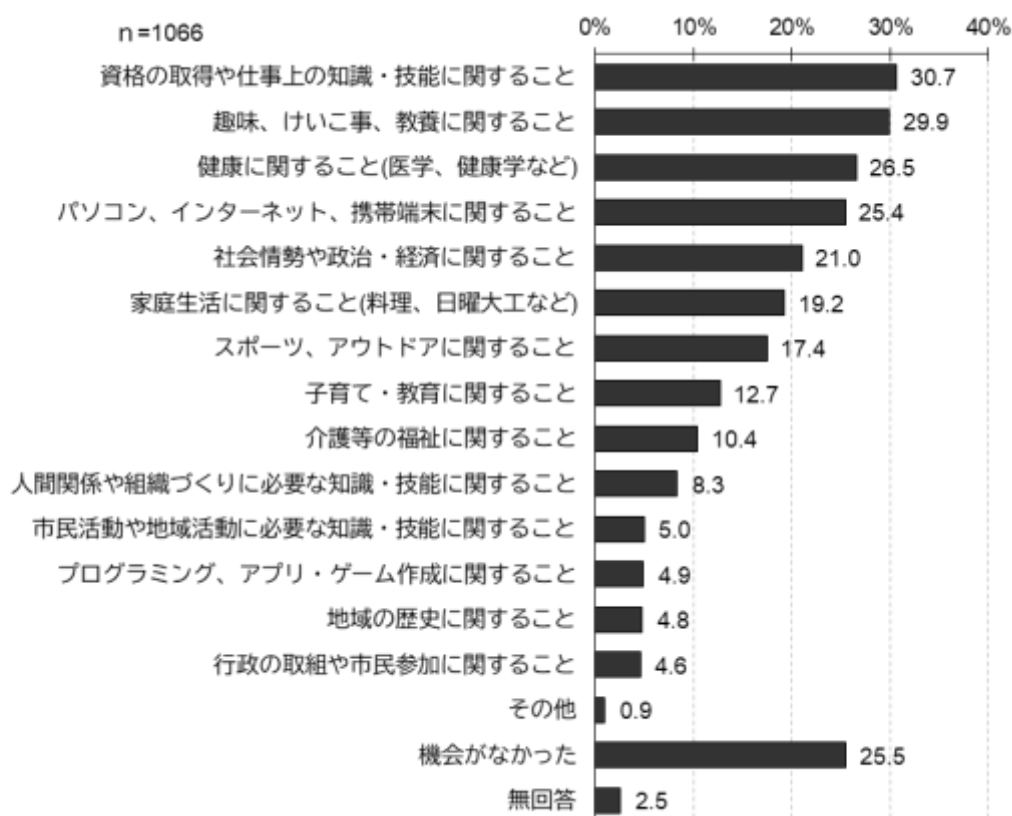
知識や技能の習得についておうかがいします

問9 あなたは、この1年間に次に挙げる知識や技能を習得する機会がありましたか。(複数回答)

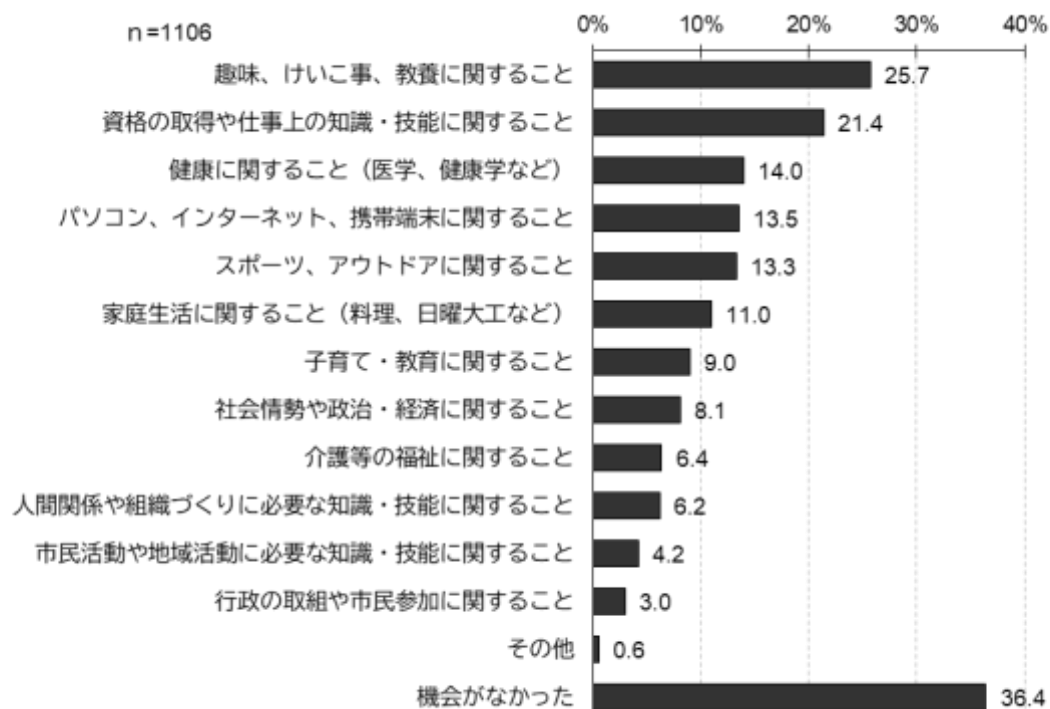
「資格の取得や仕事上の知識・技能に関すること」が30.7%と最も高く、次いで「趣味、けいこ事、教養に関すること」が29.9%、「健康に関すること(医学、健康学など)」が26.5%、「パソコン、インターネット、携帯端末に関すること」が25.4%となっています。

また、「機会がなかった」は25.5%となっています。

知識や技能の習得機会の有無

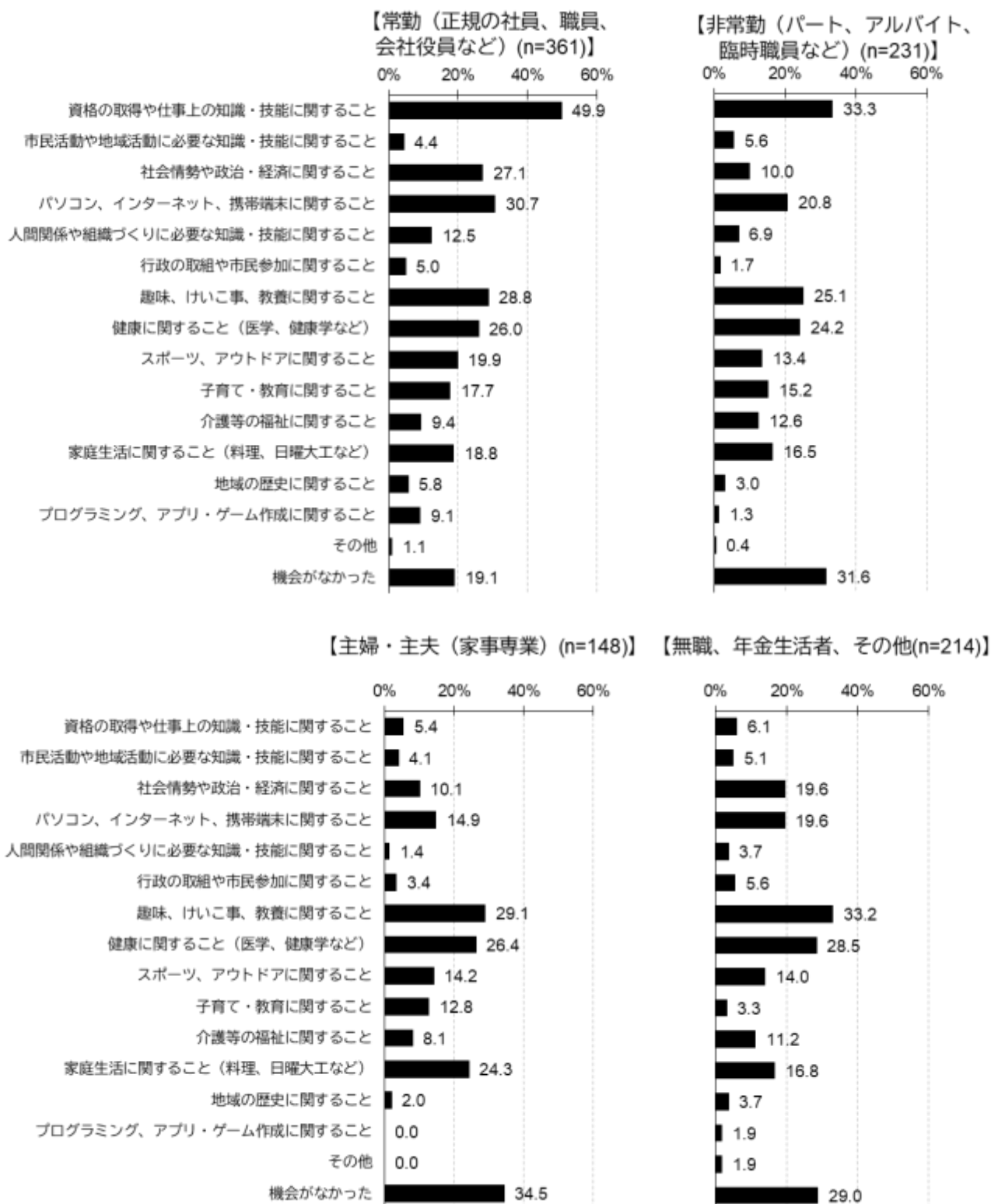


(参考) 2017年調査 知識や技能の習得機会の有無



就業状況別にみると、「資格の取得や仕事上の知識・技能に関すること」は「常勤（正規の社員、職員、会社役員など）」（49.9%）、「非常勤（パート、アルバイト、臨時職員など）」（33.3%）で高くなっています。「趣味、けいこ事、教養に関すること」、「健康に関すること（医学、健康学など）」は就業状況にかかわらず、高い傾向にあります。

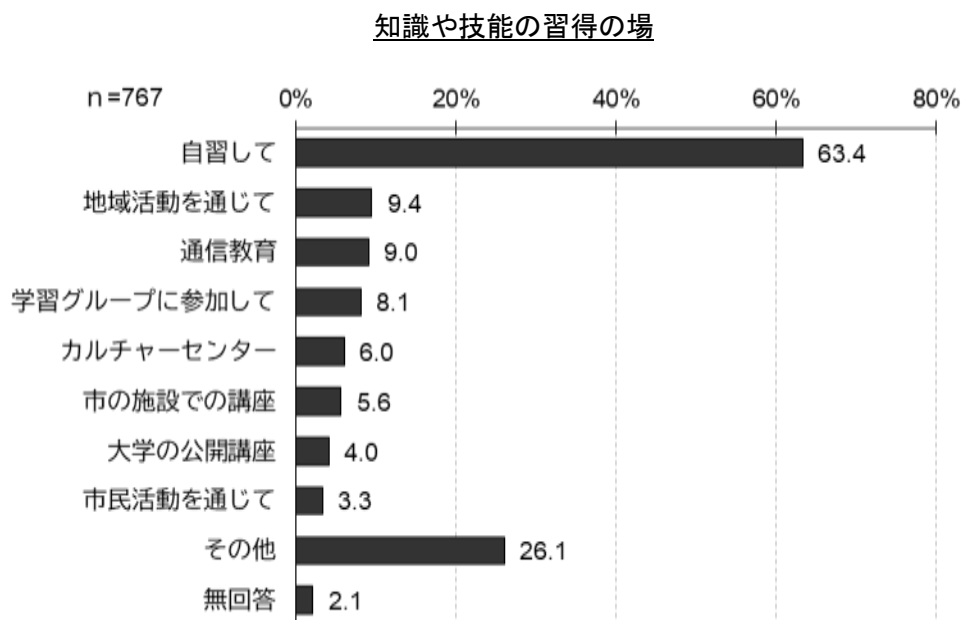
就業状況別 知識や技能の習得機会の有無



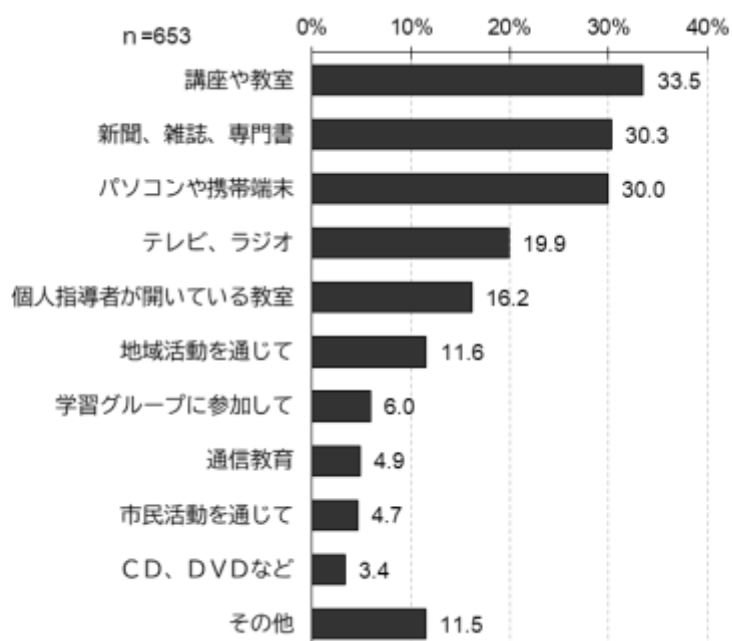
問9で「機会がなかった」以外を選んだ方におうかがいします。

問9-1 あなたは、その知識や技能をどこで習得しましたか。(複数回答)

「自習して」が63.4%と最も高く、次いで「地域活動を通じて」が9.4%、「通信教育」が9.0%、「学習グループに参加して」が8.1%となっています。また、「その他」は26.1%となっています。



(参考) 2017年調査 知識や技能の習得の場

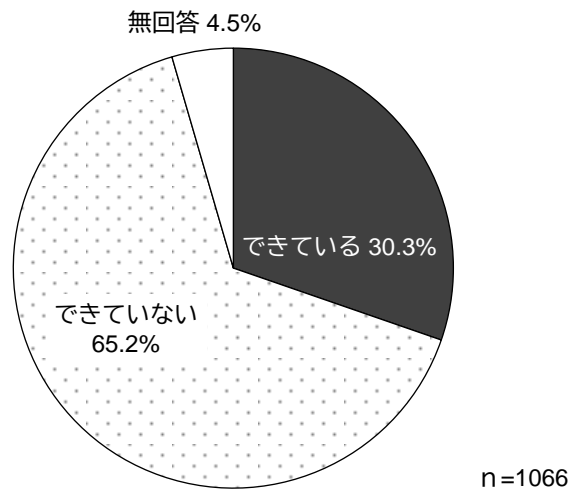


問 10 あなたは、必要とする知識や技能を十分に習得することができますか。

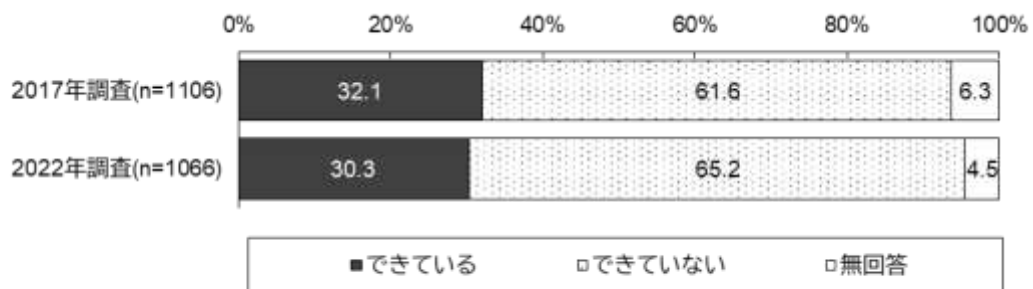
「できている」が 30.3%、「できていない」が 65.2%となっています。

2017 年実施の調査と比べると、「できている」は低下しています。

知識や技能が十分習得できているか

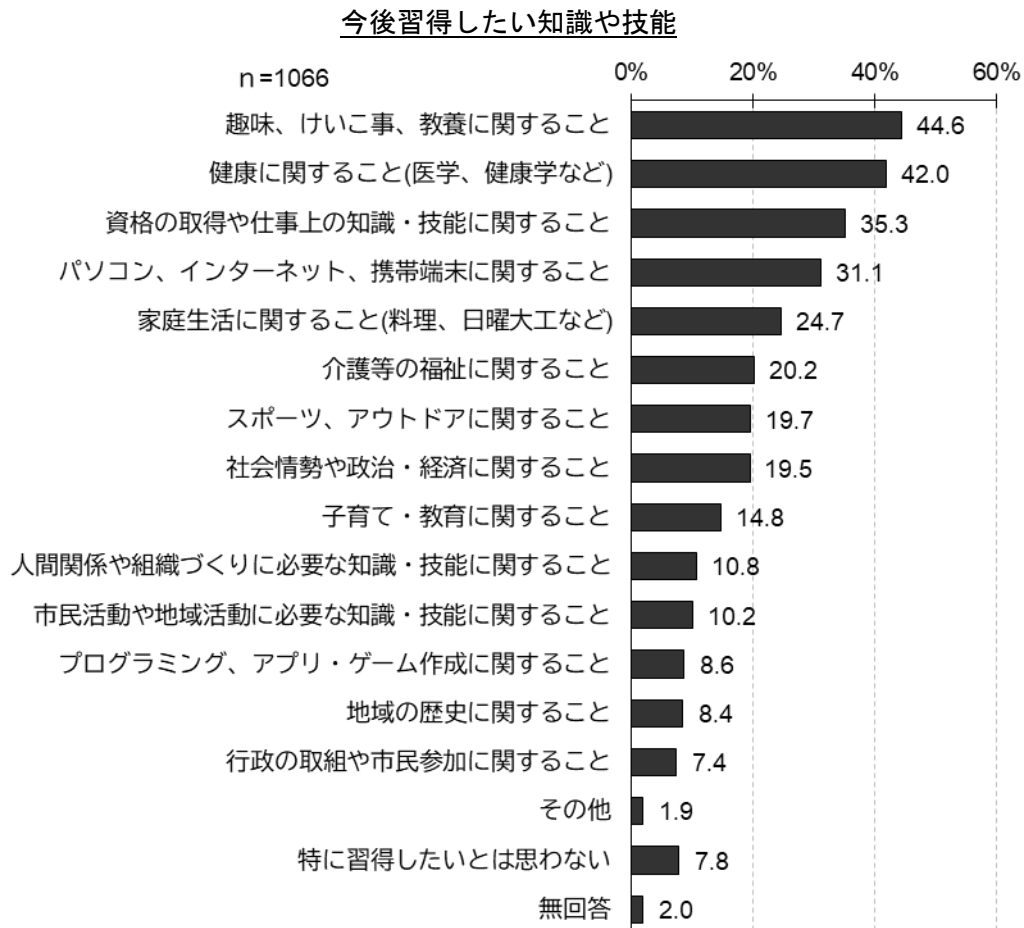


知識や技能が十分習得できているか（経年比較）

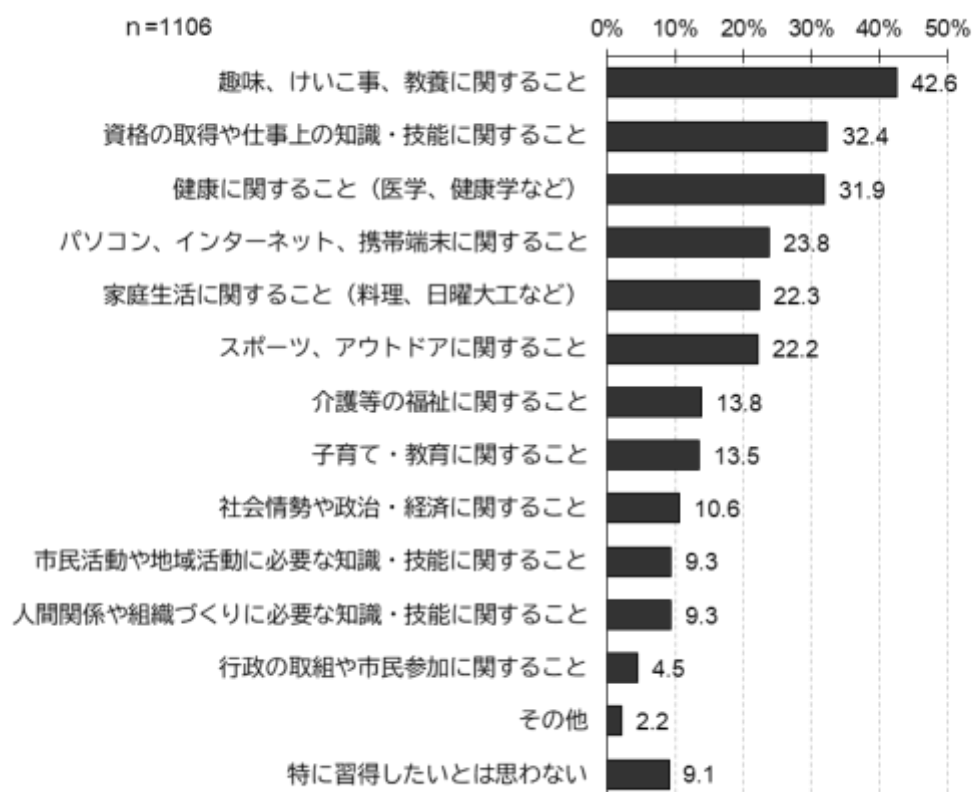


問 11 あなたは今後、どのような知識や技能を習得したいと思いますか。(複数回答)

「趣味、けいこ事、教養に関すること」が44.6%と最も高く、次いで「健康に関すること(医学、健康学など)」が42.0%、「資格の取得や仕事上の知識・技能に関すること」が35.3%、「パソコン、インターネット、携帯端末に関すること」が31.1%、「家庭生活に関すること(料理、日曜大工など)」が24.7%となっています。

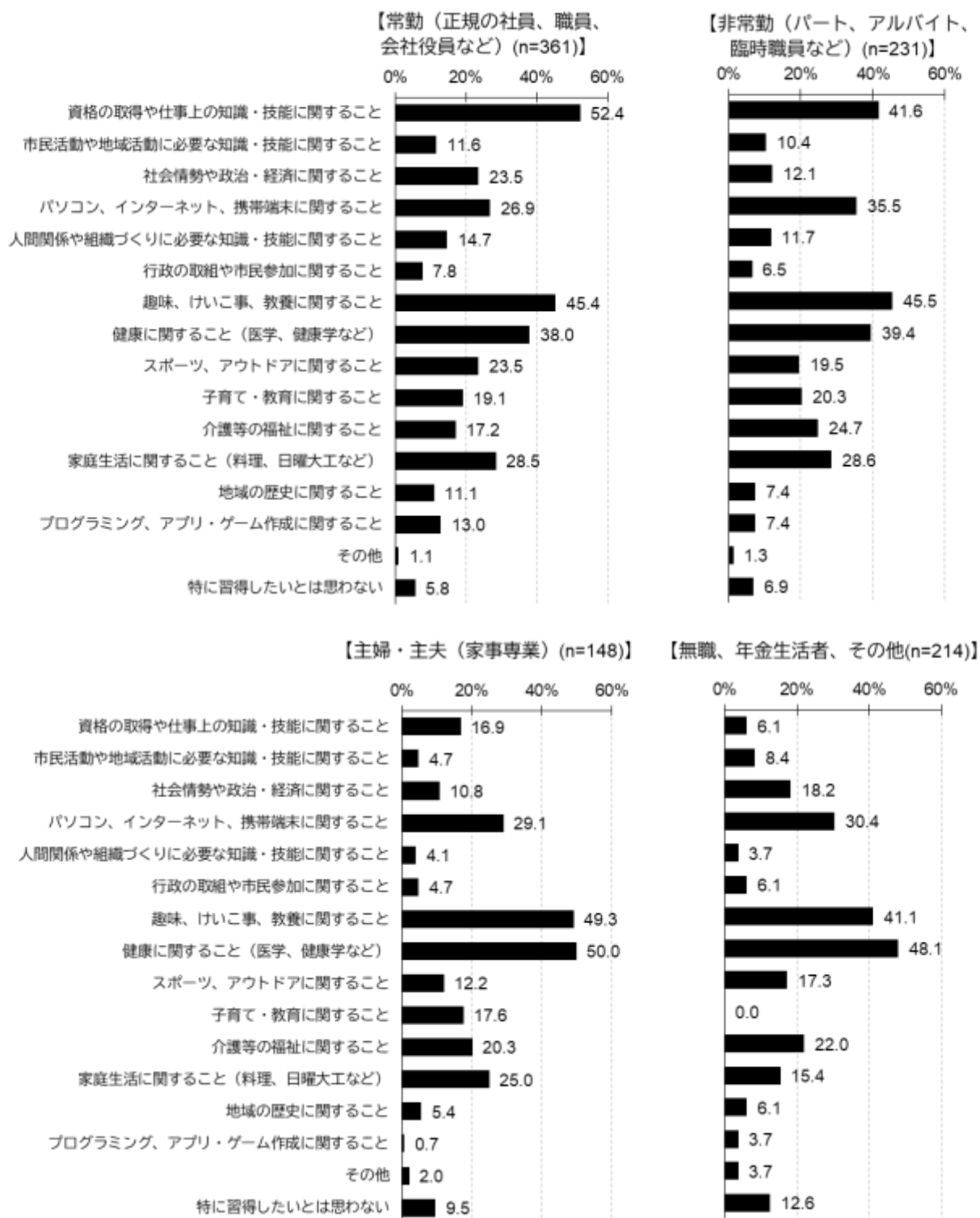


(参考) 2017年調査 今後習得したい知識や技能



就業状況別にみると、「資格の取得や仕事上の知識・技能に関すること」は「常勤（正規の社員、職員、会社役員など）」（52.4%）、「非常勤（パート、アルバイト、臨時職員など）」（41.6%）で高くなっています。「趣味、けいこ事、教養に関すること」、「健康に関すること（医学、健康学など）」は就業状況にかかわらず、高い傾向にあります。

就業状況別 今後習得したい知識や技能



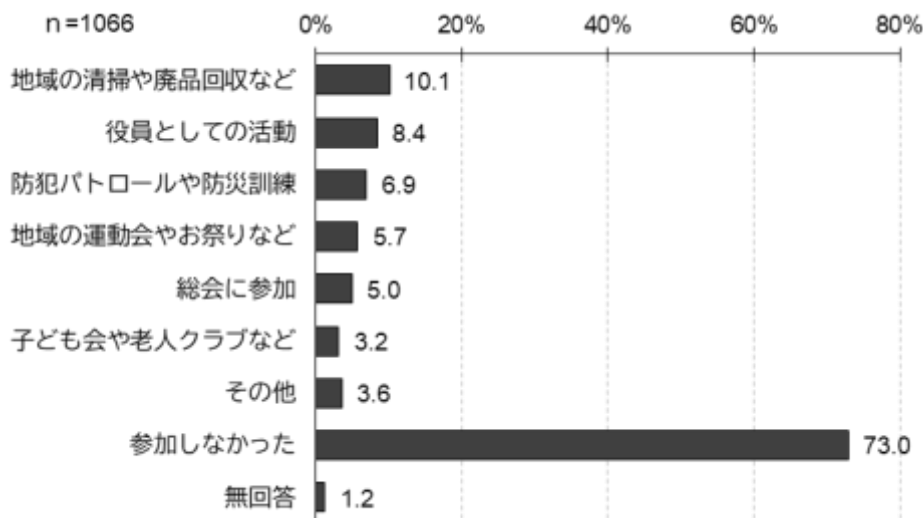
市民活動及び地域活動についておうかがいします

問 12 あなたはこの1年間に、町内会や自治会・子ども会・老人クラブ等の地域活動に参加されましたか。(複数回答)

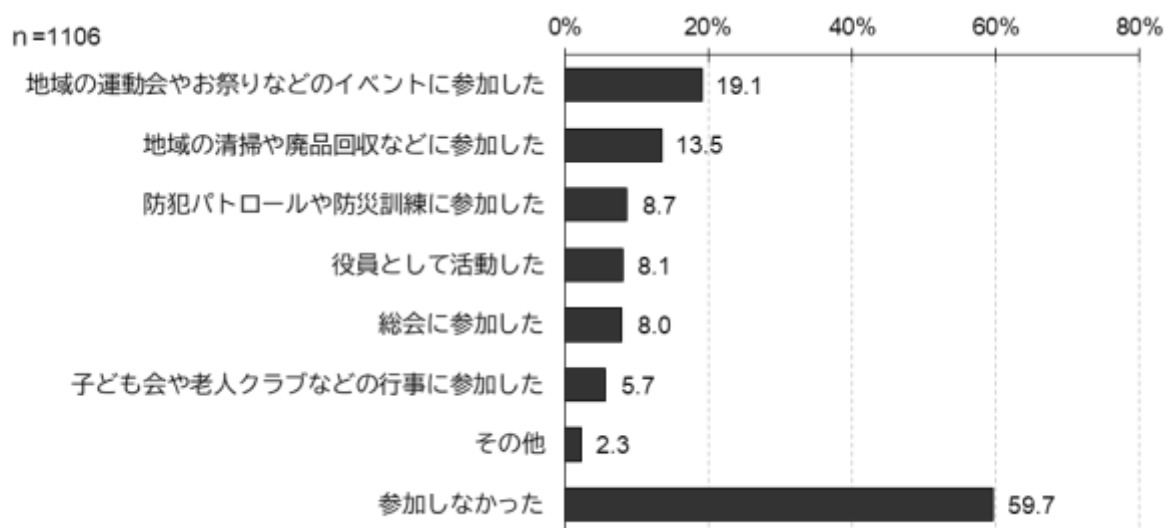
「地域の清掃や廃品回収など」が10.1%、「役員としての活動」が8.4%、「防犯パトロールや防災訓練」が6.9%、「地域の運動会やお祭りなど」が5.7%となっています。

また、「参加しなかった」は73.0%となっています。

地域活動の参加状況



(参考) 2017年調査 地域活動の参加状況

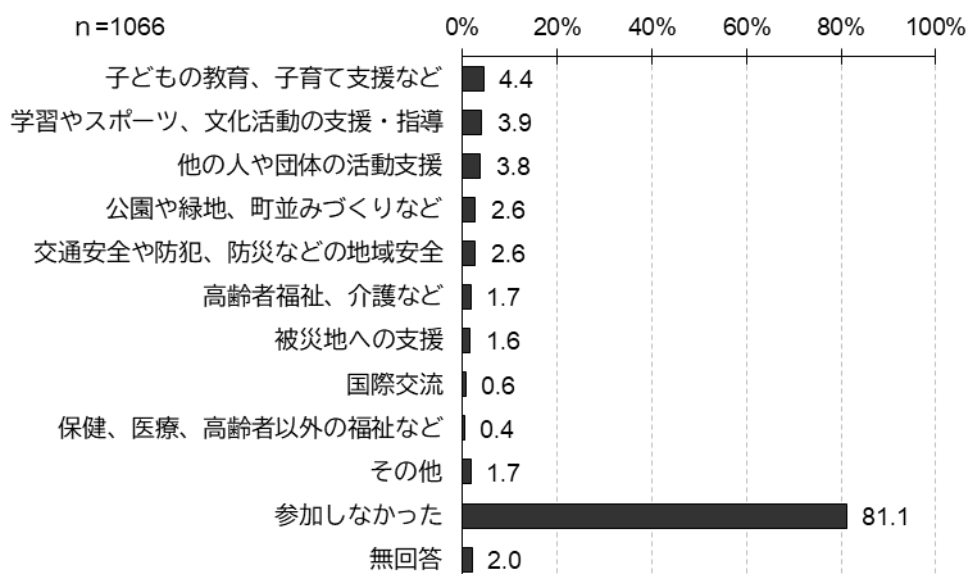


問 13 あなたはこの1年間に、次のボランティアやNPOなどの市民活動に参加されましたか。
(複数回答)

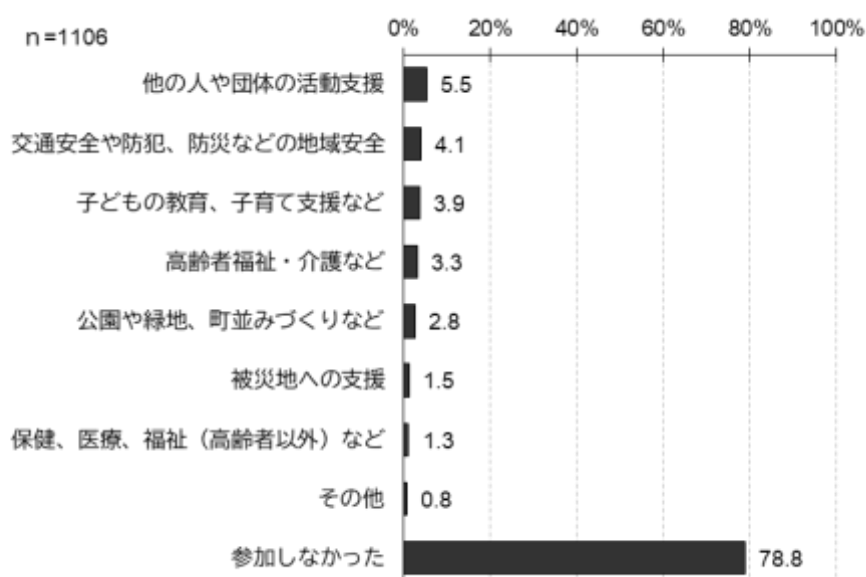
「子どもの教育、子育て支援など」が4.4%、「学習やスポーツ、文化活動の支援・指導」が3.9%、「他の人や団体の活動支援」が3.8%、「公園や緑地、町並みづくりなど」及び「交通安全や防犯、防災などの地域安全」が2.6%となっています。

また、「参加しなかった」は81.1%となっています。

市民活動の参加状況



(参考) 2017年調査 市民活動の参加状況

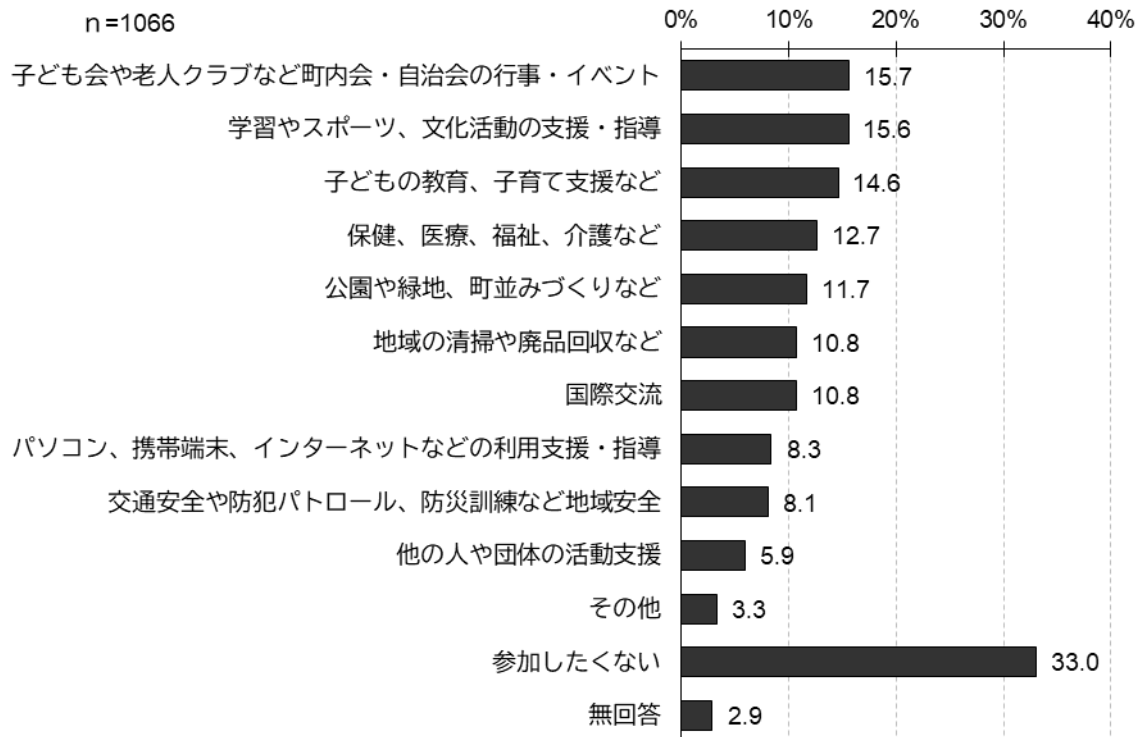


問 14 あなたは今後、どのような地域活動・市民活動に参加したいですか。(複数回答)

「子ども会や老人クラブなど町内会・自治会の行事・イベント」が 15.7%、「学習やスポーツ、文化活動の支援・指導」が 15.6%、「子どもの教育、子育て支援など」が 14.6%、「保健、医療、福祉、介護など」が 12.7%となっています。

また、「参加したくない」は 33.0%となっています。

地域活動・市民活動の参加意向



生涯学習における市の取組についておうかがいします

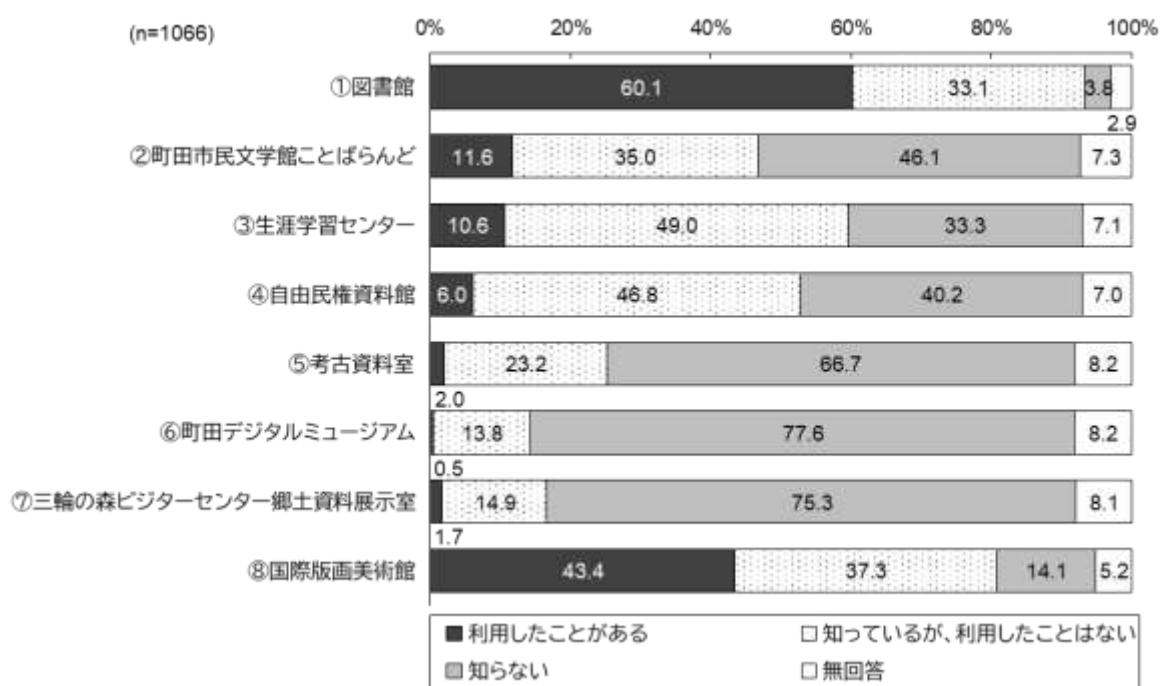
問 15 あなたは、町田市内にある次の施設や施設が提供するサービスを知っていますか。

また、この1年間に利用したことはありますか。

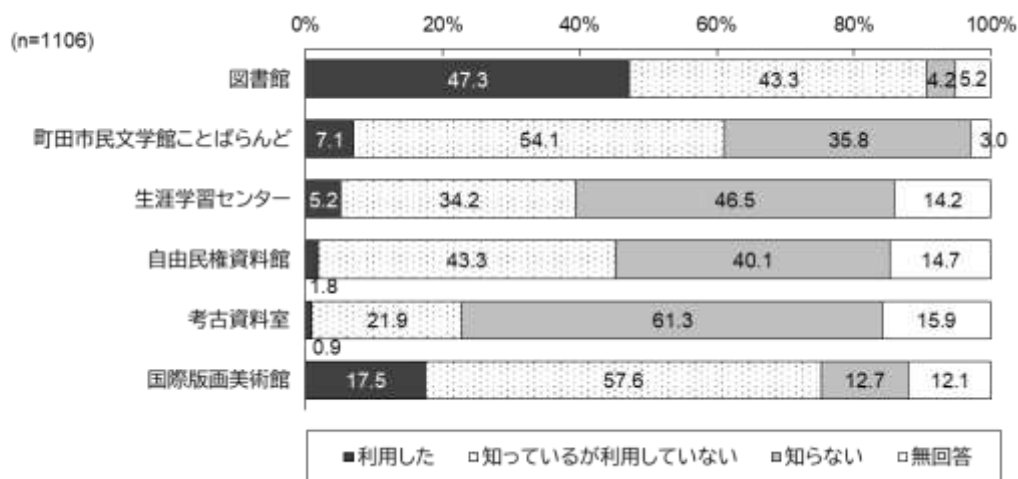
町田市内にある施設や施設が提供するサービスについて、「利用したことがある」との回答が高いものは順に①図書館 60.1%、⑧国際版画美術館 43.4%、②町田市民文学館ことばらんど 11.6%となっています。

また、「知らない」との回答が高いものは順に⑥町田デジタルミュージアム 77.6%、⑦三輪の森ビジターセンター郷土資料展示室 75.3%、⑤考古資料室 66.7%となっています。

町田市内の施設や提供サービスの認知度



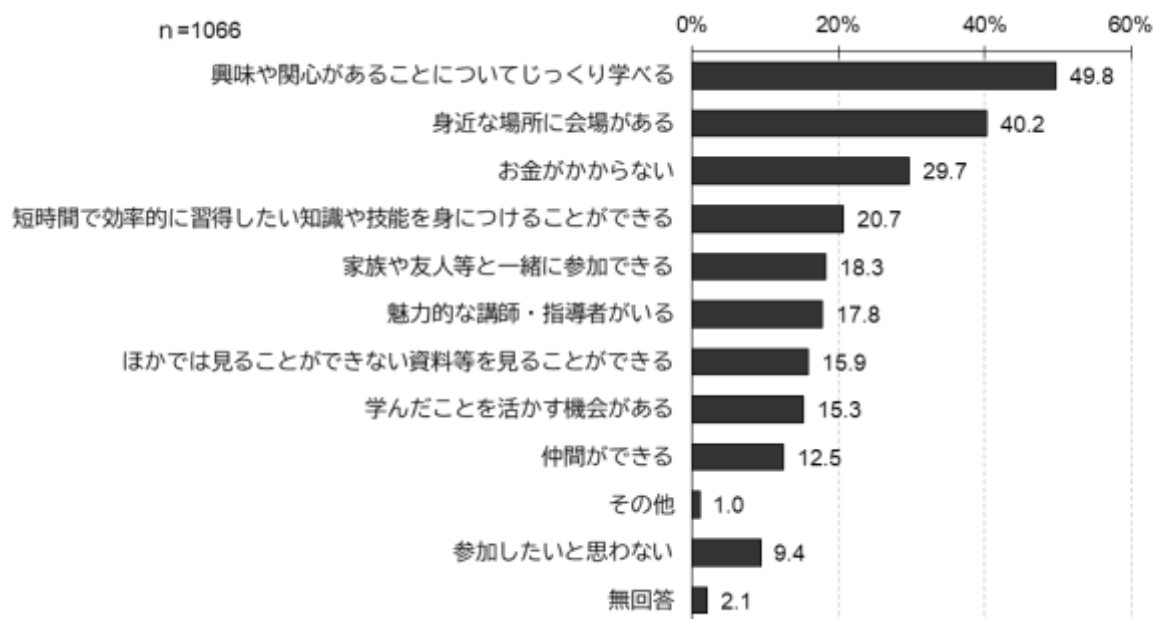
(参考) 2017年調査 町田市内の施設の認知度



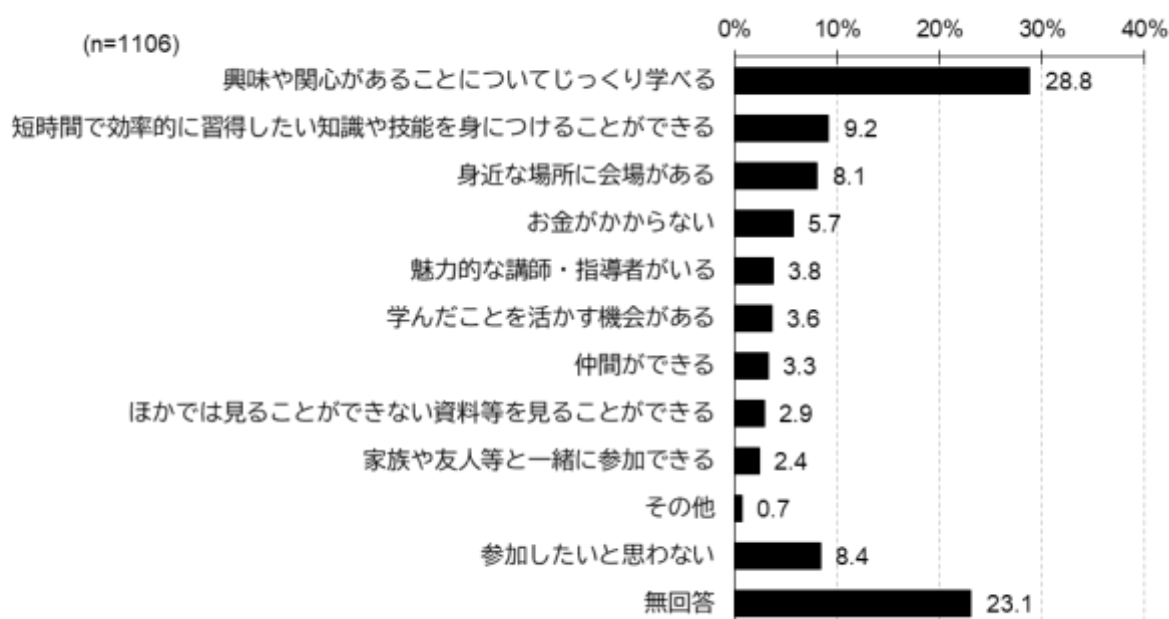
問 16 あなたは、学習講座やイベント、展覧会などに参加する際、重視するのはどのような点ですか。(複数回答)

「興味や関心があることについてじっくり学べる」が 49.8%と最も高く、次いで「身近な場所に会場がある」が 40.2%、「お金がかからない」が 29.7%、「短時間で効率的に習得したい知識や技能を身につけることができる」が 20.7%、「家族や友人等と一緒に参加できる」が 18.3%となっています。

学習講座などに参加する際に重視する点

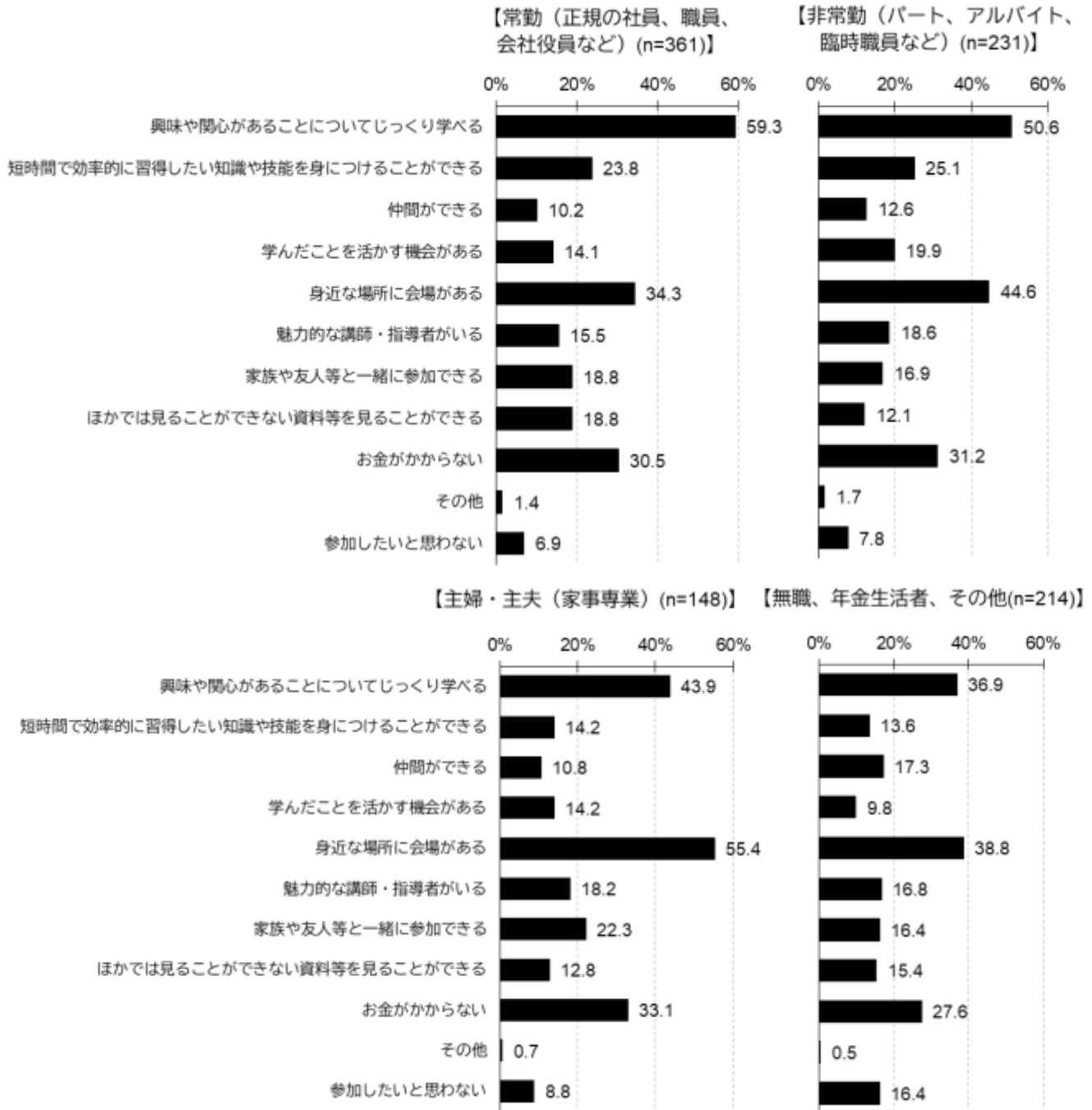


(参考) 2017年調査 学習講座などに参加する際に重視する点 (単数回答)



就業状況別にみると、「興味や関心があることについてじっくり学べる」、「身近な場所に会場がある」は就業状況にかかわらず、高い傾向にあります。

就業状況別 学習講座などに参加する際に重視する点



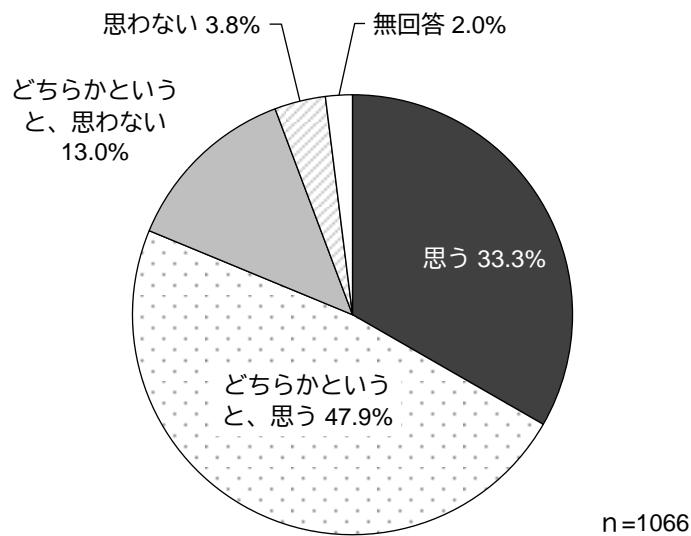
地域の歴史についておうかがいします

問 17 あなたは町田市の歴史を後世へ伝える必要があると思いますか。

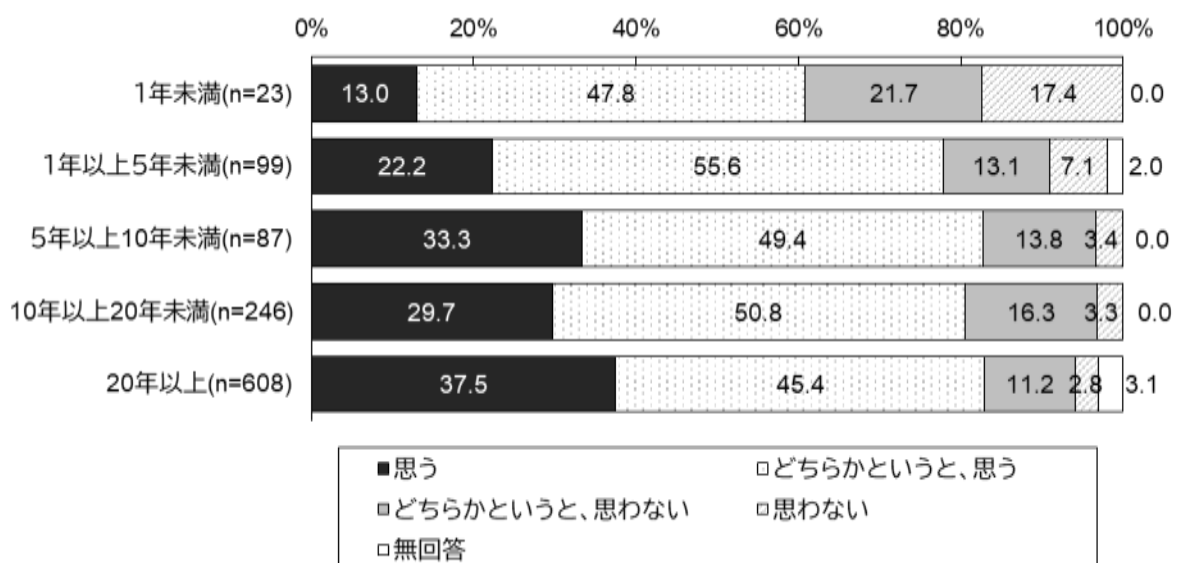
「思う」の33.3%と「どちらかという、思う」の47.9%を合わせると、81.2%が『思う』と回答しています。また、「思わない」の3.8%と「どちらかという、思わない」の13.0%を合わせると、16.8%が『思わない』と回答しています。

居住年数別にみると、「思う」は居住年数が長い人ほど、高い傾向にあります。

町田市の歴史を後世へ伝える必要があると思うか



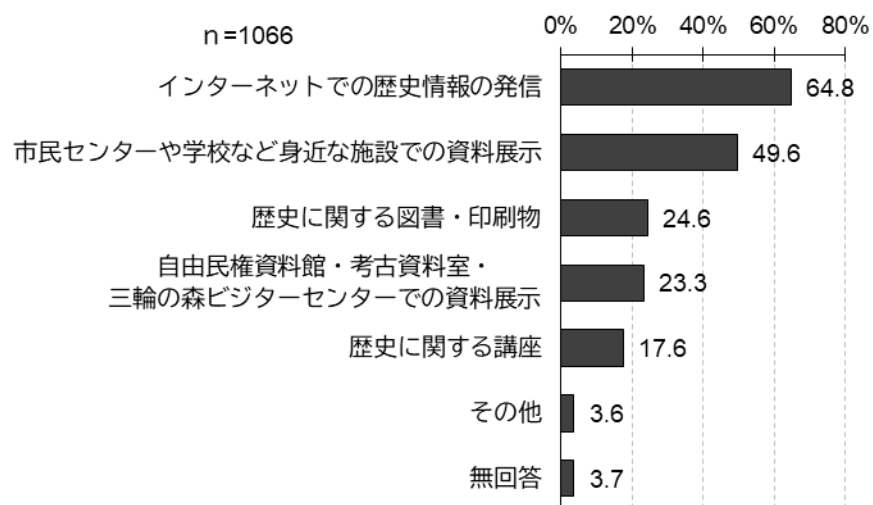
居住年数別 町田市の歴史を後世へ伝える必要があると思うか



問 18 あなたは町田市の歴史を知る手段として以下のどれが必要だと思いますか。(複数回答)

「インターネットでの歴史情報の発信」が64.8%と最も高く、次いで「市民センターや学校など身近な施設での資料展示」が49.6%、「歴史に関する図書・印刷物」が24.6%、「自由民権資料館・考古資料室・三輪の森ビジターセンターでの資料展示」が23.3%、「歴史に関する講座」が17.6%となっています。

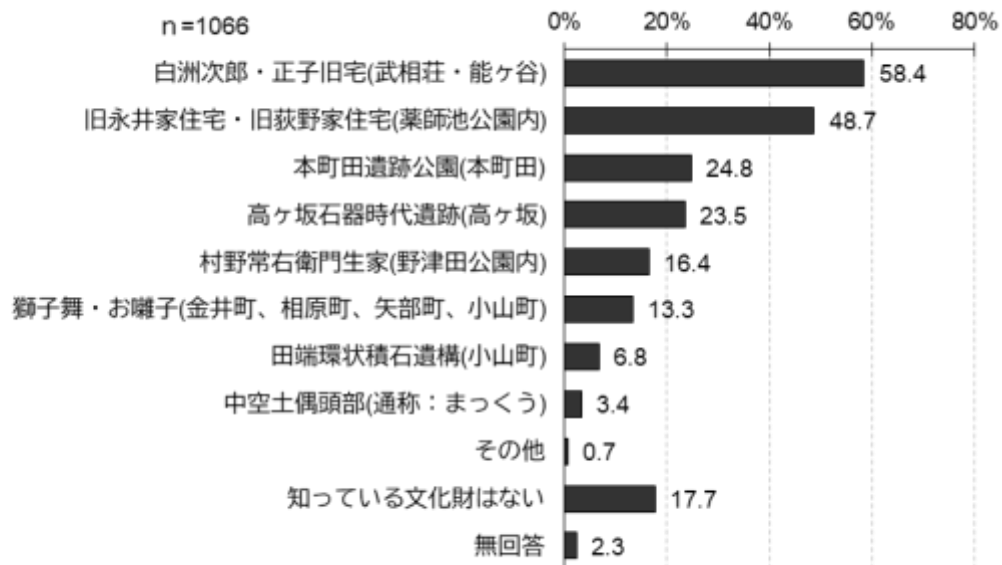
町田市の歴史を知る手段として必要だと思うこと



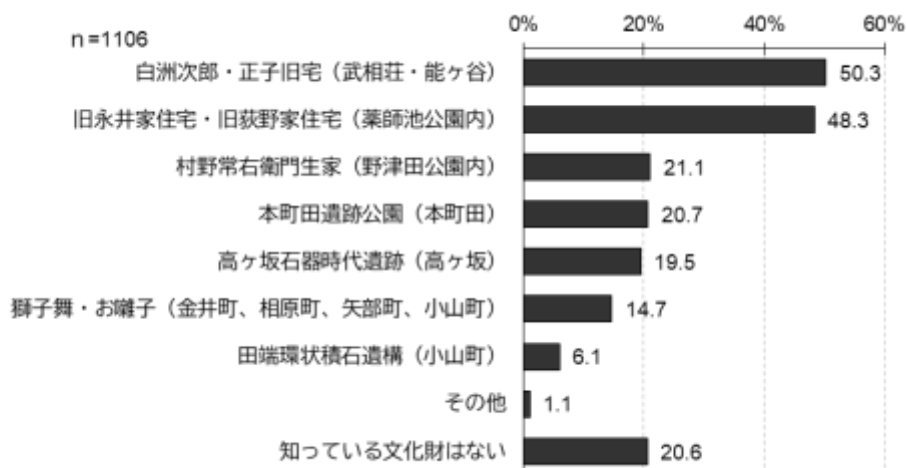
問 19 あなたは、町田市内にある次の文化財を知っていますか。(複数回答)

「白洲次郎・正子旧宅（武相荘・能ヶ谷）」が 58.4%と最も高く、次いで「旧永井家住宅・旧荻野家住宅（薬師池公園内）」が 48.7%、「本町田遺跡公園（本町田）」が 24.8%、「高ヶ坂石器時代遺跡（高ヶ坂）」が 23.5%となっています。また、「知っている文化財はない」は 17.7%となっています。

町田市内の文化財の認知度

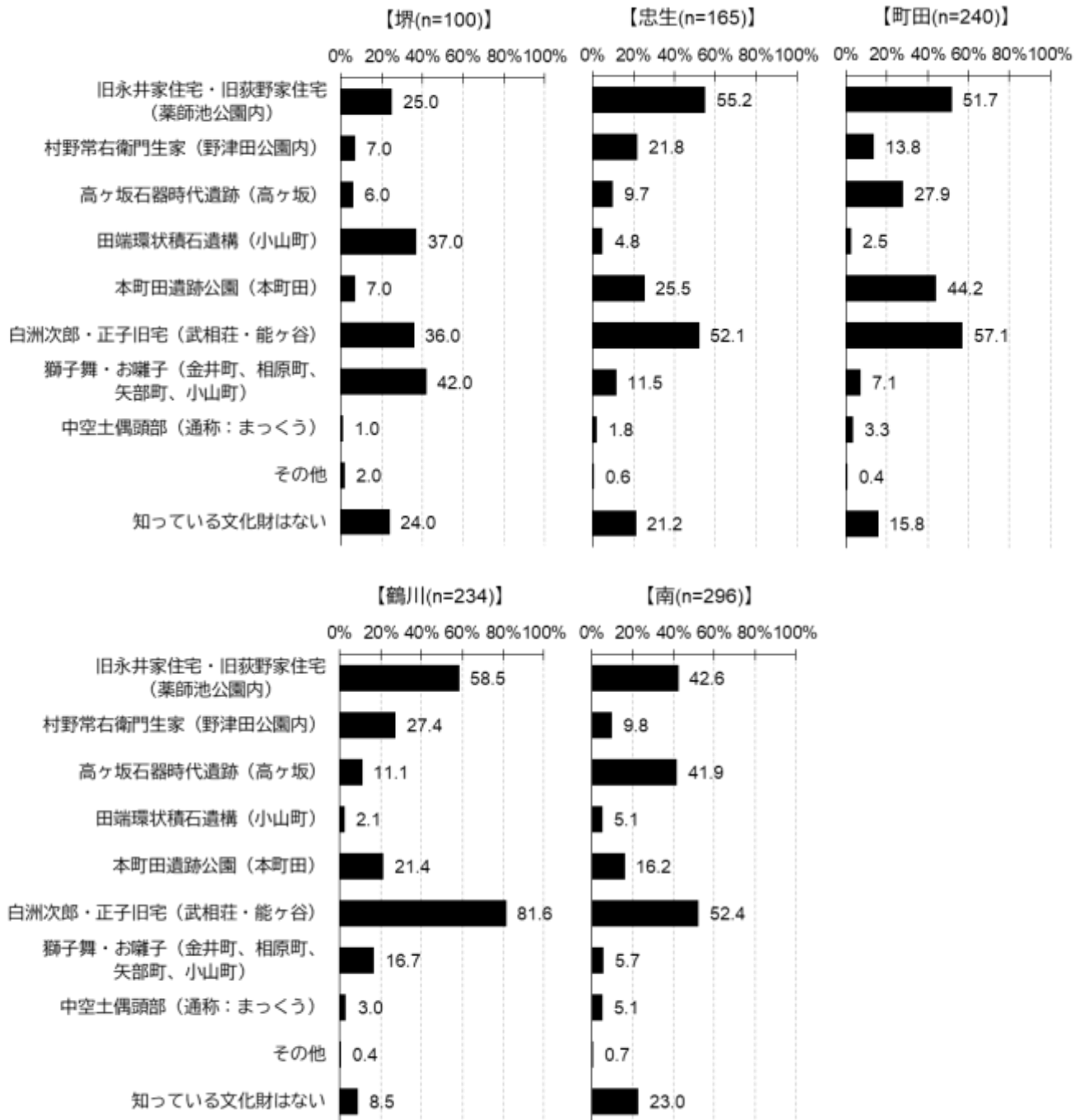


(参考) 2017年調査 町田市内の文化財の認知度



居住地区別にみると、「白洲次郎・正子旧宅（武相荘・能ヶ谷）」は「鶴川」（81.6％）で最も高く、「獅子舞・お囃子（金井町、相原町、矢部町、小山町）」（42.0％）、「田端環状積石遺構（小山町）」（37.0％）は「堺」で最も高くなっています。

居住地区別 町田市内の文化財の認知度

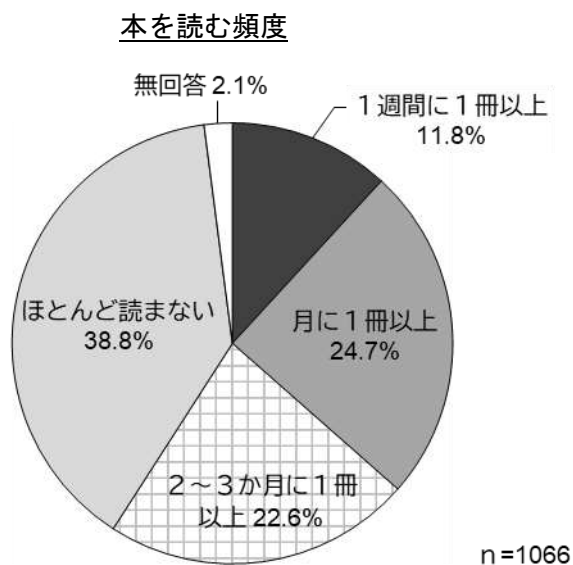


ここからは図書館のことについておうかがいします

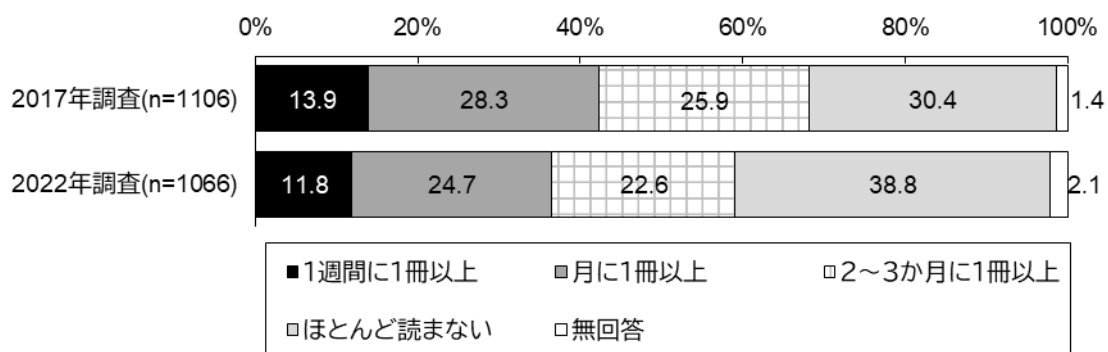
問 20 あなたは、本をどれぐらいの頻度で読みますか。

「1週間に1冊以上」が11.8%、「月に1冊以上」が24.7%、「2～3か月に1冊以上」が22.6%、「ほとんど読まない」が38.8%となっています。

2017年実施の調査と比べると、「1週間に1冊以上」、「月に1冊以上」、「2～3か月に1冊以上」ともに低下しています。



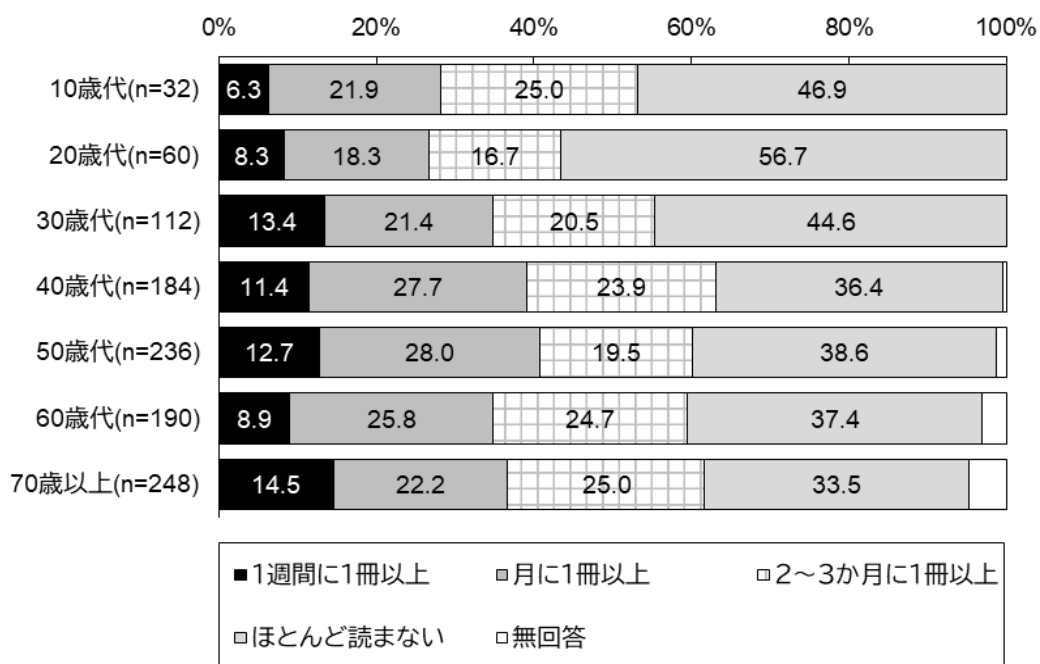
本を読む頻度（経年比較）



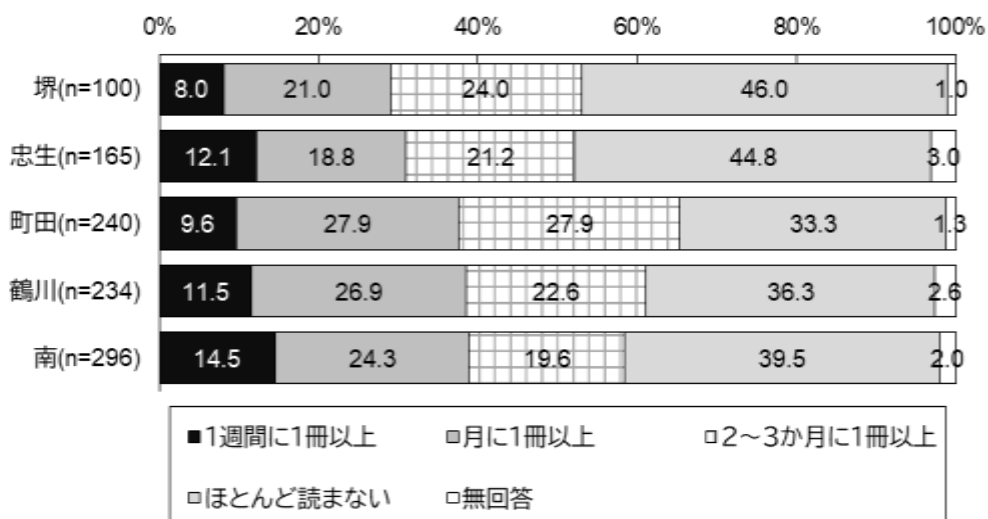
年齢別にみると、「1週間に1冊以上」は30歳代、50歳代、70歳以上で高くなっています。「ほとんど読まない」は20歳代で高くなっています。

居住地区別にみると、「1週間に1冊以上」は「忠生」(12.1%)、「鶴川」(11.5%)、「南」(14.5%)で高くなっています。

年齢別 本を読む頻度



居住地区別 本を読む頻度

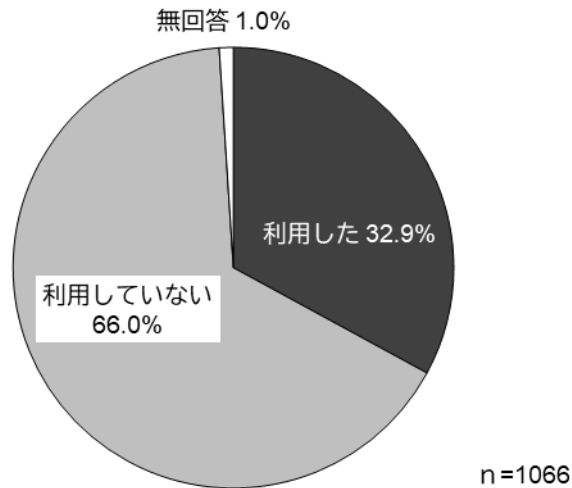


問 21 あなたは、この1年間、町田市立図書館のサービスを利用しましたか。

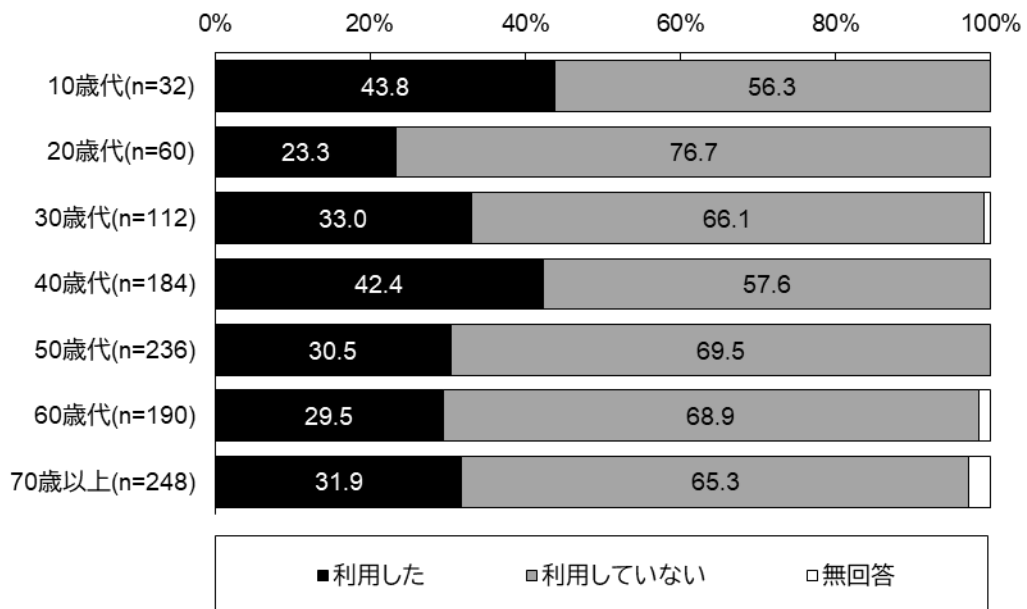
「利用した」が32.9%、「利用していない」が66.0%となっています。

年齢別にみると、「利用した」は10歳代(43.8%)、40歳代(42.4%)で高くなっています。「利用していない」は20歳代(76.7%)で高くなっています。

町田市立図書館の利用の有無



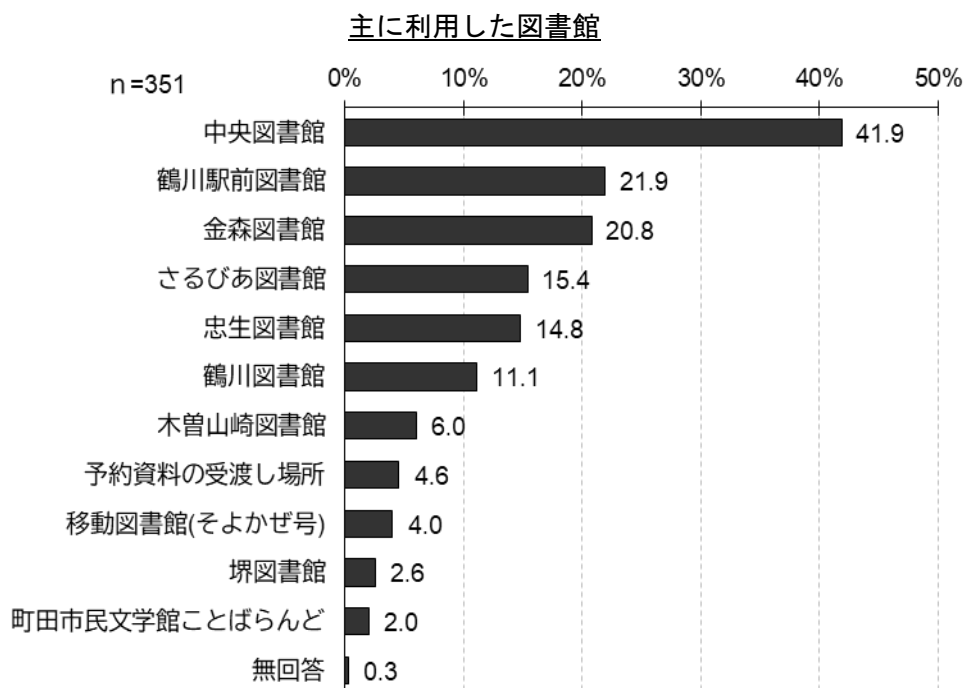
年齢別 町田市立図書館の利用の有無



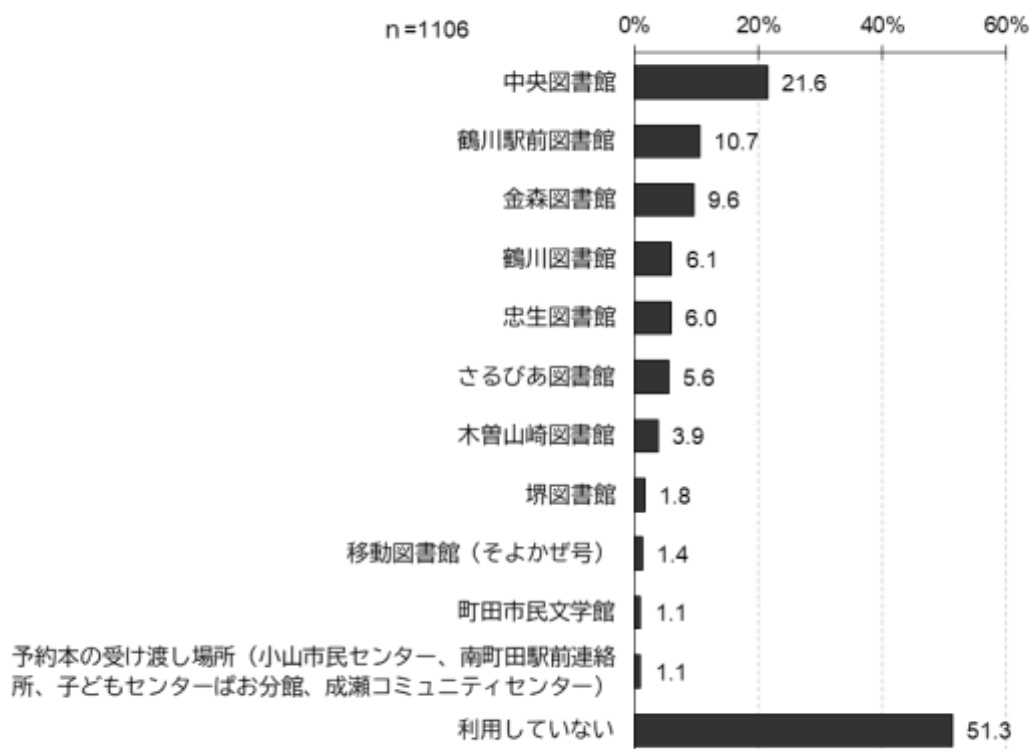
問 21 で「利用した」を選んだ方におうかがいします。

問 21-1 主にどこで利用しましたか。(複数回答)

「中央図書館」が 41.9%と最も高く、次いで「鶴川駅前図書館」が 21.9%、「金森図書館」が 20.8%、「さるびあ図書館」が 15.4%、「忠生図書館」が 14.8%となっています。



(参考) 2017年調査 主に利用した図書館

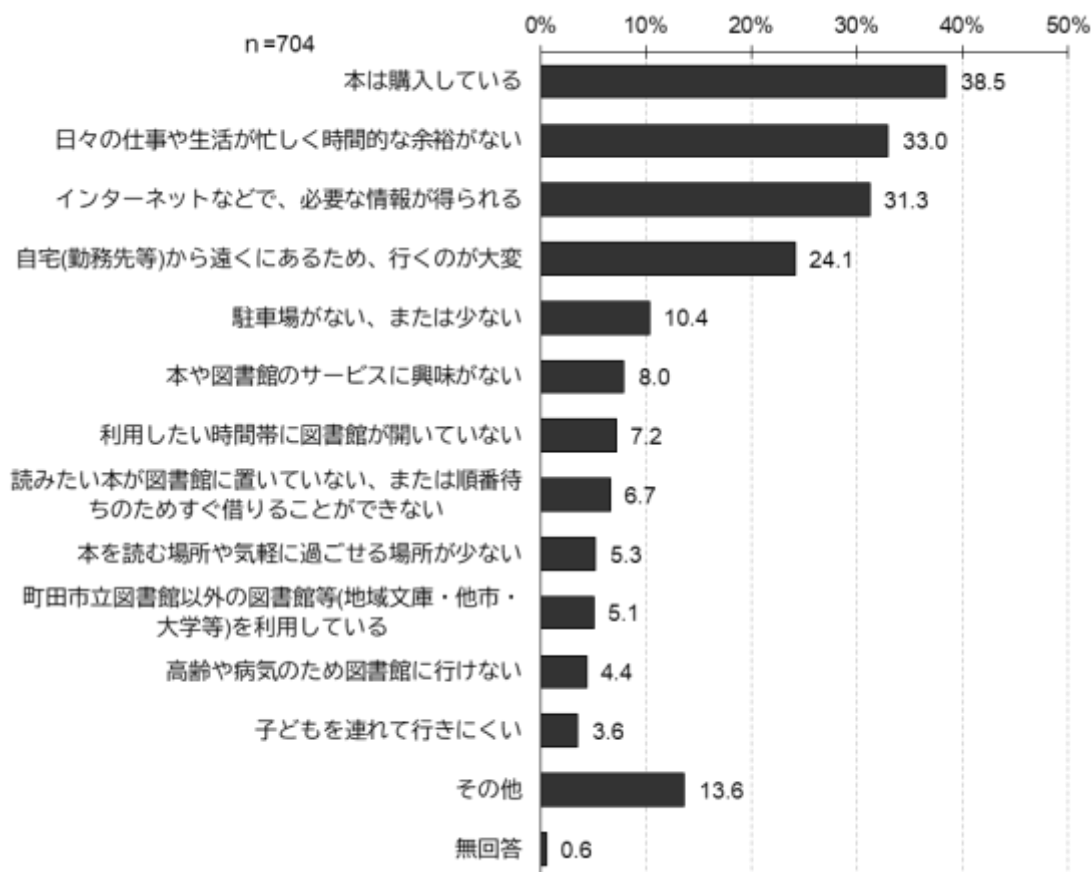


問 21 で「利用していない」を選んだ方におうかがいします。

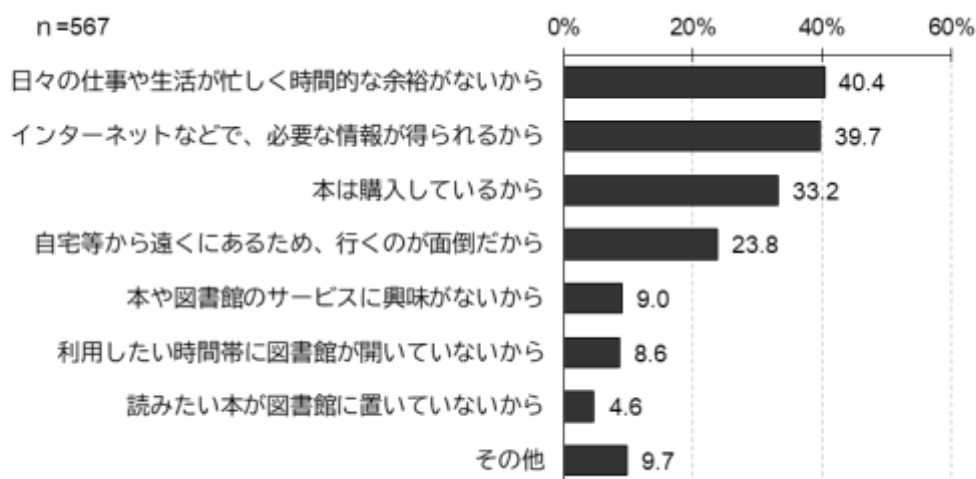
問 21-2 なぜ、図書館を利用されなかったのですか。(複数回答)

「本は購入している」が 38.5%と最も高く、次いで「日々の仕事や生活が忙しく時間的な余裕がない」が 33.0%、「インターネットなどで、必要な情報が得られる」が 31.3%、「自宅(勤務先等)から遠くにあるため、行くのが大変」が 24.1%となっています。

図書館を利用しなかった理由



(参考) 2017年調査 図書館を利用しなかった理由

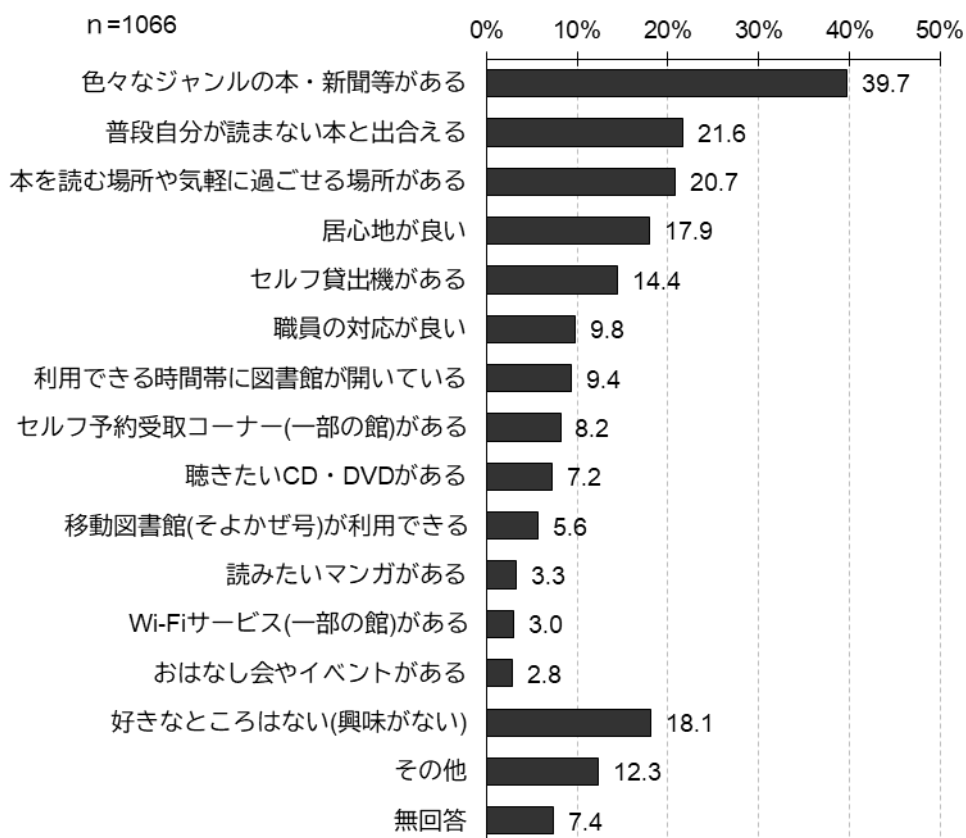


問 22 あなたが思う町田市立図書館の好きなおところは、どんなところですか。(複数回答)

「色々なジャンルの本・新聞等がある」が39.7%と最も高く、次いで「普段自分が読まない本と出合える」が21.6%、「本を読む場所や気軽に過ごせる場所がある」が20.7%、「居心地が良い」が17.9%となっています。

また、「好きなおところはない(興味がない)」は18.1%となっています。

図書館の好きなおところ

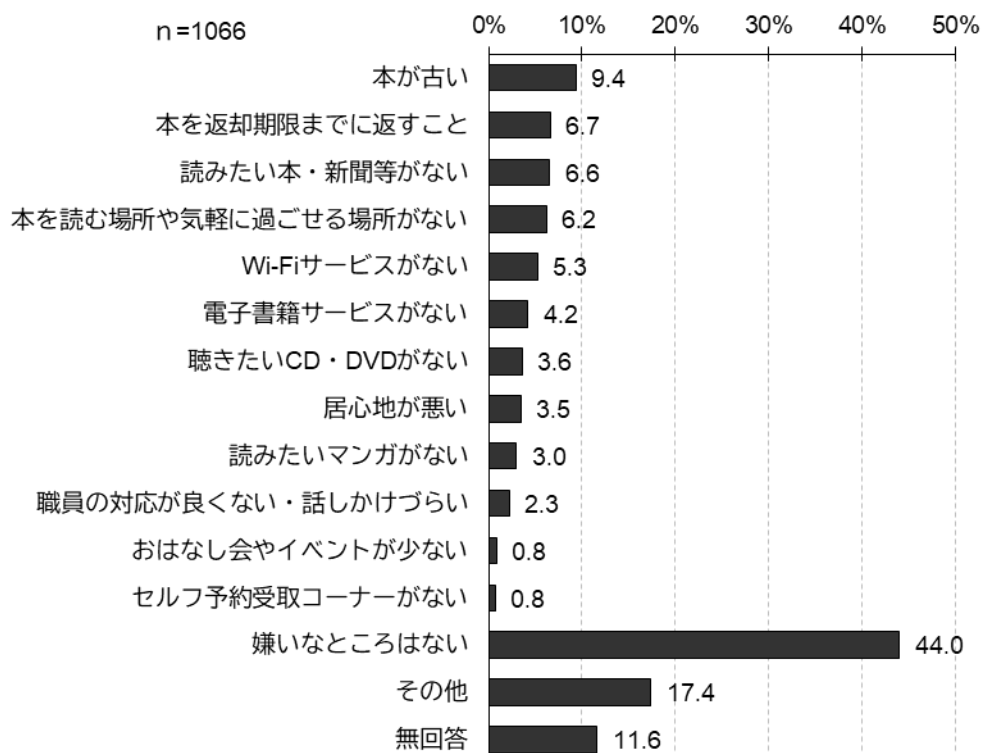


問 23 あなたが思う町田市立図書館の嫌いなところは、どんなところですか。(複数回答)

「本が古い」が9.4%、「本を返却期限までに返すこと」が6.7%、「読みたい本・新聞等がない」が6.6%、「本を読む場所や気軽に過ごせる場所がない」が6.2%となっています。

また、「嫌いなところはない」は44.0%、「その他」は17.4%となっています。

図書館の嫌いなところ

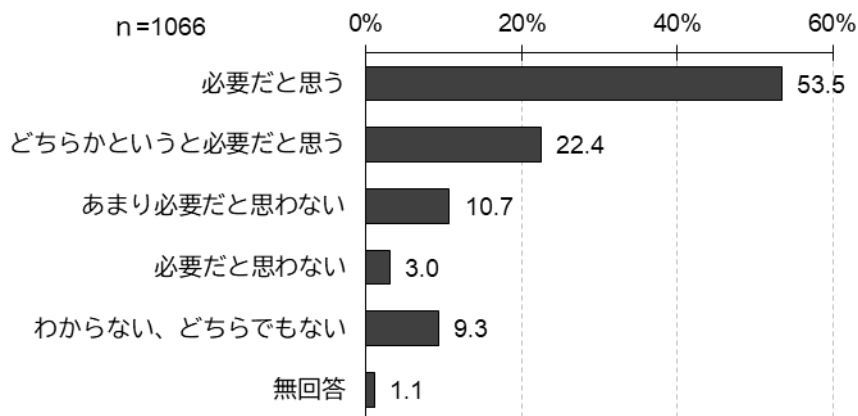


問 24 あなたの生活で、図書館は必要だと思いますか。

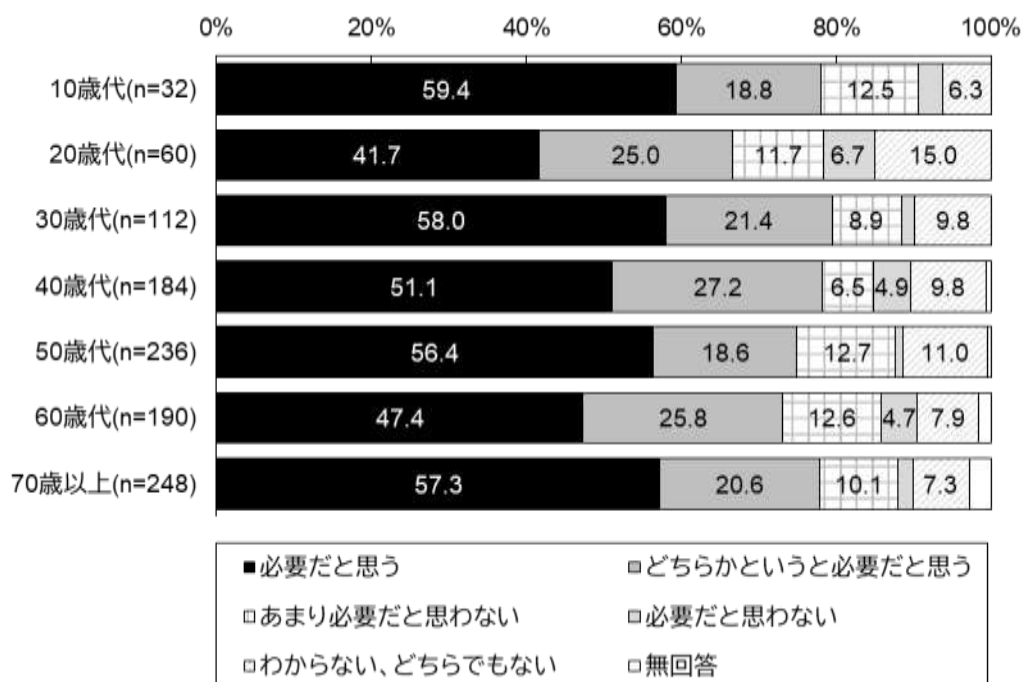
「必要だと思う」の 53.5%と「どちらかという必要だと思う」の 22.4%を合わせると、75.9%が『必要だと思う』と回答しています。また、「必要だと思わない」の 3.0%と「あまり必要だと思わない」の 10.7%を合わせると、13.7%が『必要だと思わない』と回答しています。「わからない、どちらでもない」は 9.3%となっています。

年齢別にみると、「必要だと思う」は 10 歳代 (59.4%)、30 歳代 (58.0%)、50 歳代 (56.4%)、70 歳以上 (57.3%) で高くなっています。

生活で図書館は必要だと思うか



年齢別 生活で図書館は必要だと思うか



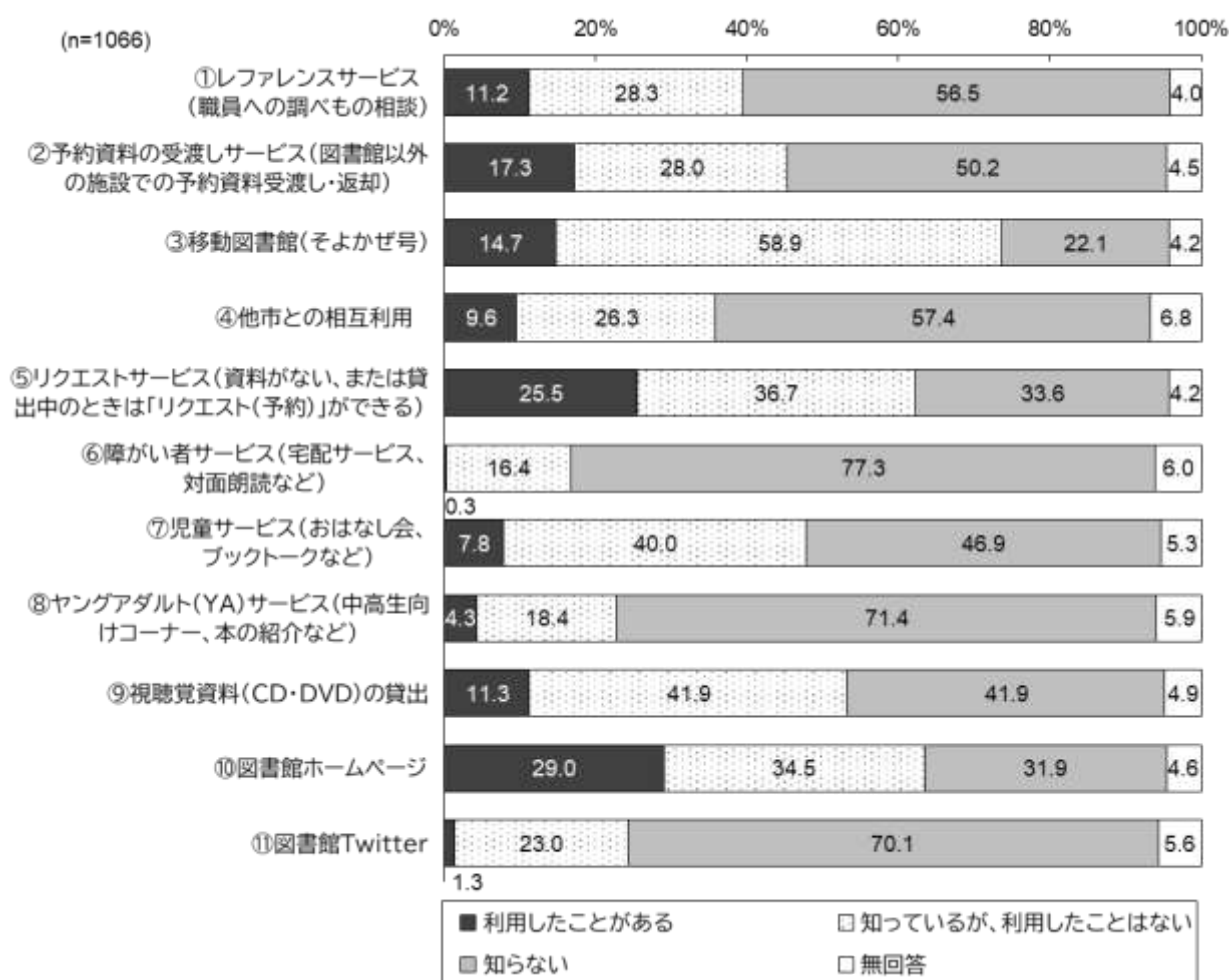
問 25 あなたは、図書館が行っているサービスについてどの程度知っていますか。

また、利用したことがありますか。

図書館が行っているサービスについて、「利用したことがある」との回答が高いものは順に⑩図書館ホームページが29.0%、⑤リクエストサービス（資料がない、または貸出中のときは「リクエスト（予約）」ができる）が25.5%、②予約資料の受渡しサービス（図書館以外の施設での予約資料受渡し・返却）が17.3%となっています。

また、「知らない」との回答が高いものは順に⑥障がい者サービス（宅配サービス、対面朗読など）が77.3%、⑧ヤングアダルト（YA）サービス（中高生向けコーナー、本の紹介など）が71.4%、⑪図書館Twitterが70.1%となっています。

図書館で行っているサービスの認知度

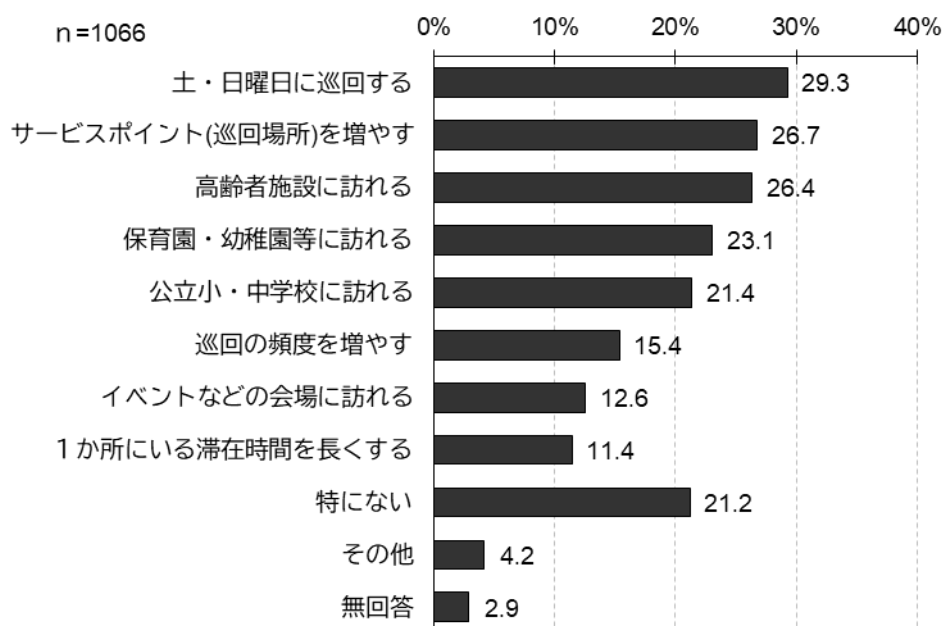


図書館の現状と今後についておうかがいします

問 26 あなたが、移動図書館の今後の取組として効果的だと思うものは何ですか。(複数回答)

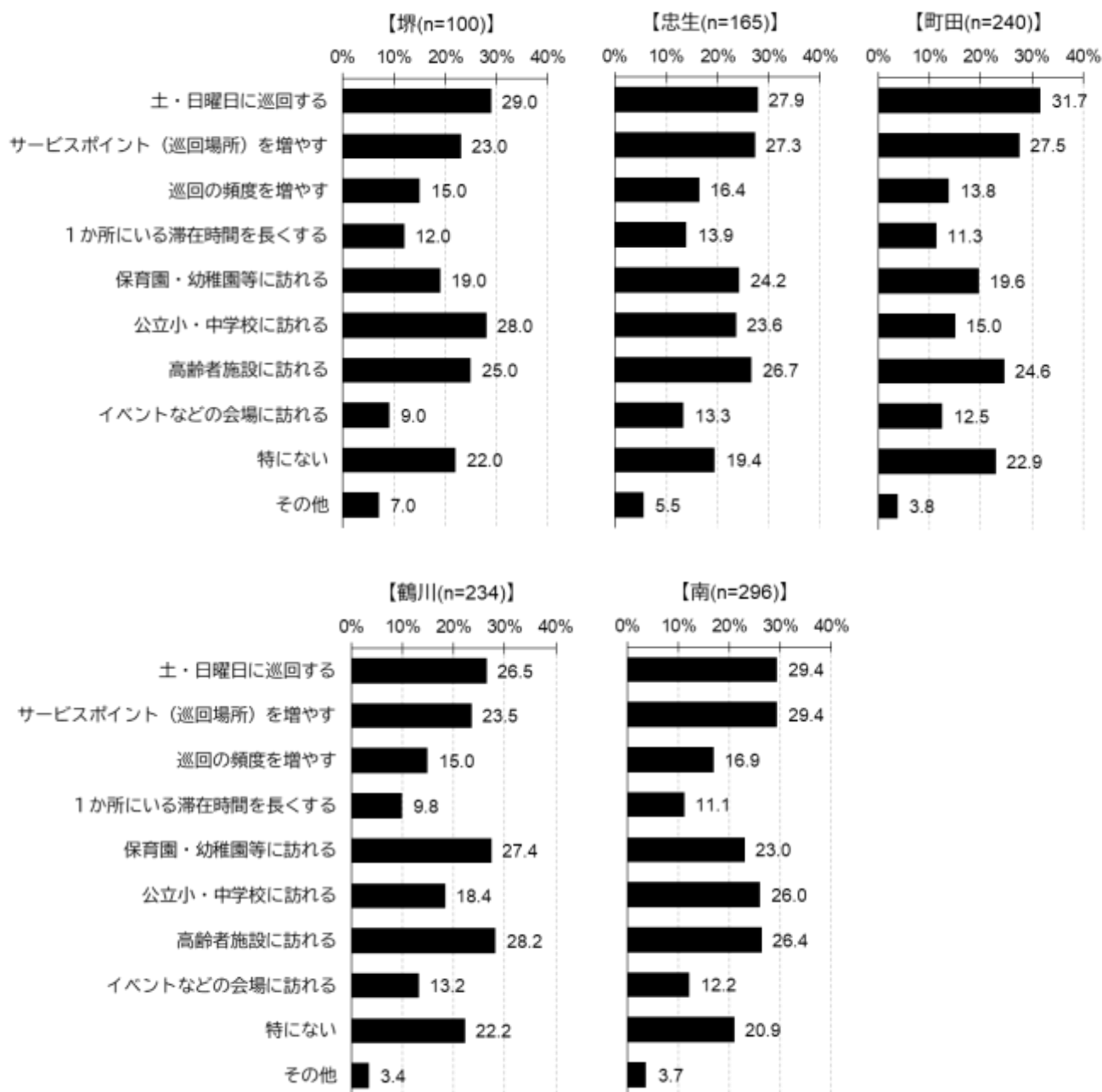
「土・日曜日に巡回する」が29.3%と最も高く、次いで「サービスポイント(巡回場所)を増やす」が26.7%、「高齢者施設に訪れる」が26.4%、「保育園・幼稚園等に訪れる」が23.1%、「公立小・中学校に訪れる」が21.4%となっています。

移動図書館で効果的だと思う取組



居住地区別にみると、「土・日曜日に巡回する」は「町田」で高く、「サービスポイント（巡回場所）を増やす」は「南」で高くなっています。「公立小・中学校に訪れる」は「堺」（28.0%）、「忠生」（23.6%）、「南」（26.0%）で高く、「保育園・幼稚園等に訪れる」は「忠生」（24.2%）、「鶴川」（27.4%）、「南」（23.0%）で高くなっています。

居住地区別 移動図書館で効果的だと思う取組



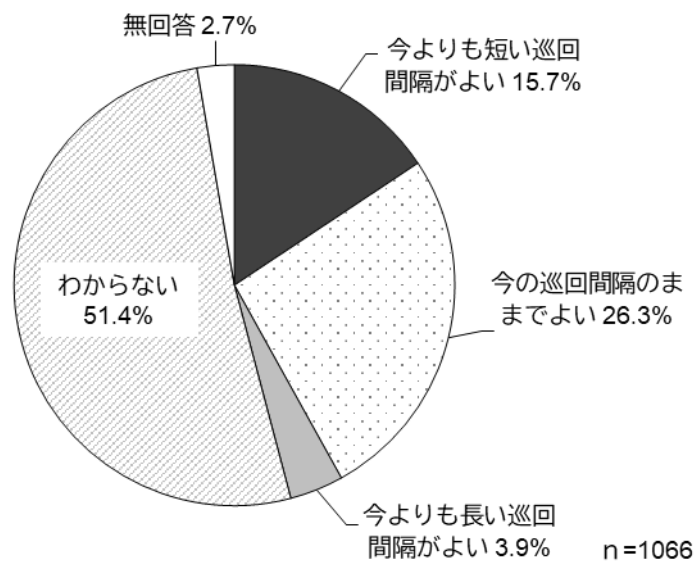
問 27 移動図書館の巡回頻度・滞在時間についてあなたの考えをおうかがいします。

① 巡回頻度（2週間に1回）

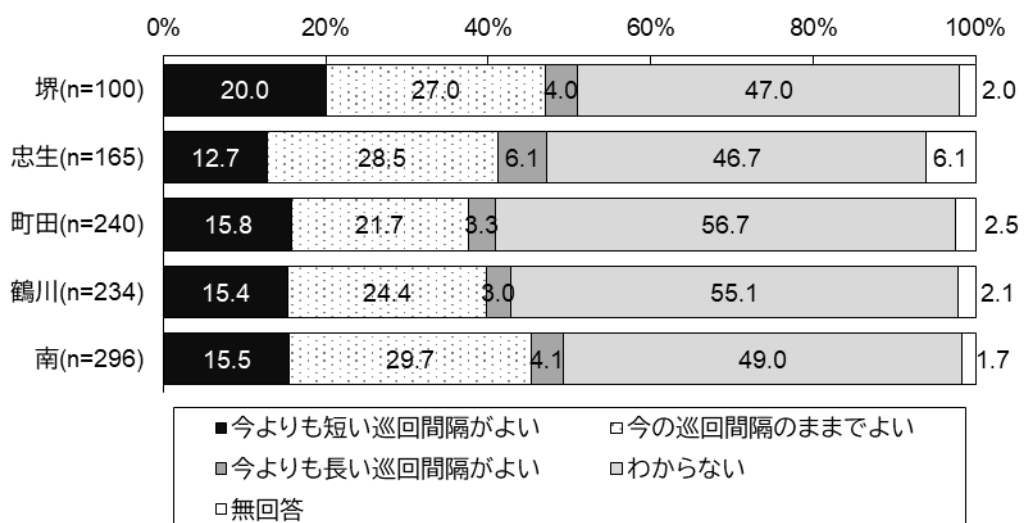
「今よりも短い巡回間隔がよい」が15.7%、「今の巡回間隔のままでよい」が26.3%、「今よりも長い巡回間隔がよい」が3.9%となっています。また、「わからない」は51.4%となっています。

居住地区別にみると、「今よりも短い巡回間隔がよい」は「堺」(20.0%)で高く、「今の巡回間隔のままでよい」は「忠生」(28.5%)、「南」(29.7%)で高くなっています。

移動図書館の巡回頻度についての考え



居住地区別 移動図書館の巡回頻度についての考え

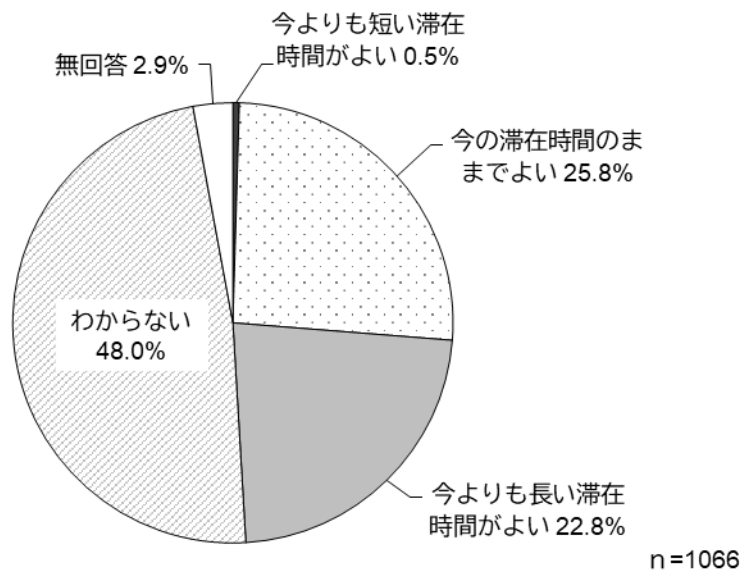


② 滞在時間（30分から50分）

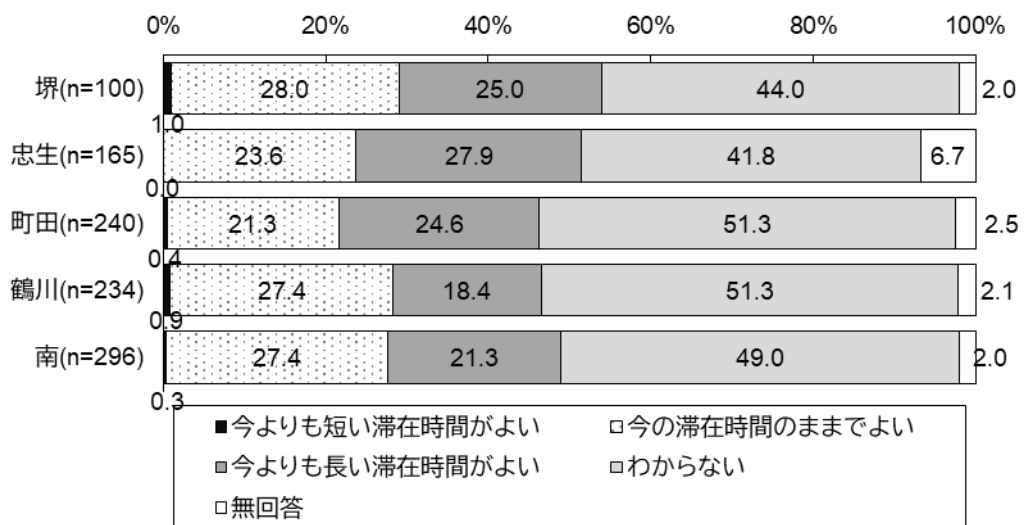
「今よりも短い滞在時間がよい」が0.5%、「今の滞在時間のままでよい」が25.8%、「今よりも長い滞在時間がよい」が22.8%となっています。また、「わからない」は48.0%となっています。

居住地区別にみると、「今よりも長い滞在時間がよい」は「忠生」（27.9%）で高く、「今の滞在時間のままでよい」は「堺」（28.0%）、「鶴川」（27.4%）、「南」（27.4%）で高くなっています。

移動図書館の滞在時間についての考え



居住地区別 移動図書館の滞在時間についての考え



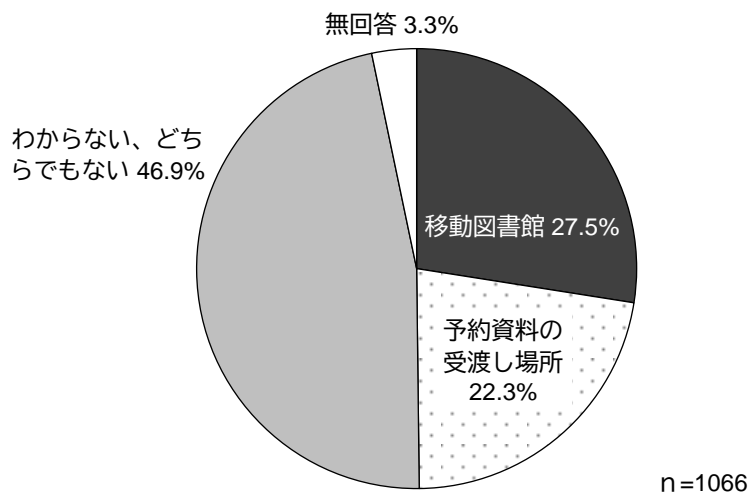
問 28 図書館から離れた場所にお住まいの方に対して、移動図書館と予約資料の受渡し場所では、どちらが効果的なサービスだと考えますか。

「移動図書館」が 27.5%、「予約資料の受渡し場所」が 22.3%となっています。

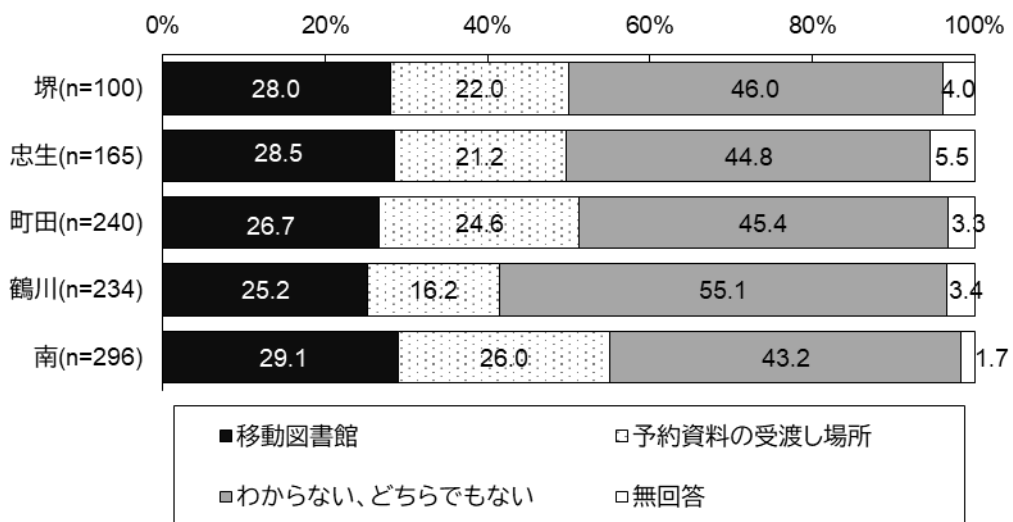
また、「わからない、どちらでもない」が 46.9%となっています。

居住地区別にみると、「鶴川」では「移動図書館」(25.2%)、「予約資料の受渡し場所」(16.2%)がともに低くなっています。

移動図書館と予約資料の受渡し場所のどちらが効果的と考えるか



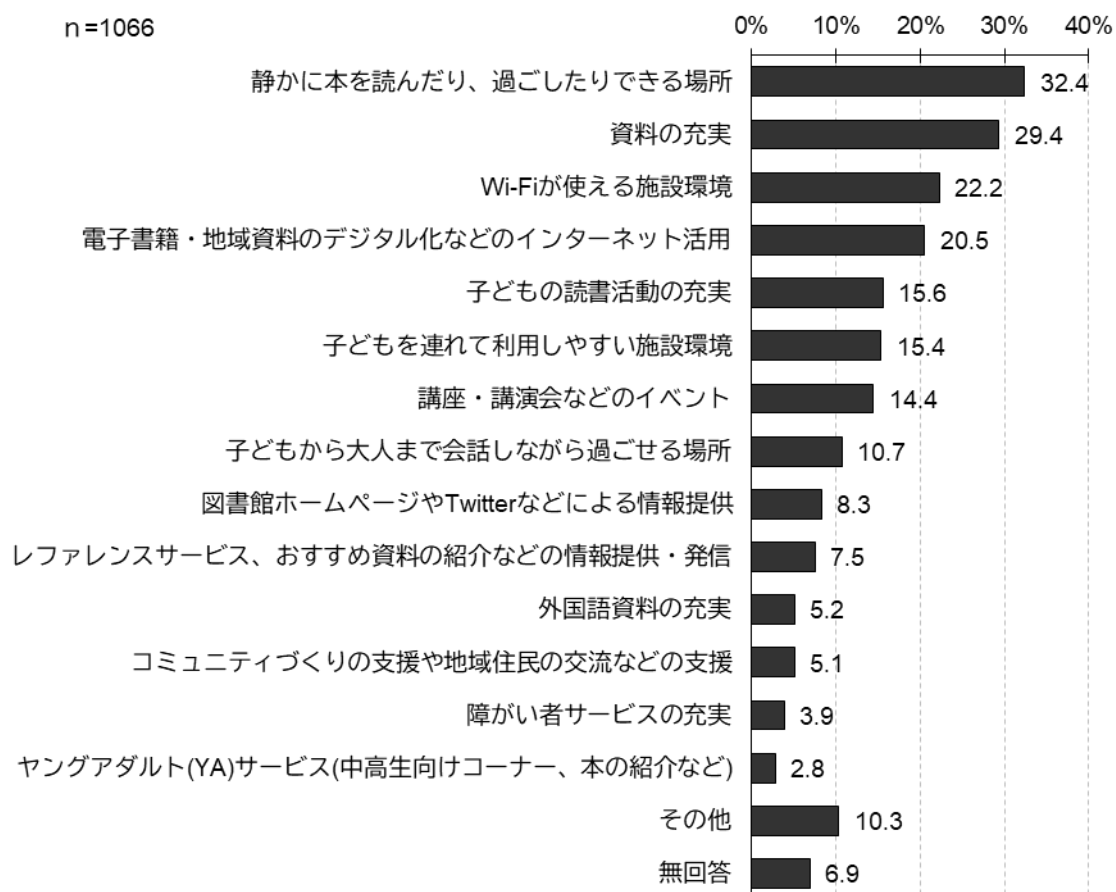
居住地区別 移動図書館と予約資料の受渡し場所のどちらが効果的と考えるか



問 29 今後、図書館で拡充してもらいたいことや、取り入れてもらいたいことは何ですか。
(複数回答)

「静かに本を読んだり、過ごしたりできる場所」が 32.4%と最も高く、次いで「資料の充実」が 29.4%、「Wi-Fi が使える施設環境」が 22.2%、「電子書籍・地域資料のデジタル化などのインターネット活用」が 20.5%、「子どもの読書活動の充実」が 15.6%となっています。

図書館で取り入れてもらいたいこと

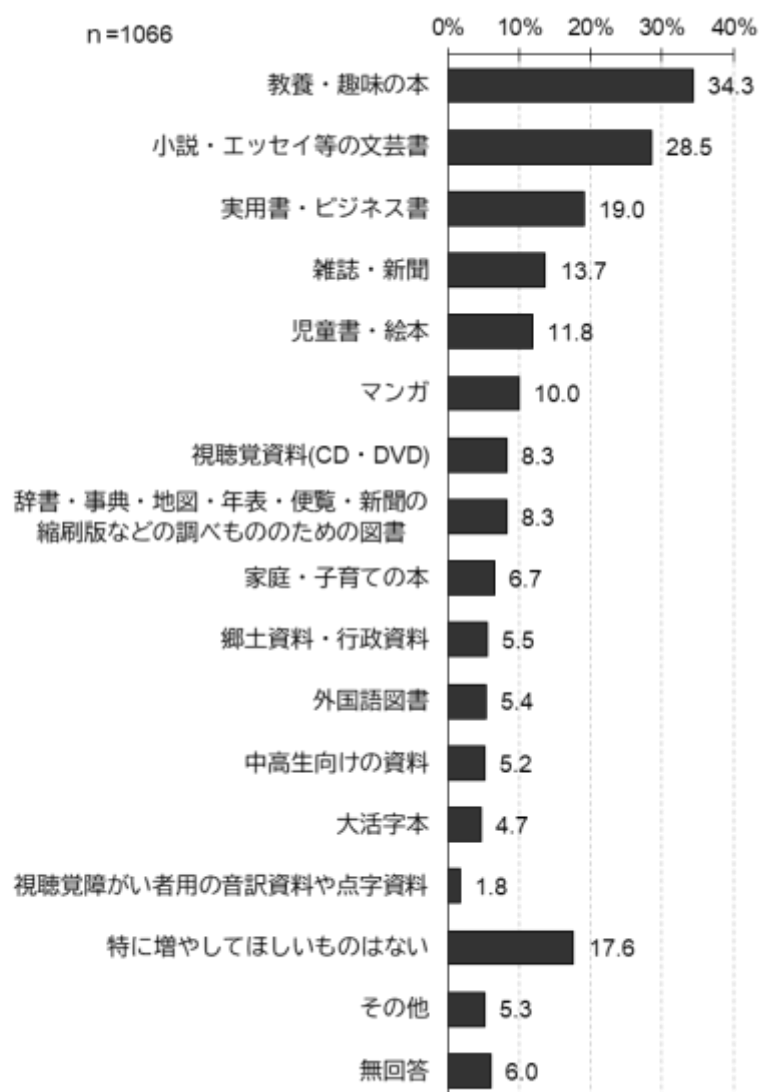


問 30 今後、充実してもらいたい蔵書・資料は何ですか。(複数回答)

「教養・趣味の本」が34.3%と最も高く、次いで「小説・エッセイ等の文芸書」が28.5%、「実用書・ビジネス書」が19.0%、「雑誌・新聞」が13.7%となっています。

また、「特に増やしてほしいものはない」は17.6%となっています。

図書館で充実してもらいたい蔵書・資料



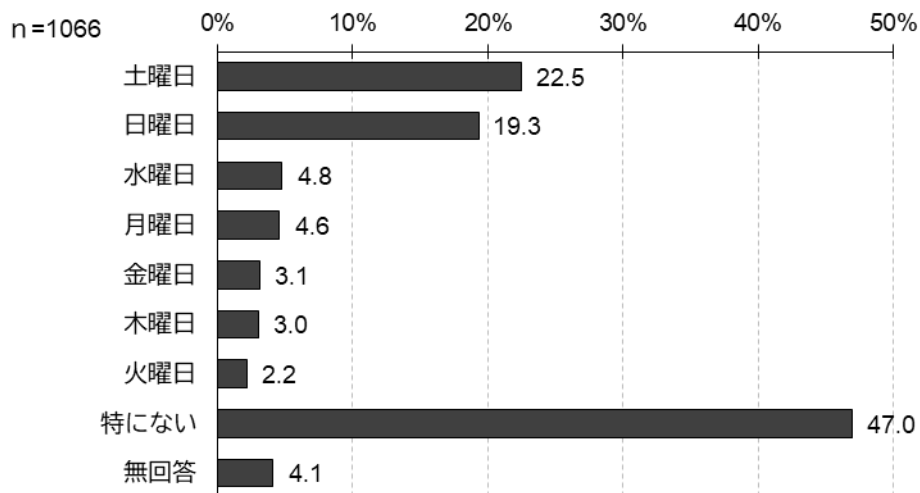
問 31 あなたが図書館を利用したい曜日と時間帯はいつですか。(※単数回答ですが、1つ以上の回答も採用) (下記の選択肢は、現在の開館曜日・時間とは異なります。)

① 曜日

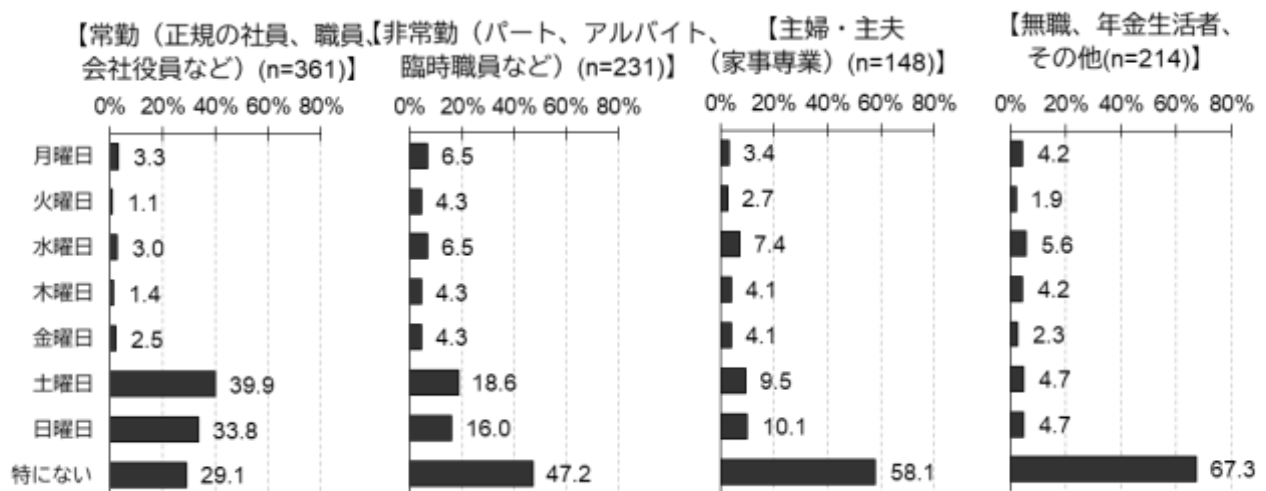
「土曜日」が22.5%、「日曜日」が19.3%、「水曜日」が4.8%、「月曜日」が4.6%となっています。また、「特にない」は47.0%となっています。

就業状況別にみると、「常勤（正規の社員、職員、会社役員など）」で「土曜日」（39.9%）、「日曜日」（33.8%）は高くなっています。

図書館を利用したい曜日



就業状況別 図書館を利用したい曜日

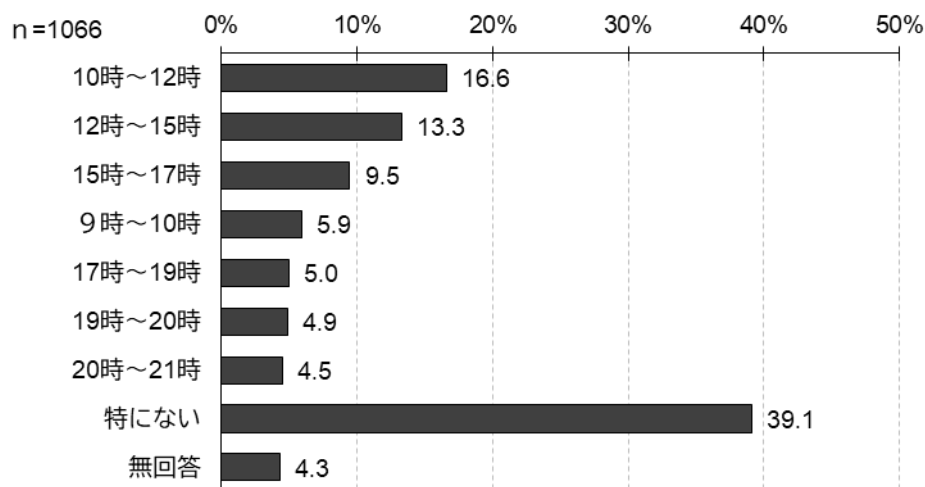


② 時間帯（※単数回答ですが、1つ以上の回答も採用）

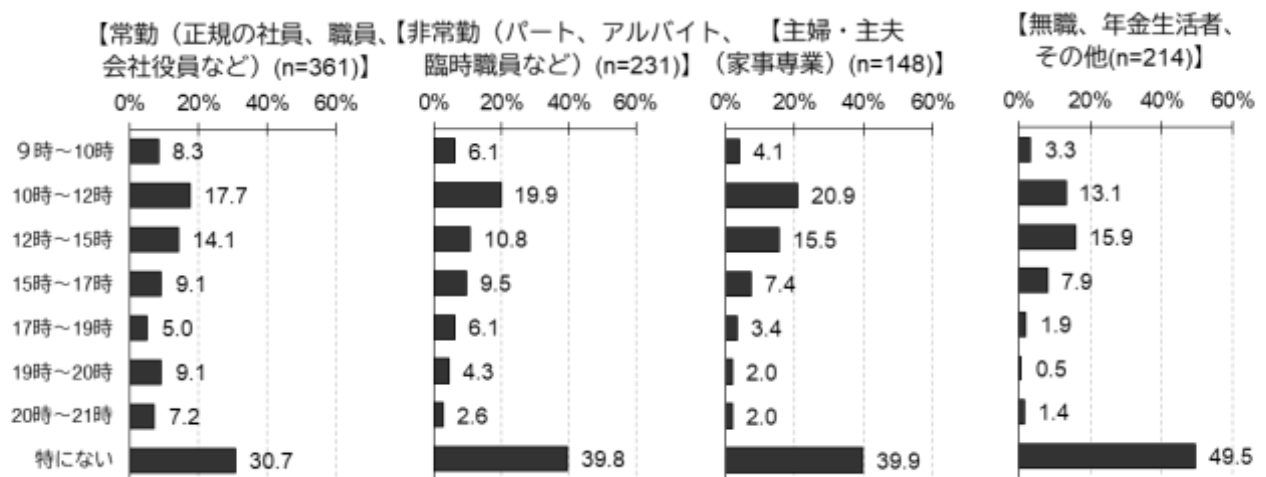
「10時～12時」が16.6%、「12時～15時」が13.3%、「15時～17時」が9.5%、「9時～10時」が5.9%となっています。また「特にない」は39.1%となっています。

就業状況別にみると、「19時～20時」、「20時～21時」は「常勤（正規の社員、職員、会社役員など）」で高くなっています。「10時～12時」は「非常勤（パート、アルバイト、臨時職員など）」（19.9%）、「主婦・主夫（家事専業）」（20.9%）で高く、「12時～15時」は「無職、年金生活者、その他」（15.9%）で高くなっています。

図書館を利用したい時間帯



就業状況別 図書館を利用したい時間帯

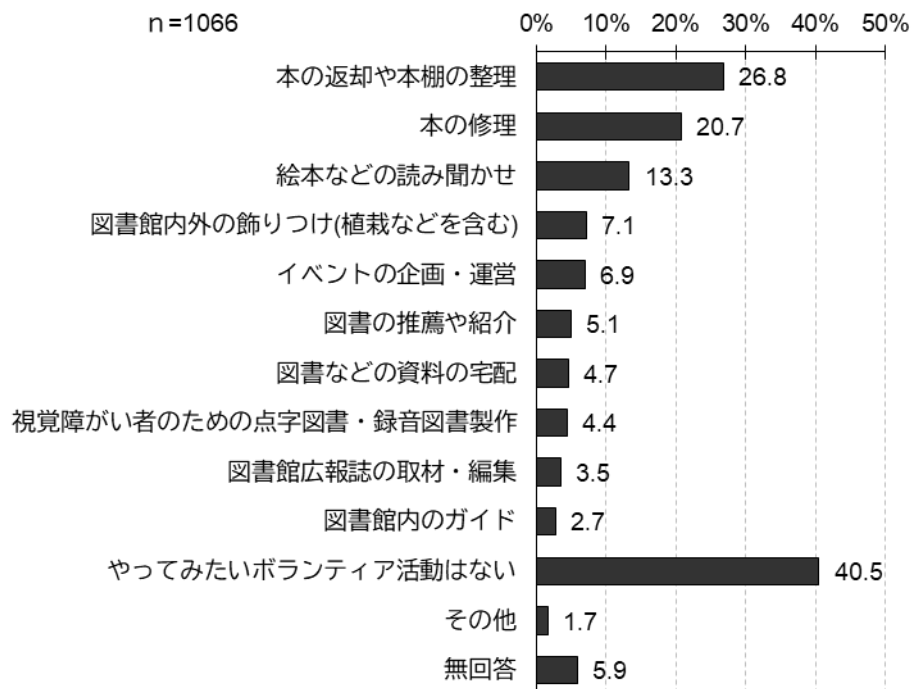


問 32 あなたがやってみたいと思うボランティア活動の内容を教えてください。(複数回答)

「本の返却や本棚の整理」が 26.8%、「本の修理」が 20.7%、「絵本などの読み聞かせ」が 13.3%、「図書館内外の飾りつけ（植栽などを含む）」が 7.1%となっています。

また「やってみたいボランティア活動はない」が 40.5%となっています。

やってみたいボランティア活動の内容



図書館のデジタル化についておうかがいします

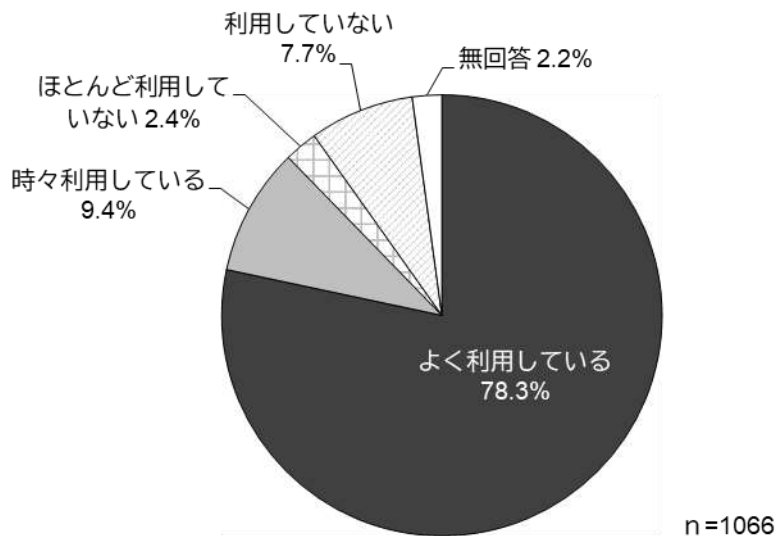
問 33 情報通信機器の利用についておうかがいします。

あなたは、スマートフォンやタブレットを利用していますか。

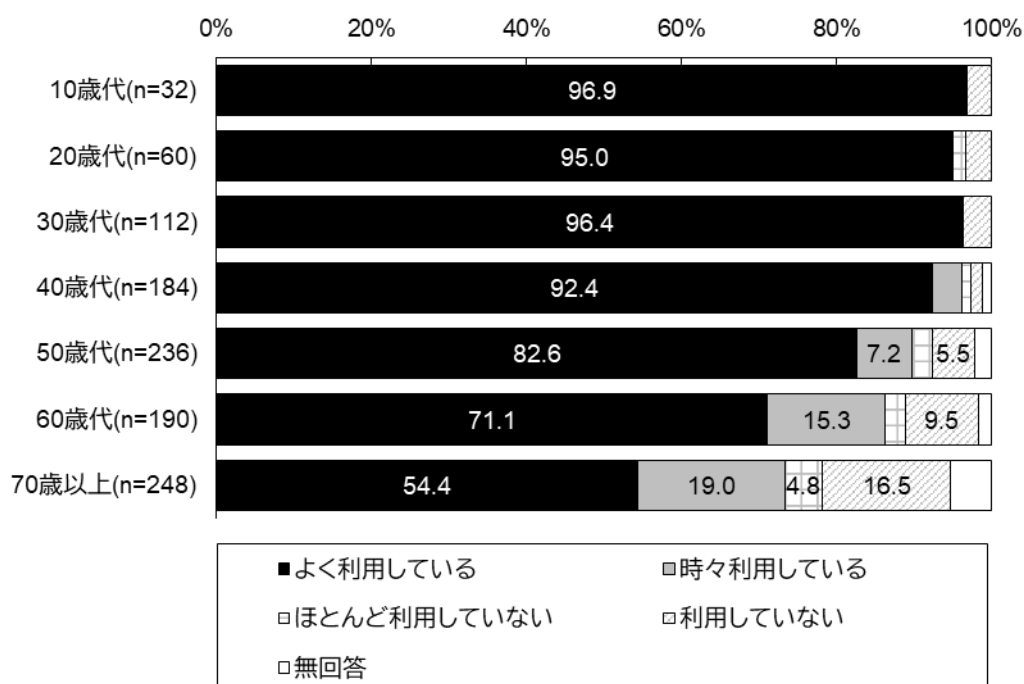
「よく利用している」が78.3%、「時々利用している」が9.4%、「ほとんど利用していない」が2.4%、「利用していない」が7.7%となっています。

年齢別にみると、「よく利用している」は10歳代、20歳代、30歳代、40歳代で9割以上となっています。

スマートフォンやタブレットの利用状況



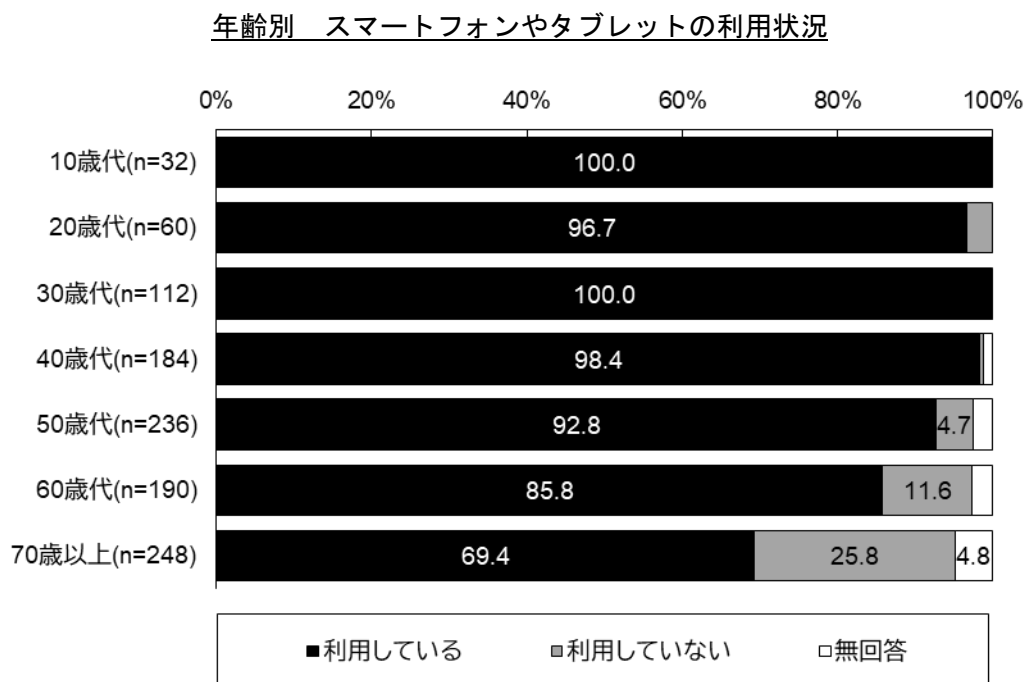
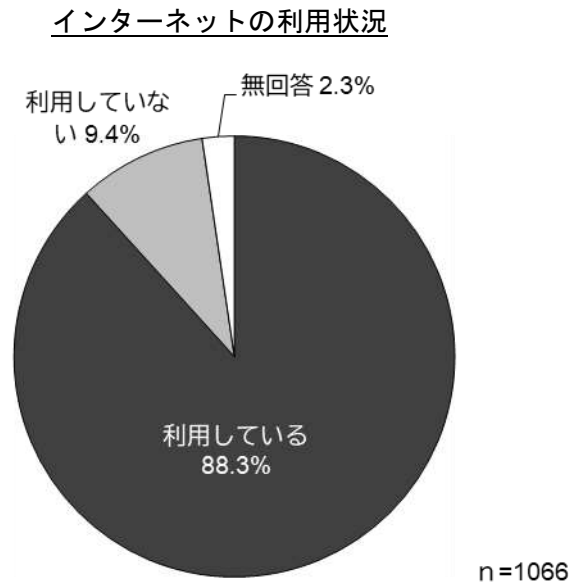
年齢別 スマートフォンやタブレットの利用状況



問 34 あなたは、インターネットを利用していますか。

「利用している」が 88.3%、「利用していない」が 9.4%となっています。

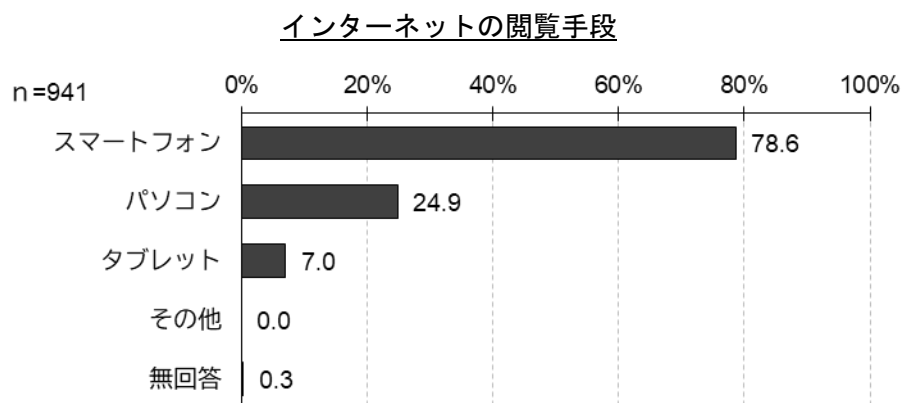
年齢別にみると、「利用している」は 60 歳代、70 歳以上を除いた年齢で 9 割以上となっています。



問 34 で「利用している」を選んだ方におうかがいします。

問 34-1 あなたは、主に何を利用して閲覧していますか。(複数回答)

「スマートフォン」が 78.6%と最も高く、次いで「パソコン」が 24.9%、「タブレット」が 7.0%となっています。

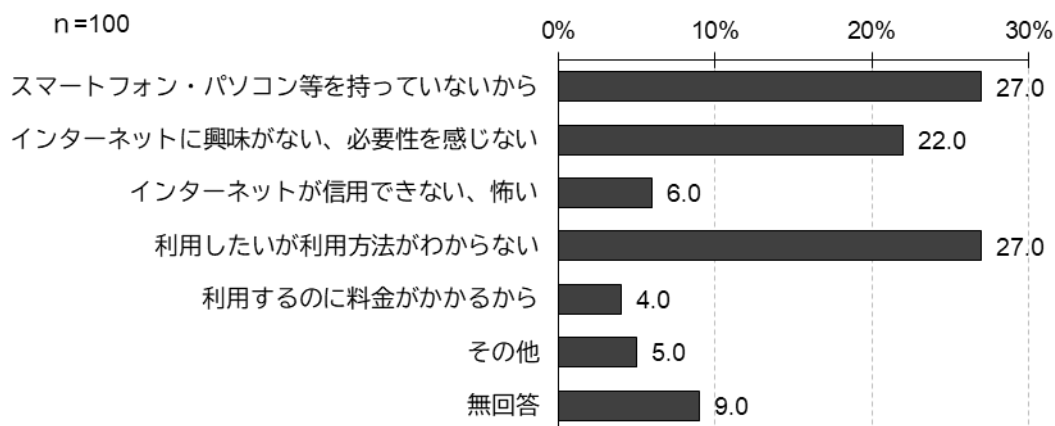


問 34 で「利用していない」を選んだ方におうかがいします。

問 34-2 なぜ、「利用していない」のですか。

「スマートフォン・パソコン等を持っていないから」が 27.0%、「インターネットに興味がない、必要性を感じない」が 22.0%、「インターネットが信用できない、怖い」が 6.0%、「利用したいが利用方法がわからない」が 27.0%、「利用するのに料金がかかるから」が 4.0%となっています。

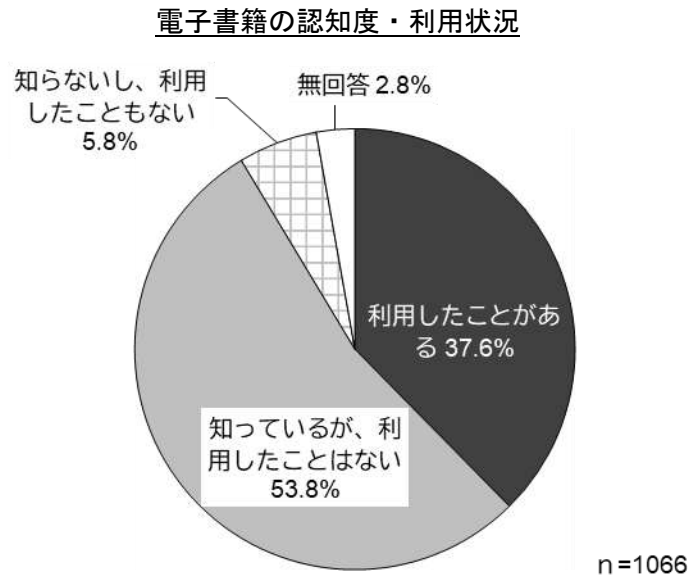
インターネットを利用していない理由



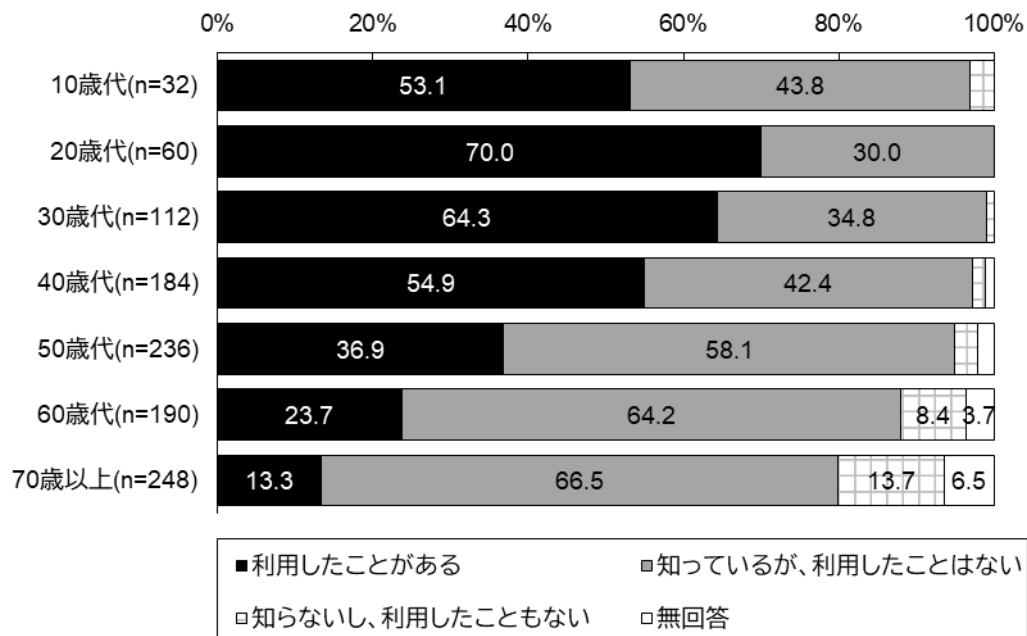
問 35 あなたは、電子書籍を知っていますか。また、利用したことはありますか。

「利用したことがある」が37.6%、「知っているが、利用したことはない」が53.8%、「知らないし、利用したこともない」が5.8%となっています。

年齢別にみると、「利用したことがある」は20歳代、30歳代で高くなっています。



年齢別 電子書籍の認知度・利用状況

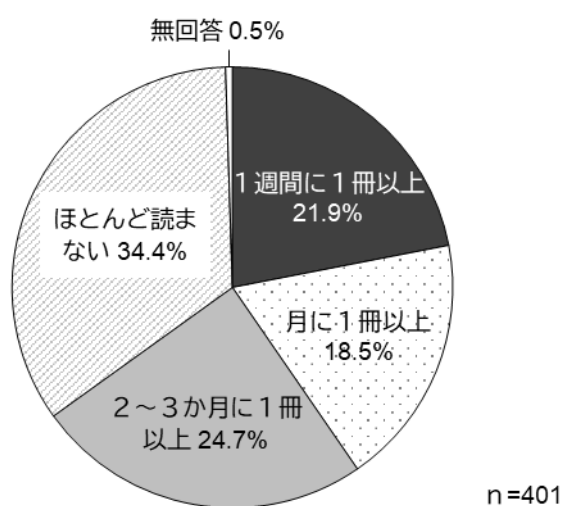


問 35 で「利用したことがある」を選んだ方におうかがいします。

問 35-1 電子書籍をどれぐらいの頻度で読みますか。

「1週間に1冊以上」が21.9%、「月に1冊以上」が18.5%、「2～3か月に1冊以上」が24.7%、「ほとんど読まない」が34.4%となっています。

電子書籍の利用頻度

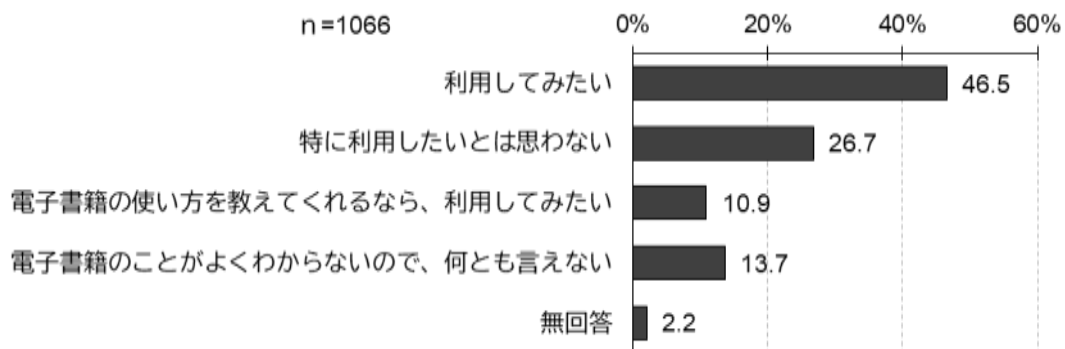


問 36 町田市立図書館では、電子書籍サービスを導入予定ですが利用してみたいですか。

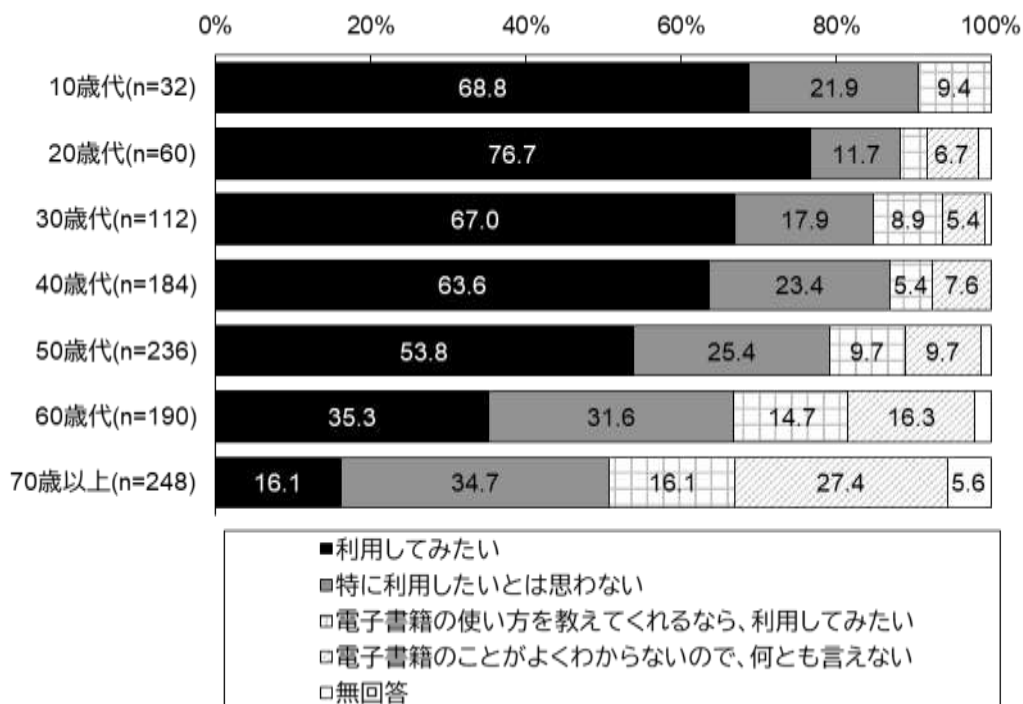
「利用してみたい」が46.5%、「特に利用したいとは思わない」が26.7%、「電子書籍の使い方を教えてくれるなら、利用してみたい」が10.9%、「電子書籍のことがよくわからないので、何とも言えない」が13.7%となっています。

年齢別にみると、「利用してみたい」は10歳代(68.8%)、20歳代(76.7%)、30歳代(67.0%)で高くなっています。

町田市立図書館での電子書籍サービスの利用意向



年齢別 町田市立図書館での電子書籍サービスの利用意向

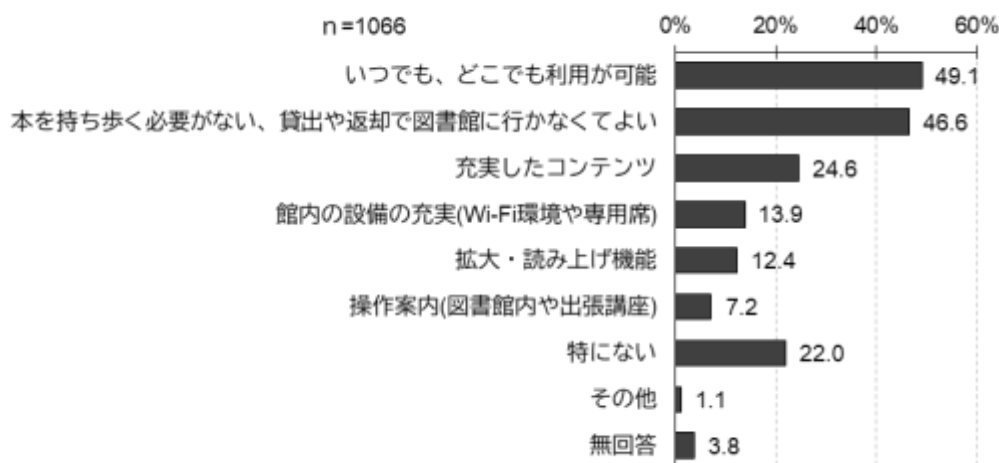


問 37 あなたが町田市立図書館の電子書籍サービスに求めることは何ですか。(複数回答)

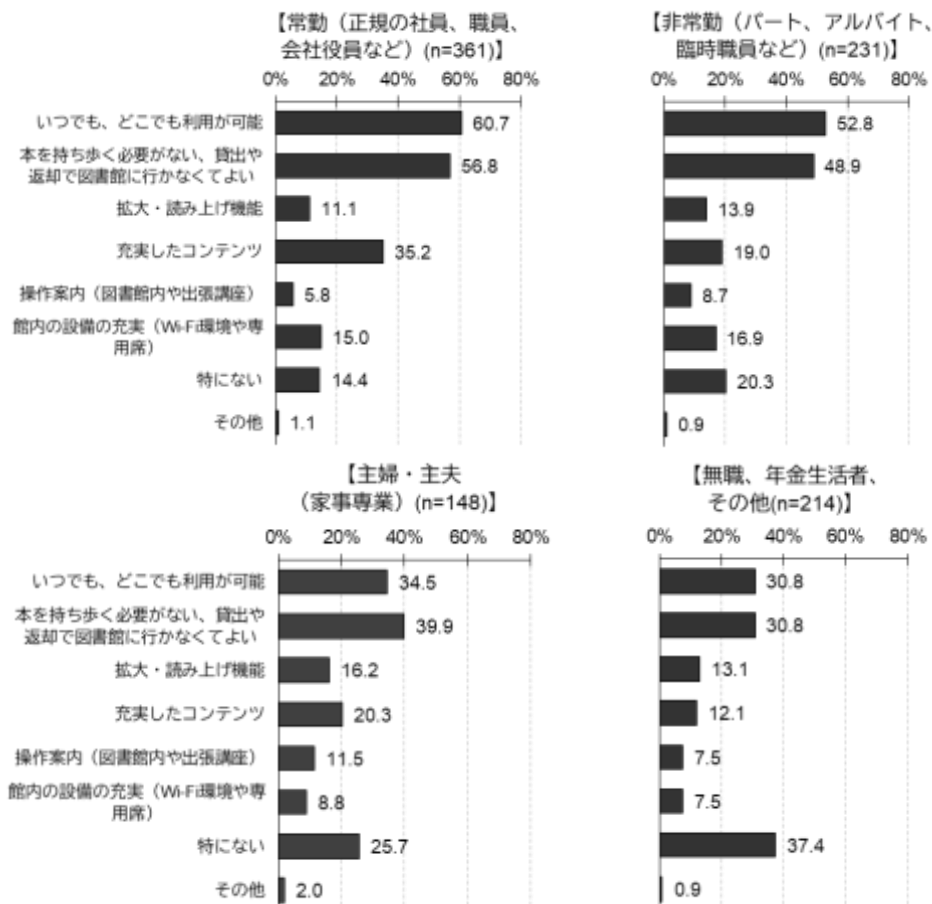
「いつでも、どこでも利用が可能」が49.1%と最も高く、次いで「本を持ち歩く必要がない、貸出や返却で図書館に行かなくてよい」が46.6%、「充実したコンテンツ」が24.6%、「館内の設備の充実 (Wi-Fi 環境や専用席)」が13.9%となっています。「特にない」は22.0%となっています。

就業状況別にみると、「いつでも、どこでも利用が可能」、「本を持ち歩く必要がない、貸出や返却で図書館に行かなくてよい」は「常勤」、「非常勤」で特に高くなっています。

町田市立図書館の電子書籍サービスに求めること



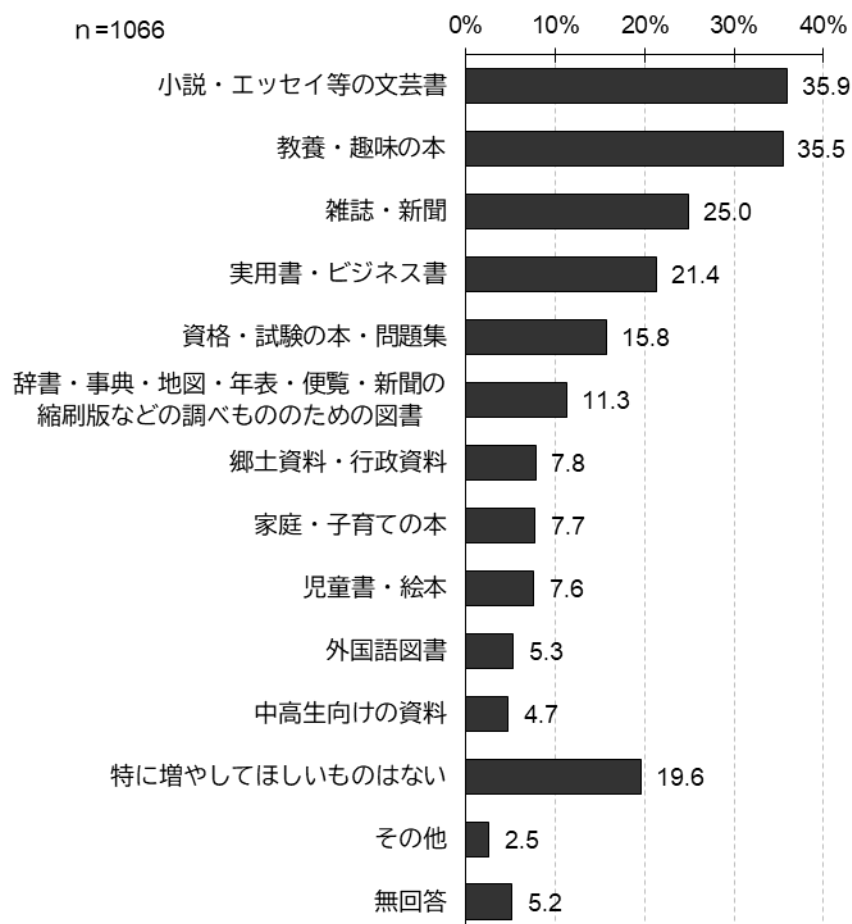
就業状況別 町田市立図書館の電子書籍サービスに求めること



問 38 あなたが町田市立図書館の電子書籍であったらいいと思う資料は何ですか。(複数回答)

「小説・エッセイ等の文芸書」が 35.9%と最も高く、次いで「教養・趣味の本」が 35.5%、「雑誌・新聞」が 25.0%、「実用書・ビジネス書」が 21.4%となっています。また、「特に増やしてほしいものはない」は 19.6%となっています。

町田市立図書館の電子書籍サービスに求める資料



最後に生涯学習と図書館のことについておうかがいします

問 39 町田市の生涯学習や図書館に対するご意見等がありましたらご記入ください。

生涯学習と図書館のことについて、自由記述欄への記入については、327 人の方から 364 件のご意見を寄せていただきました。意見の内容を分類し、代表的な意見を抜粋して記載すると以下のとおりです。

町田市の生涯学習や図書館に対する主な意見（抜粋）

分類	件数
1. 生涯学習について	39
<ul style="list-style-type: none"> ・若いうちから参加できる生涯学習ができる環境がほしい。 ・生涯学習について、若い人からお年寄りまで、様々な年代の人が学べるものがあってほしい。（「年代の上の人が学ぶものというイメージがあるので。」） ・生涯学習ですが、地域の人材を活用して、地域の自然教育に小学生の頃から力を入れてほしい。地域の良さを認識させる機会を多く作ってほしい。 ・高齢化が進み、ひとり暮らしの人たちが生涯学習を通じて趣味に出合ったり、楽しみが増えるような社会になるとよいと思う。そのために、市民ひとりひとりが何をしていくのか、ポストに投函など、目にふれる機会を増やし、気軽に参加できる工夫も必要だと思う。 ・仕事が忙しく、近所の図書館をたまに利用することしかできないが、仕事をリタイアした時に、今よりもっと利用したいと思っており、生涯学習も気になります。その頃には、いろいろと充実しているとうれしいので、少しでも利用していきたいと思えます。 	

分類	件数
2. 図書館について	
(1) 図書館の利用について	54
<ul style="list-style-type: none"> ・町田市に住もうと思ったのは充実した図書館があったから。サービスもよく職員の皆様もよくして下さいます。今の良さを保てるよう、より一層の努力を。 ・デジタルが増える中、紙の書籍は減少していくかもしれませんが、やはり紙の本は必要だと思います。また図書館に行けば予想もしなかった本に出合えることもあり、大切な場所だと思います。 ・本は読みたいと思ったときに読めるうれしさがあるので、どうしても購入してしまいます。図書館へ返す手間が面倒なので、購入してしまう。 	

分類	件数
2. 図書館について	
(2) 図書館の資料について	29
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年更新されていく雑誌・書籍などは、図書館としてどのくらいの頻度で更新していくのか明記していただきたい。大学の図書館と連携などがあるとうれしい。町田市は多くの大学があるので、連携できると選べる図書の数が増える。 ・これから町田市も老人が増えると思いますが、老人に関する書籍（生き方、生活、病気関係）の本を増やして欲しいです。 ・新刊の数を増やして欲しいと思う。活字離れを防ぐ為に、努力すべきだと思う。 	
(3) 図書館のサービスについて	44
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館で本の検索をするとき、操作しづらいので、もっと使いやすくしてほしいです。 ・コミュニティセンターの窓口で借りたい本等の申し込み、返却ができるようになると、高齢者の利用が増え、もっと身近になると思います。 ・平日学校帰りだと図書館がしまっていて利用できないので、もう少し遅くまで利用できる日を作してほしい。 	
(4) 図書館の館内設備について	25
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館に対して、閲覧用の机・席を今以上に充実してほしい。持ち込みの勉強等も可能なスペースを増やすことで、今まで図書館を訪れなかった層の人達も利用するようになると思う。 ・イスの数をもっと増設していただきたいと思います。かなりの人が座れずに、困っております。 ・自分が受験生だったとき、軽い相談ができる自習スペースの確保に苦勞したので、有料でもいいので、相談可の自習スペースを用意してほしいです。 	
(5) 電子書籍について	34
<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットがあたりまえになっている世の中、なかなか、本を手にとったり、持ち歩いたりする機会がないので、電子書籍サービスが導入されるのを楽しみにしている。 ・コロナ禍で本も消毒、除菌してあげればと思う。多くの人が利用するので、不安があった。なので、電子書籍を利用したい。 ・電子書籍の導入について賛成ですが、これまで通り、紙の本も残していただきたいです。 	
(6) 移動図書館について	12
<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館が近所の公園に来た時に、サービスの様子を拝見したが、とても良いサービスだと感じた。車に本があるワクワク感とか、小さい子にとってはとても楽しいイベントになっていると思った。小さい子のいる家庭向けに是非続けてほしい。 ・そよかぜ号を自宅近くの公園に、土・日・祝などに来ていただきたいです。未就学児にも本にふれあう機会を多く作りたいと思っています。 ・移動図書館の本が古いので新しい本に替えてほしい。 	

分類	件数
2. 図書館について	
(7) 図書館の配置などについて	41
<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館は駅から遠く、利用しづらいです。子育て世代ですが、ベビーカーで行ってみようと思う場所ではありません。せめて町田センタービル内であれば、駅からのアクセスも良く、生涯学習センターもあり、利用しやすいと思います。 ・南町田地域にも、大きめの図書館があるといいなと思います。 ・移動図書館や小規模の図書館を増やすより、数は減らしても、ある程度大きな図書館を充実させた方が、利用者にとって使いやすいと思います。 	

分類	件数
3. 広報や情報提供について	23
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の機会をいただき、考えるきっかけを作ってもらえて助かった。町田市に来て日は浅いが、あまり生涯学習や図書館に関する取組がわかるものを目にしたことがなかったので、目につきやすいところに広報していただき、知る機会・考えるきっかけをいただきたい。 ・町田市に引っ越して数年たちますが、市内の施設をほとんど利用していませんでした。人生を豊かにするためにも、施設などをもっと利用していきたいと感じました。ただ、各施設の特長や、こういったイベントをやっているか等の情報が全くありませんでした。もう少し地域の住民に周知するようにPRに力を入れてもらえればと思います。 ・市の発信する情報は、自分から拾いに行かないとわからない状態。アプリなどに登録し、ポップアップなどでほしい情報が得られると、活用しやすいのではと思う。 ・インターネットホームページによる情報の提供をより充実してほしい。内容の更新、メニューの構成など。例えば検索結果画面は種別の画像カラム幅が無駄、タイトル・著者を優先してほしい。テーマ資料紹介ページのテーマ名の説明が不親切。リンク→リンクでなく、各テーマ名からドロップダウンなどにしてほしい。 ・生涯学習センターは近所なので利用したいと思っていますが、行動に移すには、情報が足りない気がします。実際に、受付に行って、資料や内容を調べてみましたが、あと一步踏み出すには、何かが足りなくて、ためらってしまいました。 	

分類	件数
4. アンケート調査について	17
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の場所を今回のアンケートで調べ、どこにあるか知ることができた。 ・町田に居住し4年が経過しましたが、なかなか図書館に行くことができずにいましたが、このアンケートを機に足を運びたいと思います。生涯学習や図書館のイベント情報を手軽に入手できたらよいと思います。これをきっかけに、町田のことをもっと知れたらと思いました。 ・このアンケートのお陰で自分のことを見つめ直す機会になり、本も読んでないことに気づきました。本を読んで知識を身につけたいと思います。 ・QRコードでアンケートを答えられるようにしたら、集計作業も減ってよいのではないかと思います。ただ、スマートフォンを使えない方もいると思うので、紙のアンケートも残した方が、回答率も上がりそうです。 ・このアンケートですが、メール等の配信で簡易的に済ます形でよいかと思います。紙の使用を減らし、労力も減らせるため。 	

分類	件数
5. その他	46
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍になってからというもの、図書館へ足を運ぶことが全くなくなってしまいました。以前は本を読んだり勉強しに行ったり、ひまつぶしに行ったりと気軽に利用していたのですが。また行けるような世の中になってほしいです。 ・コロナが流行ってここ2～3年、興味がなくなり、意欲もなくなり、行動範囲も狭まり、町田まで出ることがなくなっています。コロナがなくなったら、その時には生涯学習も利用したいと思います。 ・本の寄付を推進したらいいのでは。 ・自分を高めるために、充実した日々を過ごすためにも、勉強したいと思っていますが、人と接することが面倒くさいと思う自分もいます。勇気を持って一步を踏み出すことが大事とはわかっているのですが。 	

町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査

～アンケート調査へのご協力のお願い～

日ごろより、町田市教育委員会の取組にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

町田市教育委員会では、市民の皆様が、生涯にわたって学習が「しやすい」環境づくりを推進しております。そのため、学習施設のあり方や学習活動の支援に関する方針の検討を行うにあたって、皆様の率直なご意見をお寄せいただき、その結果を参考にしていきたいと考えております。アンケート前半の設問で皆様の生涯学習活動のほか、関わりがある項目として市民活動などをおうかがいし、後半の設問では図書館に関することをおうかがいします。

このアンケート調査の対象として、市内にお住まいの3,000人の方を無作為に選びましたところ、あなたに回答をお願いすることとなりました。お答えいただいた内容は、無記名の調査票のみ統計的に処理するため、記入者が特定されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2022年9月

町田市教育長 坂本 修一

～ご記入にあたってのお願い～

- アンケートのご回答は、封筒の宛名のご本人がお答えください。
※ご本人が手のけが・不自由・介護・寝たきりなどで調査票の記入ができない場合には、ご本人の意見を尊重したうえで、ご家族や知り合いの方などが代筆していただいても問題ございません。
- 回答は、あてはまる番号や欄に○をつけていただく形式としています。
設問ごとに「1つ」や「3つ以内」、「すべて」等、「○」の数を指定しています。
指定数よりも「○」の数が多い場合、集計上無効となってしまいますので、お気をつけください。
- 回答に迷う場合は、あなたの考えにできるだけ近いものをお選びください。
- 「その他」の（ ）内には、ご意見を具体的にお書きください。
- 設問によって、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

ご記入がおわりましたら、本調査票を同封のアンケート返信用封筒に入れて

2022年9月21日（水）までに

お近くのポストへご投函ください。（切手を貼る必要はございません。）

○調査についてのお問い合わせは下記へお願いします。

【お問い合わせ先】

町田市役所 生涯学習部 生涯学習総務課【電話：042-724-2181（直通）】

【ファックス：050-3161-9866】

図書館 企画・地域支援係【電話：042-728-8220（直通）】

【ファックス：042-729-6160】

あなた自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

1. 15～19歳	5. 35～39歳	9. 55～59歳
2. 20～24歳	6. 40～44歳	10. 60～64歳
3. 25～29歳	7. 45～49歳	11. 65～69歳
4. 30～34歳	8. 50～54歳	12. 70歳以上

問3 あなたの就業状況は次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

1. 常勤（正規の社員、職員、会社役員など）	5. 短大生、大学生、専門学校生、その他の学生
2. 非常勤（パート、アルバイト、臨時職員など）	6. 主婦・主夫（家事専業）
3. 農業、林業などの自営業	7. 無職、年金生活者、その他
4. 商業、工業、サービス業、その他の自営業	

問4 あなたの家族構成は次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

1. ひとり暮らし	4. 三世代世帯（親と子と孫）
2. 夫婦だけ	5. その他
3. 二世代世帯（親と子）	()

問5 あなたは、町田市に住んで何年になりますか。(〇は1つ)

1. 1年未満	4. 10年以上20年未満
2. 1年以上5年未満	5. 20年以上
3. 5年以上10年未満	

問6 あなたのお住まいの郵便番号をお答えください。

□	□	□	—	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

ここからは生涯学習のことについておうかがいします

※「生涯学習」とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます。(文部科学省：文部科学白書より)

問7 あなたは「生涯学習活動」について関心がありますか。 (〇は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある | 3. どちらかという、関心がない |
| 2. どちらかという、関心がある | 4. 関心がない |

問8 あなたは、日常的に情報はどこから得ていますか。 (〇は3つ以内)

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1. Twitter | 7. インターネット | 13. 書籍 |
| 2. Facebook | 8. 雑誌 | 14. 知人等に聞く |
| 3. Instagram | 9. 新聞 | 15. 図書館で調べる |
| 4. LINE | 10. 広報誌 | 16. その他 |
| 5. You Tube | 11. ラジオ | (具体的に:) |
| 6. その他のSNS | 12. テレビ | |

知識や技能の習得についておうかがいします

問9 あなたは、この1年間に次に挙げる知識や技能を習得する機会がありましたか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 資格の取得や仕事上の知識・技能に関する
こと | 9. スポーツ、アウトドアに関する
こと |
| 2. 市民活動や地域活動に必要な知識・技能に
関すること | 10. 子育て・教育に関する
こと |
| 3. 社会情勢や政治・経済に関する
こと | 11. 介護等の福祉に関する
こと |
| 4. パソコン、インターネット、携帯端末に
関すること | 12. 家庭生活に関する
こと(料理、日曜大工など) |
| 5. 人間関係や組織づくりに必要な知識・技能
に関する
こと | 13. 地域の歴史に関する
こと |
| 6. 行政の取組や市民参加に関する
こと | 14. プログラミング、アプリ・ゲーム作成に
関すること |
| 7. 趣味、けいこ事、教養に関する
こと | 15. その他(具体的に:) |
| 8. 健康に関する
こと(医学、健康学など) | 16. 機会がなかった →問10へ |

↓
問9-1へ

問9で「1」～「15」を選んだ方におうかがいします。

問9-1 あなたは、その知識や技能をどこで習得しましたか。 (〇はいくつでも)

1. 大学の公開講座	6. 地域活動を通じて
2. 市の施設での講座	7. 市民活動を通じて
3. カルチャーセンター	8. 学習グループに参加して
4. 通信教育	9. その他
5. 自習して	(具体的に:)

すべての方におうかがいします。

問10 あなたは、必要とする知識や技能を十分に習得することができますか。 (〇は1つ)

1. できている	2. できていない
----------	-----------

問11 あなたは今後、どのような知識や技能を習得したいと思いますか。 (〇はいくつでも)

1. 資格の取得や仕事上の知識・技能に関する こと	9. スポーツ、アウトドアに関する こと
2. 市民活動や地域活動に必要な知識・技能に 関すること	10. 子育て・教育に関する こと
3. 社会情勢や政治・経済に関する こと	11. 介護等の福祉に関する こと
4. パソコン、インターネット、携帯端末に 関すること	12. 家庭生活に関する こと(料理、日曜大工など)
5. 人間関係や組織づくりに必要な知識・技能 に関する こと	13. 地域の歴史に関する こと
6. 行政の取組や市民参加に関する こと	14. プログラミング、アプリ・ゲーム作成に 関 すること
7. 趣味、けいこ事、教養に関する こと	15. その他(具体的に:)
8. 健康に関する こと(医学、健康学など)	16. 特に習得したいとは思わない

市民活動及び地域活動についておうかがいします

問12 あなたはこの1年間に、町内会や自治会・子ども会・老人クラブ等の地域活動に参加されましたか。
(〇はいくつでも)

1. 地域の運動会やお祭りなど	6. 総会に参加
2. 地域の清掃や廃品回収など	7. その他
3. 防犯パトロールや防災訓練	(具体的に：)
4. 子ども会や老人クラブなど	8. 参加しなかった
5. 役員としての活動	

問13 あなたはこの1年間に、次のボランティアやNPOなどの市民活動に参加されましたか。
(〇はいくつでも)

1. 子どもの教育、子育て支援など	7. 他の人や団体の活動支援
2. 公園や緑地、町並みづくりなど	8. 被災地への支援
3. 高齢者福祉、介護など	9. 学習やスポーツ、文化活動の支援・指導
4. 交通安全や防犯、防災などの地域安全	10. その他
5. 保健、医療、高齢者以外の福祉など	(具体的に：)
6. 国際交流	11. 参加しなかった

問14 あなたは今後、どのような地域活動・市民活動に参加したいですか。(〇はいくつでも)

1. 子ども会や老人クラブなど町内会・自治会の行事・イベント	8. 他の人や団体の活動支援
2. 地域の清掃や廃品回収など	9. 学習やスポーツ、文化活動の支援・指導
3. 交通安全や防犯パトロール、防災訓練など地域安全	10. パソコン、携帯端末、インターネットなどの利用支援・指導
4. 子どもの教育、子育て支援など	11. その他
5. 公園や緑地、町並みづくりなど	(具体的に：)
6. 保健、医療、福祉、介護など	12. 参加したくない
7. 国際交流	

生涯学習における市の取組についておうかがいします

問15 あなたは、町田市内にある次の施設や施設が提供するサービスを知っていますか。また、この1年間に利用したことはありますか。(①～⑧のそれぞれ○は1つ)

	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない
①図書館	1	2	3
②町田市民文学館ことばらんど	1	2	3
③生涯学習センター	1	2	3
④自由民権資料館	1	2	3
⑤考古資料室	1	2	3
⑥町田デジタルミュージアム(※)	1	2	3
⑦三輪の森ビジターセンター郷土資料展示室	1	2	3
⑧国際版画美術館	1	2	3

※町田デジタルミュージアムとは、町田市が所蔵する考古、歴史、民俗資料をデジタル化し、インターネット上で閲覧できるようにした仕組みのことです。

問16 あなたは、学習講座やイベント、展覧会などに参加する際、重視するのはどのような点ですか。(○は3つまで)

1. 興味や関心があることについてじっくり学べる	7. 家族や友人等と一緒に参加できる
2. 短時間で効率的に習得したい知識や技能を身につけることができる	8. ほかでは見ることができない資料等を見ることができる
3. 仲間ができる	9. お金がかからない
4. 学んだことを活かす機会がある	10. その他
5. 身近な場所に会場がある	(具体的に：)
6. 魅力的な講師・指導者がいる	11. 参加したいと思わない



生涯学習センターのキャラクター
「マニャミン」と「マナブゥ」



ことばらんどのキャラクター
「ことくん」と「らんちゃん」

地域の歴史についておうかがいします

問17 あなたは町田市の歴史を後世へ伝える必要があると思いますか。 (〇は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 思う | 3. どちらかという、思わない |
| 2. どちらかという、思う | 4. 思わない |

問18 あなたは町田市の歴史を知る手段として以下のどれが必要だと思いますか。 (〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|---------------------|
| 1. 自由民権資料館・考古資料室・三輪の森ビジターセンターでの資料展示 | 4. インターネットでの歴史情報の発信 |
| 2. 市民センターや学校など身近な施設での資料展示 | 5. 歴史に関する講座 |
| 3. 歴史に関する図書・印刷物 | 6. その他(具体的に:) |

問19 あなたは、町田市内にある次の文化財を知っていますか。 (〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 旧永井家住宅・旧荻野家住宅(薬師池公園内) | 7. 獅子舞・お囃子(金井町、相原町、矢部町、小山町) |
| 2. 村野常右衛門生家(野津田公園内) | 8. 中空土偶頭部(通称:まっくう) |
| 3. 高ヶ坂石器時代遺跡(高ヶ坂) | 9. その他 |
| 4. 田端環状積石遺構(小山町) | (具体的に:) |
| 5. 本町田遺跡公園(本町田) | 10. 知っている文化財はない |
| 6. 白洲次郎・正子旧宅(武相荘・能ヶ谷) | |



まちだ縄文キャラクター
「まっくう」



自由民権資料館のキャラクター
「民民(みんみん)」と「民犬(みんけん)」

ここからは図書館のことについておうかがいします

問20 あなたは、本をどれぐらいの頻度で読みますか。 (○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 1週間に1冊以上 | 3. 2～3か月に1冊以上 |
| 2. 月に1冊以上 | 4. ほとんど読まない |

問21 あなたは、この1年間、町田市立図書館のサービスを利用しましたか。 (○は1つ)

- | | |
|---------|---------------------|
| 1. 利用した | 2. 利用していない → 問21-2へ |
|---------|---------------------|

問21で「1」を選んだ方におうかがいします。

問21-1 主にどこで利用しましたか。 (○は3つ以内)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. 中央図書館 | 7. 鶴川駅前図書館 |
| 2. さるびあ図書館 | 8. 忠生図書館 |
| 3. 鶴川図書館 | 9. 移動図書館（そよかぜ号） |
| 4. 金森図書館 | 10. 町田市民文学館ことばらんど |
| 5. 木曾山崎図書館 | 11. 予約資料の受渡し場所（※） |
| 6. 堺図書館 | |

※受渡し場所：小山市民センター、南町田駅前連絡所、子どもセンターぱお分館、成瀬コミュニティセンター、玉川学園駅前連絡所

問21で「2」を選んだ方におうかがいします。

問21-2 なぜ、図書館を利用されなかったのですか。 (○はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. 本や図書館のサービスに興味がない | 8. 子どもを連れて行きにくい |
| 2. 本は購入している | 9. 本を読む場所や気軽に過ごせる場所が少ない |
| 3. 日々の仕事や生活が忙しく時間的な余裕がない | 10. 駐車場がない、または少ない |
| 4. 自宅（勤務先等）から遠くにあるため、行くのが大変 | 11. 町田市立図書館以外の図書館等（地域文庫・他市・大学等）を利用している |
| 5. 利用したい時間帯に図書館が開いていない | 12. 高齢や病気のため図書館に行けない |
| 6. 読みたい本が図書館に置いていない、または順番待ちのためすぐ借りることができない | 13. その他 |
| 7. インターネットなどで、必要な情報が得られる | （具体的に：) |

すべての方におうかがいします。

問22 あなたが思う町田市立図書館の好きなところは、どんなところですか。 (〇はいくつでも)

1. 色々なジャンルの本・新聞等がある	9. セルフ予約受取コーナー（一部の館）がある
2. 聴きたいCD・DVDがある	10. セルフ貸出機がある
3. 読みたいマンガがある	11. おはなし会やイベントがある
4. 本を読む場所や気軽に過ごせる場所がある	12. 利用できる時間帯に図書館が開いている
5. 普段自分が読まない本と出合える	13. 職員の対応が良い
6. 居心地が良い	14. 好きなおところは無い（興味がない）
7. 移動図書館（そよかぜ号）が利用できる	15. その他
8. Wi-Fiサービス（一部の館）がある	(具体的に：)

問23 あなたが思う町田市立図書館の嫌いなおところは、どんなところですか。 (〇はいくつでも)

1. 読みたい本・新聞等がない	9. Wi-Fiサービスがない
2. 聴きたいCD・DVDがない	10. セルフ予約受取コーナーがない
3. 読みたいマンガがない	11. おはなし会やイベントが少ない
4. 本を読む場所や気軽に過ごせる場所がない	12. 職員の対応が良くない・話しかけづらい
5. 居心地が悪い	13. 嫌いなおところは無い
6. 本を返却期限までに返すこと	14. その他
7. 電子書籍サービスがない	(具体的に：)
8. 本が古い	

問24 あなたの生活で、図書館は必要だと思いませんか。 (〇は1つ)

1. 必要だと思ふ	4. 必要だと思わない
2. どちらかというとお必要だと思ふ	5. わからない、どちらでもない
3. あまり必要だと思わない	

問25 あなたは、図書館が行っているサービスについてどの程度知っていますか。また、利用したことがありますか。
(①～⑪のそれぞれ○は1つ)

	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない
①レファレンスサービス（職員への調べもの相談）	1	2	3
②予約資料の受渡しサービス（図書館以外の施設での予約資料受渡し・返却）	1	2	3
③移動図書館（そよかぜ号）	1	2	3
④他市（※）との相互利用	1	2	3
⑤リクエストサービス（資料がない、または貸出中のときは「リクエスト（予約）」ができる）	1	2	3
⑥障がい者サービス（宅配サービス、対面朗読など）	1	2	3
⑦児童サービス（おはなし会、ブックトークなど）	1	2	3
⑧ヤングアダルト（YA）サービス（中高生向けコーナー、本の紹介など）	1	2	3
⑨視聴覚資料（CD・DVD）の貸出	1	2	3
⑩図書館ホームページ	1	2	3
⑪図書館Twitter	1	2	3

※相模原市・八王子市・府中市・調布市・日野市・多摩市・稲城市・川崎市・大和市・横浜市

図書館の現状と今後についておうかがいします

～移動図書館「そよかぜ号」～

現在、移動図書館「そよかぜ号」が3台で、図書館から離れた場所（市内60か所）へ、2週間に1回平日に巡回しています。各巡回場所では、30分から50分の間停車して、本の貸出や返却などを行っています。

問26 あなたが、移動図書館の今後の取組として効果的だと思うものは何ですか。（○は3つ以内）

1. 土・日曜日に巡回する	7. 高齢者施設に訪れる
2. サービスポイント（巡回場所）を増やす	8. イベントなどの会場に訪れる
3. 巡回の頻度を増やす	9. 特にない
4. 1か所にいる滞在時間を長くする	10. その他
5. 保育園・幼稚園等に訪れる	（具体的に： _____ ）
6. 公立小・中学校に訪れる	

問27 移動図書館の巡回頻度・滞在時間についてあなたの考えをおうかがいします。

①巡回頻度（2週間に1回）

（○は1つ）

1. 今よりも短い巡回間隔がよい	3. 今よりも長い巡回間隔がよい
2. 今の巡回間隔のままでよい	4. わからない

②滞在時間（30分から50分）

（○は1つ）

1. 今よりも短い滞在時間がよい	3. 今よりも長い滞在時間がよい
2. 今の滞在時間のままでよい	4. わからない

問28 図書館から離れた場所にお住まいの方に対して、移動図書館と予約資料の受渡し場所では、どちらが効果的なサービスだと考えますか。（○は1つ）

1. 移動図書館
2. 予約資料の受渡し場所
3. わからない、どちらでもない

問29 今後、図書館で拡充してもらいたいことや、取り入れてもらいたいことは何ですか。（○は3つ以内）

1. 資料の充実	9. 図書館ホームページやTwitterなどによる情報提供
2. レファレンスサービス、おすすめ資料の紹介などの情報提供・発信	10. Wi-Fiが使える施設環境
3. 子どもの読書活動の充実	11. 静かに本を読んだり、過ごしたりできる場所
4. 講座・講演会などのイベント	12. 子どもから大人まで会話しながら過ごせる場所
5. 電子書籍・地域資料のデジタル化などのインターネット活用	13. 障がい者サービスの充実
6. コミュニティづくりの支援や地域住民の交流などの支援	14. 外国語資料の充実
7. 子どもを連れて利用しやすい施設環境	15. その他
8. ヤングアダルト（YA）サービス（中高生向けコーナー、本の紹介など）	（具体的に：)

問30 今後、充実してもらいたい蔵書・資料は何ですか。

(○は3つ以内)

1. 小説・エッセイ等の文芸書	9. 児童書・絵本
2. 雑誌・新聞	10. 中高生向けの資料
3. 実用書・ビジネス書	11. マンガ
4. 家庭・子育ての本	12. 視聴覚資料 (CD・DVD)
5. 教養・趣味の本	13. 視聴覚障がい者用の音訳資料や点字資料
6. 外国語図書	14. 大活字本
7. 辞書・事典・地図・年表・便覧・新聞の縮刷版などの調べものための図書	15. 特に増やしてほしいものはない
8. 郷土資料・行政資料	16. その他 (具体的に:)

問31 あなたが図書館を利用したい曜日と時間帯はいつですか。(下記の選択肢は、現在の開館曜日・時間とは異なります。)

①曜日

(○は1つ)

1. 月曜日	3. 水曜日	5. 金曜日	7. 日曜日
2. 火曜日	4. 木曜日	6. 土曜日	8. 特にない

②時間帯

(○は1つ)

1. 9時~10時	4. 15時~17時	7. 20時~21時
2. 10時~12時	5. 17時~19時	8. 特にない
3. 12時~15時	6. 19時~20時	

問32 あなたがやってみたいと思うボランティア活動の内容を教えてください。(○はいくつでも)

1. 本の返却や本棚の整理	7. 図書館内外の飾りつけ (植栽などを含む)
2. 本の修理	8. 図書館広報誌の取材・編集
3. 図書館内のガイド	9. 図書の推薦や紹介
4. 絵本などの読み聞かせ	10. 視覚障がい者のための点字図書・録音図書製作
5. イベントの企画・運営	11. やってみたいボランティア活動はない
6. 図書などの資料の宅配	12. その他 (具体的に:)

図書館のデジタル化についておうかがいします

問33 情報通信機器の利用についておうかがいします。あなたは、スマートフォンやタブレットを利用していますか。 (〇は1つ)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. よく利用している | 3. ほとんど利用していない |
| 2. 時々利用している | 4. 利用していない |

問34 あなたは、インターネットを利用していますか。 (〇は1つ)

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない → 問34-2へ |
|-----------|---------------------|

問34で「1」を選んだ方におうかがいします。

問34-1 あなたは、主に何を利用して閲覧していますか。 (〇は1つ)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. スマートフォン | 3. パソコン |
| 2. タブレット | 4. その他 (具体的に:) |

問34で「2」を選んだ方におうかがいします。

問34-2 なぜ、「利用していない」のですか。 (〇は1つ)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. スマートフォン・パソコン等を持っていないから | 5. 利用するのに料金がかかるから |
| 2. インターネットに興味がない、必要性を感じない | 6. その他 |
| 3. インターネットが信用できない、怖い | (具体的に:) |
| 4. 利用したいが利用方法がわからない | |

すべての方におうかがいします。

問35 あなたは、電子書籍 (※) を知っていますか。また、利用したことはありますか。 (〇は1つ)

- | |
|---------------------|
| 1. 利用したことがある |
| 2. 知っているが、利用したことはない |
| 3. 知らないし、利用したこともない |

※ここでいう電子書籍には、新聞・雑誌を含みます (マンガは除く)。

問35で「1」を選んだ方におうかがいします。

問35-1 電子書籍をどれぐらいの頻度で読みますか。 (〇は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 1週間に1冊以上 | 3. 2~3か月に1冊以上 |
| 2. 月に1冊以上 | 4. ほとんど読まない |

すべての方におうかがいします。

問36 町田市立図書館では、電子書籍サービスを導入予定ですが利用してみたいですか。(○は1つ)

1. 利用してみたい
2. 特に利用したいとは思わない
3. 電子書籍の使い方を教えてくれるなら、利用してみたい
4. 電子書籍のことがよくわからないので、何とも言えない

問37 あなたが町田市立図書館の電子書籍サービスに求めることは何ですか。(○は3つ以内)

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. いつでも、どこでも利用が可能 | 5. 操作案内(図書館内や出張講座) |
| 2. 本を持ち歩く必要がない、貸出や返却で図書館に行かなくてよい | 6. 館内の設備の充実(Wi-Fi環境や専用席) |
| 3. 拡大・読み上げ機能 | 7. 特にない |
| 4. 充実したコンテンツ | 8. その他(具体的に:) |

問38 あなたが町田市立図書館の電子書籍であつたらいいと思う資料は何ですか。(○は3つ以内)

- | | |
|--------------------------------------|--------------------|
| 1. 小説・エッセイ等の文芸書 | 8. 郷土資料・行政資料 |
| 2. 雑誌・新聞 | 9. 児童書・絵本 |
| 3. 実用書・ビジネス書 | 10. 中高生向けの資料 |
| 4. 家庭・子育ての本 | 11. 資格・試験の本・問題集 |
| 5. 教養・趣味の本 | 12. 特に増やしてほしいものはない |
| 6. 外国語図書 | 13. その他 |
| 7. 辞書・事典・地図・年表・便覧・新聞の縮刷版などの調べものための図書 | (具体的に:) |



町田市立図書館のキャラクター
「よむぼん」

町田市生涯学習及び図書館に関する市民意識調査
結果報告書

2023（令和5）年2月発行

【発行】町田市生涯学習部生涯学習総務課

〒194-8520 町田市森野2-2-22

電話 042（724）2181

刊行物番号 22—103

町田市内
閲覧のみ
可能施設

町田市には、本を閲覧できる施設があります。
マップを使って、新しい本との出会いを探してみませんか。



番号	施設名	掲載施設住所	電話番号	蔵書数
26	かしの木山自然公園森の家	西成瀬3-9	042-724-1660	約200冊
27	市立総合体育館	南成瀬5-12	042-724-3440	約60冊
28	忠生がにやら自然館	山崎町1804-1	042-792-1326	約900冊
29	町田薬師池公園四季彩の杜 西園ライブラリー・ラウンジ	本町田3105	042-851-8942	約300冊
30	小山子どもクラブ	小山町1165-3	042-794-8033	約1,000冊
31	木曽子どもクラブ	木曽東1-6-40	042-729-2260	約900冊
32	玉川学園子どもクラブ ころころ児童館	玉川学園3-35-45	042-710-1475	約1,200冊
33	南大谷子どもクラブ	南大谷264 都営4号棟1F	042-739-6791	約1,000冊
34	南町田子どもクラブ	鶴間3-1-4 パークライフ棟	042-850-6035	約1,000冊
35	三輪子どもクラブ	三輪緑山3-25-2	044-299-6307	約1,300冊
36	子どもセンターただON	忠生1-11-1	042-794-6722	約800冊
37	子どもセンターつるっこ	大蔵町1913	042-708-0236	約1,100冊
38	子どもセンターばあん	金森4-5-7	042-788-4181	約2,500冊
39	子どもセンターぱお	相原町2025-2	042-775-5258	約1,900冊
40	子どもセンターぱお分館	小山ヶ丘4-1-13 ゲートヒルズ多摩境 パークフロント3F	042-770-5057	約1,500冊
41	子どもセンターまあち	中町1-31-22	042-794-7360	約200冊
42	市政情報課	森野2-2-22	042-724-8407	約300冊
43	自由民権資料館	野津田町897	042-734-4508	約28,000冊
44	生涯学習センター	原町田6-8-1	042-728-0071	約300冊
45	ここまちベース (町田第一中学校図書室) ※初回利用時に登録が必要。利用にあたって は利用者カード、室内履きを持参。	中町1-27-5	042-728-0071 (生涯学習センター)	約15,600冊

公園等

子どもセンター・子どもクラブ

その他の市の施設

※ 30 ~ 41 は、0~18歳までの子どもとその保護者が対象。

発行者: 町田市立図書館
住所: 東京都町田市原町田3-2-9
電話: 042-728-8220
発行年月: 2023年3月
この印刷物は、3000部作成し、1部あたりの単価は137円です。(職員人件費を含みます)。

町田で出会う、
本との出会い。



町田市 読書MAP 2023

町田市で本と出会える
施設一覧MAP



町田市立図書館ホームページ

町田市読書MAP2023
Web版はこちらから!



掲載内容は原則として2023年2月1日現在で編集しています。

図書館・文学館

46 中央図書館

- 開** 火・水・金 10:00~20:00(祝休日を除く)
木・土・日・祝 10:00~17:00
- 蔵** 約536,000冊
(視聴覚資料は約38,000点)
- TEL** 042-728-8220
- 住** 原町田3-2-9
- アクセス** <徒歩>
JR町田駅ターミナル改札口から徒歩2分
- 特** 1990年に開館した、市内最大規模の図書館です。館内には、一般書・文学書・児童書・ヤングアダルト・視聴覚・障がい者・地域資料・レファレンス等のコーナーがある他、読書室やホール等の施設も備えています。



47 さるびあ図書館

- 開** 火・水・金 10:00~18:00(祝休日を除く)
木・土・日・祝 10:00~17:00
- 蔵** 約133,000冊
- TEL** 042-722-3768
- 住** 中町2-13-23
- アクセス** <徒歩>
小田急線町田駅北口から徒歩15分
- 特** 1970年に開館し、中央図書館ができる前までは、本館として機能していた図書館です。移動図書館そよかぜ号の南の拠点として2台を保有し運行しているほか、軽自動車地域文庫や学校への配本も行っています。



48 鶴川図書館

- 開** 火・水・金 10:00~18:00(祝休日を除く)
木・土・日・祝 10:00~17:00
- 蔵** 約50,000冊
- TEL** 042-735-5691
- 住** 鶴川6-7-2(1-101)
- アクセス** <バス>
小田急線鶴川駅発：鶴川団地(センター前経由)行 センター前下車徒歩2分
- 特** 1972年に開館した鶴川団地・商店街の一角にあります。小さいながらも特集コーナーあり、新刊書コーナーあり、目に優しい大活字本ありとバラエティに富んだ資料を揃えています。駐車場が隣接し、小さなお子様連れの方や本をたくさん借りられる方にも大変便利です。



49 金森図書館

- 開** 火・水・金 10:00~18:00(祝休日を除く)
木・土・日・祝 10:00~17:00
- 蔵** 約127,000冊
- TEL** 042-710-1717
- 住** 金森東 3-5-1
- アクセス** <バス>
町田バスターミナル発：町82~88系統市営住宅入口下車徒歩10分 <徒歩>
JR成瀬駅南口から徒歩10分
- 特** 1974年に蔵書数約2万2千冊の金森分館としてスタートし、2000年都営住宅の中に移転開館しました。近隣の方に親しんでいただいて、小学校・高校がそばにある環境の良い場所に当館があります。



50 木曾山崎図書館

- 開** 火・水・金 10:00~18:00(祝休日を除く)
木・土・日・祝 10:00~17:00
- 蔵** 約54,000冊
- TEL** 042-793-6767
- 住** 山崎町2160
- アクセス** <バス>
町田ターミナル、町田バスセンター発：山崎団地行 山崎団地センター下車徒歩1分
- 特** 1976年、大型団地と商店街の中に開館した、身近で気軽に立ち寄れる図書館です。館外にも椅子があり気軽に新聞や本が読めます。常時複数の特集コーナーを設置し「いつ来ても何かある」を目指しています。漫画も多く所蔵しています。



51 堺図書館

- 開** 火・水・金 10:00~18:00(祝休日を除く)
木・土・日・祝 10:00~17:00
- 蔵** 約68,000冊
- TEL** 042-774-2131
- 住** 相原町795-1
- アクセス** <徒歩>
JR相原駅東口から徒歩5分
- 特** 1983年に町田市の西部、自然が豊かで詩人八木重吉のふるさとでもある相原町に開館しました。堺市民センターの中にあり、小説・エッセイ・実用書・児童書などの資料を揃え、地域の皆様の本棚としてご活用いただいています。



52 鶴川駅前図書館

- 開** 月~金 9:30~20:00(第1・3月、祝日を除く)
土・日・祝 9:30~18:00
- 蔵** 約111,000冊
- TEL** 042-737-0263
- 住** 能ヶ谷1-2-1
和光大学ポブリホール鶴川2F
- アクセス** <徒歩>
小田急線鶴川駅北口から徒歩3分
- 特** 2012年にオープンした、鶴川地域の中心館です。私立鶴川図書館の資料とその蔵書の一部を再現し、展示しています。複合施設で吹抜けがあり、1F交流スペースの様子が見えたり、カフェのコーヒーが香ってきたりと、従来とは違った環境の図書館です。



53 忠生図書館

- 開** 火・水・金 10:00~18:00(祝休日を除く)
木・土・日・祝 10:00~17:00
- 蔵** 約103,000冊
- TEL** 042-792-3450
- 住** 忠生3-14-2
- アクセス** <バス>
町田バスセンター発：野津田車庫行 根岸下車徒歩2分
- 特** 2015年、忠生市民センターの建て替えに伴い同センター2階に開館しました。館内は吹抜けで明るく、生活・子育てコーナーと児童コーナーが隣接し、大人と子どもと一緒に読書を楽しめる図書館です。



54 市民文学館 ことばらんど

- 開** 文学サロン
火~日 9:00~22:00
資料閲覧室・展示室
火~日 10:00~17:00
- 蔵** 約38,000冊
- TEL** 042-739-3420
- 住** 原町田4-16-17
- アクセス** <徒歩>
JR町田駅ターミナル改札口から徒歩8分
- 特** 2006年に、文学の魅力やことばの力に出会える施設として開館しました。町田の文学資料の収集・保存をはじめ、企画展、講演会等のイベントの実施、刊行物の発行を通じて文学の魅力を発信しています。



移動図書館 『そよかぜ号』

図書館が身近にない地域へ図書館サービスを継続的に提供するために、移動図書館車(そよかぜ号)による巡回サービスを1970年から始めました。現在はさるびあ図書館から2台、堺図書館から1台で、60カ所(2023年2月現在)のサービスステーションへ2週間に1回巡回しています。巡回の日程表は図書館HPをご覧ください。



各項目の見方

- 開** 開館時間
- 蔵** 蔵書数
- TEL** 電話番号
- 住** 住所
- アクセス** アクセス
- 特** 特色

休館日	【共通】館内特別整理期間及び年末年始(12月29日~1月4日) 【鶴川駅前図書館を除く各館】 ●毎週月曜日(祝休日の場合は開館) ●毎月第2木曜日(ただし祝休日の場合は開館翌日が休館) 【鶴川駅前図書館】 NO.52をご覧ください。
	●図書・雑誌 1人10冊まで2週間(新刊雑誌は1人1冊まで1週間) ●貸出用レファレンス資料は1週間 ●視聴覚資料(CD・DVD・ビデオテープ・カセットテープ)は合わせて3点1週間、中学生以上の方が貸出可能 ※取扱いは中央図書館のみ
貸出数及び貸出期間	

図書館から

町田市には、図書館以外にも本に触れることができる施設が多数あります。「読書マップ」は、市民の方が本と触れ合うことをより身近に感じ、読書のきっかけとなるような施設を紹介しています。また、図書館は地域文庫をはじめとする、個人や団体での読書推進活動を応援しています。ここには載っていない新しい読書の推進活動や関連した施設等の情報があれば、是非図書館へご連絡ください。「読書マップ」は図書館ホームページにも掲載しております。更新内容や訂正事項は、図書館ホームページにてお知らせしますのでご確認ください。 ※現在新型コロナウイルス感染症対策により、ご利用を中止(制限)している施設等もあります。詳細につきましては、各ホームページ等でご確認ください。

地域文庫

1 おひさまぶんこ

開 第3日 14:00~16:00
 貸 2冊 1ヵ月 蔵 約1,500冊
 TEL 042-723-2884(代表:池内)
 住 玉川学園4-5-32 日本キリスト教団玉川教会内
 利 0~18歳までの子どもとその保護者

2 おひさま文庫

開 地域向け子育てひろば開催日 11:00~12:30
 貸 5冊 2週間(親子一緒につき) 蔵 約1,200冊
 TEL 042-720-8215 住 高ヶ坂7-26-6
 利 高ヶ坂ふたば保育園 子育て支援利用者
 0歳~就学前の子どもとその保護者

3 柿の木文庫

開 第3水 15:30~16:30
 第3金 10:30~12:00
 貸 5冊 次のおはなし会まで 蔵 約2,000冊
 TEL 090-1863-5174 住 大蔵町2147
 利 第3水 幼小学生とその保護者
 第3金 乳幼児とその保護者

4 かえで文庫

開 水・土 14:00~16:30
 貸 4冊 2週間 蔵 約3,500冊
 TEL 042-723-6763
 住 西成瀬2-49-1 成瀬コミュニティセンター

5 すずかけ文庫

開 月 14:00~16:00
 貸 10冊 2週間 蔵 約2,000冊
 TEL 042-796-1801 住 南つくし野1-9-17
 利 貸出には登録が必要

6 みつばち文庫

開 水 10:30~16:30
 貸 2冊 2週間 蔵 約1,500冊
 TEL 042-700-1577 住 小山町3068-1

7 玉ちゃん図書室

開 毎週水・土 10:00~16:00
 貸 5冊 1ヶ月 蔵 約3,000冊
 TEL 042-810-2062
 (玉川学園地区社会福祉協議会事務所)
 住 玉川学園5-3-7
 (玉川学園地区社会福祉協議会交流室)
 ※2023年4月1日から活動予定

まちライブラリー

8 まちライブラリー@南町田グランベリーパーク

開 月・水・木・金 11:00~19:00
 土・日・祝 11:00~18:00
 貸 2冊 2週間 蔵 約10,000冊
 住 鶴間3-1-4 南町田グランベリーパークパークライフ棟
 利 貸出には登録が必要
 大人500円、高校生以下300円

9 まちライブラリー@ウエリスオーブ町田中町

開 火・水・木・金・土 11:00~18:00
 貸 2冊 2週間 蔵 約2,700冊
 住 中町1-11-12 ウエリスオーブ町田中町(サービス付き高齢者向け住宅)カフェ内
 利 貸出には登録が必要
 現在、新型コロナウイルスの感染症対策のため、外部の方の利用を行っていません。再開については、まちライブラリーホームページをご確認ください。



町田市内
**本の貸出・閲覧
 可能施設**

蔵書点検・年末年始・祝休日・祝休日に伴う振替などでお休みの施設があります。各施設にご確認ください。

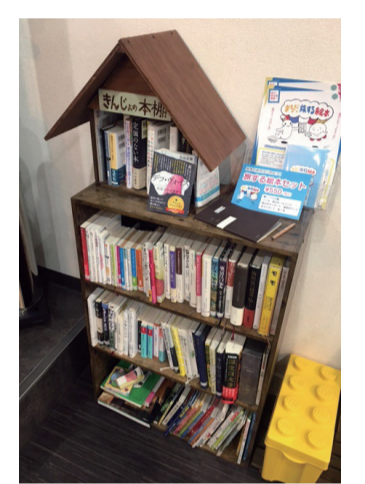
市民や団体の取組

10 モリノこども図書館

開 10:00~20:00
 (町田パリオの営業時間に準ずる)
 蔵 約100冊
 TEL 042-725-3710
 住 森野1-15-13 町田パリオ2F
 利 子どもとその保護者
 ※読まなくなった絵本を集めた子どものための図書館。自分が持ってきた絵本と本棚の絵本を自由に交換ができます。

きんじょの本棚®

きんじょの本棚は、どこで借りてどこで返してもいいまちの本棚です。本棚を開設したり、どこかで借りたり、どこかで返したり、本を通じた人との交流の場を作るささやかな活動です。写真はきんじょの本棚の1号店で、実際の店舗内の一角に設置されている本棚です。きんじょの本棚はどれも個性的。全国に150店以上あり、町田市には86店あります。(2023年2月現在)ぜひお近くのきんじょの本棚をのぞいてみませんか。詳細はこちらの「きんじょの本棚」ホームページをご覧ください。



高齢者福祉センター(ふれあい館)等

※年末年始(12月29日~1月3日)は休館となります。

12 小山市民センター

開 8:30~17:00(第2火は休)
 貸 2週間 蔵 約1,000冊
 TEL 042-798-1927
 住 小山町2507-1

14 男女平等推進センター

開 8:30~22:00(第3水は休)
 貸 4冊 2週間 蔵 約2,400冊
 TEL 042-736-2908
 住 原町田4-9-8 町田市民フォーラム3F

16 ふれあいくぬぎ館

開 月~土 9:00~12:00 13:00~16:00
 蔵 約600冊 TEL 042-793-6331
 住 山崎町2160-4
 木曾山崎コミュニティセンターA館2F
 利 60歳以上の市民(要利用者登録)

18 ふれあい桜館

開 火~日 9:00~12:00 13:00~16:00
 蔵 約2,400冊 TEL 042-797-2971
 住 下小山田町3580 ふれあい桜館2F
 利 60歳以上の市民(要利用者登録)

13 玉川学園コミュニティセンター

開 月~金 8:30~17:00
 貸 4冊 2週間 蔵 約7,000冊(児童図書)
 TEL 042-732-9372
 住 玉川学園2-19-12
 利 市内在住・在学・在勤

15 ふれあいいちよう館

開 火~日 9:00~12:00 13:00~16:00
 蔵 約370冊
 TEL 042-735-5020
 住 大蔵町1984-1
 利 60歳以上の市民(要利用者登録)

17 ふれあいけやき館

開 月~土 9:00~12:00 13:00~16:00
 貸 3冊 1週間 蔵 約800冊
 TEL 042-770-6234
 住 相原町795-1
 利 60歳以上の市民(要利用者登録)

19 ふれあいもっこく館

開 月~土 9:00~12:00 13:00~16:00
 貸 2週間 蔵 約1,500冊
 TEL 042-724-5076
 住 原町田5-8-21 健康福祉会館3F
 利 60歳以上の市民(要利用者登録)

20 ふれあいもみじ館

開 火~日 9:00~12:00 13:00~16:00
 蔵 約100冊
 TEL 042-796-1020
 住 金森東3-17-14
 利 60歳以上の市民(要利用者登録)

大学図書館

新型コロナウイルスの感染症対策のため、学外の方の利用を中止する場合があります。ご利用にあたっては、あらかじめホームページなどで、各大学図書館の情報をご確認ください。

番号	施設名	住所	電話番号
21	桜美林大学図書館	常盤町3758	042-797-1426
22	国士館大学 鶴川図書館・情報メディアセンター	広袴1-1-1	042-736-2341
23	東京家政学院大学附属図書館	相原町2600	042-782-9815
24	法政大学多摩図書館	相原町4342	042-783-2274
25	和光大学附属梅根記念図書・情報館	金井ヶ丘5-1-1	044-989-7494

近隣の相互利用図書館<町田市外の図書館>

町田市民であれば各館利用可能です。

番号	施設名	住所	電話番号
A	相模原市立橋本図書館	相模原市緑区橋本3-28-1 ミウイ橋本6階	042-770-6600
B	相模原市立図書館	相模原市中央区鹿沼台2-13-1	042-754-3604
C	相模原市立相模大野図書館	相模原市南区相模大野4-4-1	042-749-2244
D	八王子市南大沢図書館	八王子市南大沢2-27 フレスコ南大沢内	042-679-2201
E	多摩市立唐木田図書館	多摩市鶴牧6-14 からきだ菫蒲館1階	042-338-0660
F	多摩市立豊ヶ丘図書館	多摩市豊ヶ丘5-6	042-374-6581
G	川崎市立麻生図書館柿生分館	川崎市麻生区片平3-3-1	044-986-6470
H	大和市つきみ野学習センター ※大規模改修中。2023年4月10日に再開予定。	大和市つきみ野5-3-5	046-275-0088
I	大和市立中央林間図書館	大和市中央林間 4-12-1 中央林間東急スクエア3階	046-277-8030
J	横浜市緑図書館	横浜市緑区十日市場町 825-1	045-985-6331

各項目の見方

- 開 開館時間
- 貸 貸出冊数・期間
- 蔵 蔵書数
- TEL 電話番号
- 住 住所
- 利 利用制限

電子書籍サービス

24時間・365日、どこでも利用できる「電子書籍サービス」が2022年10月18日(火)から始まりました。電子書籍サービス用サイトで、スマートフォン、タブレット、パソコン等の端末から電子書籍サービスを利用して読むことができます。

【利用対象者】
 利用券をお持ちの市内在住・在勤・在学の方

詳しくは図書館ホームページをご覧ください。

